

京都私立病院報

No.726 - 臨

一般社団法人 京都私立病院協会

第10回通常総会

開催日時 2022年5月25日（水）

午後4時

開催場所 リーガロイヤルホテル京都

一般社団法人京都私立病院協会第10回通常総会

開催日時 2022年5月25日〔水〕 午後4時
開催場所 リーガロイヤルホテル京都

次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議長選出についての提案

4. 議長挨拶

5. 議 事

議事録署名人の選任について

【協議事項】

第1号議案 令和3年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに
正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件 (P.117)

【報告事項】

第1号報告 令和3年度一般社団法人京都私立病院協会事業報告について (P. 1)

第2号報告 令和3年度一般社団法人京都私立病院協会公益目的支出計画
実施報告について (P.132)

第3号報告 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について (P.134)

第4号報告 令和4年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算書並びに
正味財産増減予算書について (P.139)

6. 閉 会

第10回通常総会を迎えて ～未曾有の危機に立ち向かう～

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水 鴻一郎

京都私立病院協会第10回通常総会に際し、ご挨拶を申し上げます。

会員並びに関係者の皆様には、令和3年度も当協会に多大なるご支援・ご協力をいただき、コロナ禍にも関わらず多くの事業を実施することができ、心より御礼申し上げます。

当協会では、医療に携わる多職種が協会運営に関わっており、その強みや特徴を活かした取り組みと期待される役割は年々増え続けています。令和3年度は、新たな事業として、6月より京都市の新型コロナワクチン集団接種への医療従事者の派遣業務、9月からは京都府の宿泊療養施設への看護師の派遣業務を受託実施し、会員施設等から多くの医療従事者にご協力をいただき、新型コロナワクチンの接種促進と新規感染者増に伴う療養先の確保に寄与することができました。さらには、勤務医の労働時間管理に係る設備投資費の一部を補助する勤務医勤務環境改善体制整備事業を京都府から受託し、勤務医の労働時間管理に向けての設備整備をサポートいたしました。

以上の新たな事業も含め、本総会では、協議事項として令和3年度の歳入歳出決算をご提案するとともに、令和3年度事業、令和4年度事業計画・予算をご報告いたします。皆様のご審議を賜りたく、宜しく願いいたします。

これまで我が国の医療の喫緊の課題として、少子高齢化の加速に伴う人口構造と疾病構造の変化に対応し得る医療・介護提供体制の構築に向けて、我々は病床の機能分化と連携に努めてきました。しかし、2019年には新型コロナウイルス感染症という未知の感染症が出現し、今もなお、感染拡大時には医療がひっ迫し病院経営や社会経済活動にも影響が出るなど、新興感染症への対応という課題も加わりました。さらに、本年2月からの、ロシアによるウクライナ侵攻で国際情勢は急激に不安定化し、医療機器や医療資材、エネルギー資源の供給不足や価格の高騰など、医療への影響も懸念されます。多くの人々が侵攻の犠牲となり、医療施設も攻撃を受けて医療システムの破壊が現実になっており、我が国でも起こり得る問題として、医療を超えて国防・安全保障という観点での危機管理の再構築が必要と考えます。

我々は、今、正に近年経験したことのない危機に直面している、そう言っても過言ではありません。その強い危機感の下に、医療は断じて守り抜いていく、という覚悟を持ち、協会運営にあたってまいります。

令和4年度も会員施設の医療の質・機能の向上、医療に携わる各職種の専門性の向上と連携、京都府民の健康増進に着実に取り組むとともに、新たな課題にも対応してまいります。今後も皆様のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第1号報告

令和3年度一般社団法人京都私立病院協会 事業報告について

【総務部】

I	組織の現状と執行体制	
A	会員関係	4
B	役員及び業務分担	4
C	第9回通常総会	7
D	理事会	7
E	幹事会	8
II	会員相互の連携と組織強化	
A	表彰	8
B	事務長会	9
C	看護部長会	13
D	薬剤師部会	16
E	放射線技師部会	17
F	臨床検査部会	18
G	栄養士部会	19
H	リハビリテーション部会	20
I	臨床工学技士部会	21
J	部会連携会議	22
K	全体会議	22
L	創立57周年記念式典	23
M	新春会員懇親会	23
III	情報活動	
A	協会ホームページ	23
B	ファックス通信	24
IV	病院職員の確保対策への取り組み	
A	看護師等養成事業	24
B	メディワークセンター事業	25
V	環境問題・禁煙推進等の取り組み	26
VI	病院団体との交流	
A	近畿病院団体連合会	27
B	中央における病院団体	28
VII	京都府内における医療関係団体との連携	
A	京都府医師会	28
B	京都府病院協会	29
C	京都精神病院協会	30
D	京都府慢性期医療協会	30
E	その他	31
VIII	行政への対応	
A	京都府	33
B	京都市	36

IX	関係団体との連携	37
X	職員人事（令和4年4月1日現在）	
A	京都私立病院協会	38
B	京都保健衛生専門学校	38
C	京都府病院協同組合	39
D	京都府病院企業年金基金	39
E	（専）京都中央看護保健大学校	39

【保険部】

I	医療保険	
A	医療保険をめぐる状況	40
B	入院基本料等施設基準	40
C	生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会い	41
D	診療報酬委員会	41
II	介護保険	
A	介護保険をめぐる状況	41
B	介護保険委員会	42
C	介護サービス第三者評価事業	44
D	京都市新規介護認定調査事業	45

【地域医療部】

I	地域医療構想への取り組み	
A	地域医療構想をめぐる状況	46
B	地域医療構想検討委員会	46
II	救急・休日・時間外診療体制の推進	
A	京都府下における二次病院群輪番制	47
B	京都府周産期医療情報システム	49
C	京都府精神科救急医療システム	50
D	京都府救急医療情報システム	50
III	救急医療への取り組み	
A	救急医療をめぐる状況	50
B	救急医療検討委員会	51
C	交通事故医療	52
D	災害医療	52
IV	医療安全対策への取り組み	
A	医療安全対策をめぐる状況	53
B	医療安全対策委員会	53
V	感染症対策への取り組み	
A	感染症をめぐる状況	54
B	感染症対策委員会	56
VI	京都式地域包括ケアシステムの推進	
A	在宅療養あんしん病院登録システム	58
B	府民リハビリテーション啓発支援事業	59
C	病院認知症対応力向上事業	61
D	病院地域包括ケアシステム強化事業	66
E	地域連携型在宅医療支援病院事業	69

Ⅶ 人材確保・定着への取り組み	
A 京都府医療勤務環境改善支援センター事業	70
B 医療労務管理支援事業	72
C 勤務医勤務環境改善体制整備事業	73
D 看護人材早期復職支援事業	73
E きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム	75
F 京都市離職看護師能力再開発事業	77
G これからの社会保障を考えるセミナー	77
H 医療従事者勤務環境改善体制整備事業	78
I 医療従事者確保強化事業	79

【学術研修部】

Ⅰ 京都病院学会	
A 第56回京都病院学会	82
B 第57回京都病院学会の開催に向けて	83
Ⅱ 教育・研修	
A 教育研修基礎コース	84
B 看護卒後教育	84
C 保健医療管理者養成講座	87
D 中堅幹部職員研修	88
E 医師臨床研修・専門医制度への取り組み	88

【経営管理部】

Ⅰ 病院経営	
A 民間病院に対する補助制度への対応	89
B 融資斡旋	89
Ⅱ 病院管理	
A 環境問題委員会	90
B 会員病院との情報ネットワークシステム	91
C 病院機能向上委員会	91
Ⅲ 税制	92

【厚生部】

Ⅰ 会員交流	
A 第57回病院対抗野球大会	94
B 第43回病院対抗バレーボール大会	94
C 第15回病院対抗フットサル大会	94
D 第8回会員親睦ゴルフコンペ	95
Ⅱ 京都私立病院報	95

【政策委員会】	97
---------	----

【京都府地域医療介護総合確保基金(京都私立病院協会実施分)の説明】	98
-----------------------------------	----

〈参考〉

学校法人京都保健衛生専門学校	100
京都府病院協同組合	105
京都府病院企業年金基金	106
学校法人京都中央看護師養成事業団	108

【総務部】

I 組織の現状と執行体制

A 会員関係

1 会員数	令和4年3月31日現在		
	会 員	133施設	
	特別会員	10施設	
2 病床数（介護医療院は療養床数）	令和4年3月31日現在		
	会 員	一 般	13,567床
		療 養	3,254床
		精 神	4,845床
		結 核	12床
		介護医療院	2,322床
		計	24,000床
	特別会員	一 般	28床
		計	28床

B 役員及び業務分担

1 役 員			
会 長	清水鴻一郎	副会長	久野 成人
副会長	富士原正人	副会長	武田 隆久
副会長	富田 哲也	副会長	小森 直之
副会長	石丸 庸介	副会長	藤澤 明生
副会長	真鍋 由美（幹事～令和3.5、令和3.6～副会長）		
理 事	茨木 孝二	理 事	菅 知行（～令和3.5）
理 事	近藤 泰正	理 事	畑 典男
理 事	清水 聡（幹事～令和3.5、令和3.6～理事）		
理 事	清水 聡（幹事～令和3.5、理事令和3.6～令和3.7）		
理 事	清水 史記（幹事～令和3.5、令和3.6～理事）		
幹 事	赤木 博（令和3.6～）	幹 事	明石 純
幹 事	市場 真澄	幹 事	菊地 三弥（令和3.6～）
幹 事	児玉 直俊（令和3.6～）	幹 事	武田 敏也
幹 事	仲田 昌司		
監 事	大槻 秧司	監 事	清水 紘
監 事	高松 晃司（～令和3.5）	監 事	津田 政典（令和3.6～）
顧 問	大川原康夫	顧 問	武田 隆男

2 業務分担

<政策委員会>

清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美（令和3.6～）

<渉外・広報>

清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久

<総務部>

部長／武田隆久 副部長／小森直之

• 地区別組織

- 1) 京都市域／武田隆久
- 2) 北部地区／富士原正人
- 3) 南部地区／石丸庸介

• 職種・職務別組織

- 1) 事務長会／茨木孝二、市場真澄、仲田昌司
- 2) 看護部長会／石丸庸介、藤澤明生
- 3) 薬剤師部会／畑 典男
- 4) 放射線技師部会／菅 知行（～令和3.5）、菊地三弥（令和3.6～）
- 5) 臨床検査部会／武田敏也
- 6) 栄養士部会／畑 典男（～令和3.5）、児玉直俊（令和3.6～）
- 7) リハビリテーション部会／清水史記（～令和3.5）、児玉直俊（令和3.6～）
- 8) 臨床工学技士部会／武田敏也
- 9) 部会連携会議／明石 純、茨木孝二

• メディワークセンター事業運営委員会／畑 典男、市場真澄、仲田昌司

• 近畿病院団体連合会委員会／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美（令和3.6～）

• 近畿病院団体連合会事務長会／茨木孝二、市場真澄、仲田昌司

• 四病院団体協議会／武田隆久、小森直之

<保険部>

部長／久野成人 副部長／富士原正人

• 診療報酬委員会／富士原正人、仲田昌司

• 介護保険委員会／久野成人、清水 聰（～令和3.7）、近藤泰正（～令和3.5）、茨木孝二、赤木 博（令和3.6～）、菊地三弥（令和3.8～）

• 介護サービス第三者評価事業／久野成人、清水 聰（～令和3.7）、近藤泰正（～令和3.5）、赤木 博（令和3.6～）

• 京都市新規要介護認定調査事業／久野成人、清水 聰（～令和3.7）、近藤泰正（～令和3.5）、赤木 博（令和3.6～）

<地域医療部>

部長／武田隆久 副部長／富田哲也

- 地域医療構想検討委員会／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美（令和3.6～）
- 救急医療検討委員会／武田隆久、富士原正人、清水 聡、清水史記
- 二次病院群輪番制／京都市域：清水史記
山城北：石丸庸介
- 感染症対策委員会／清水 聡、清水史記、菊地三弥（令和3.6～）
- 医療安全対策委員会／小森直之、武田隆久
- 医療事故調査制度／富士原正人、小森直之
- 在宅療養あんしん病院登録システム／久野成人、富士原正人
- 府民リハビリテーション啓発支援事業／富士原正人、武田隆久、児玉直俊（令和3.6～）
- 医師臨床研修／武田隆久、清水 聡
- 病院認知症対応力向上事業／武田隆久、富田哲也、近藤泰正、畑 典男
- 看護人材早期復帰支援事業検討委員会／富士原正人、武田隆久、茨木孝二
- 看護職確保プロジェクトチーム／茨木孝二
- 離職看護師能力再開発事業／石丸庸介、藤澤明生
- 京都府医療勤務環境改善支援センター／清水鴻一郎、石丸庸介、真鍋由美、清水 聡、清水史記
- 医療労務管理支援事業／清水鴻一郎、石丸庸介、真鍋由美、清水 聡、清水史記
- 医療従事者キャリア向上事業／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、真鍋由美（令和3.6～）
- 医療従事者勤務環境改善体制整備事業／武田隆久、仲田昌司
- 医療従事者確保強化事業／畑 典男、茨木孝二
- 病院地域包括ケアシステム強化事業／久野成人、近藤泰正、菊地三弥（令和3.6～）
- 地域連携型在宅医療支援病院事業／石丸庸介、武田隆久、富士原正人

<学術研修部>

部長／石丸庸介 副部長／藤澤明生

- 京都病院学会理事会／清水鴻一郎、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、近藤泰正、清水 聡、清水 聡（～令和3.7）、清水史記
- 看護卒後教育／石丸庸介、藤澤明生
- 幹部教育（中堅幹部職員研修）／茨木孝二、市場真澄、仲田昌司（令和3.6～）
- 初級教育（教育研修基礎コース）／清水 聡（～令和3.7）、真鍋由美、菅 知行（～令和3.5）
北部地区：富士原正人
- 保健医療管理者養成講座運営委員会／石丸庸介、真鍋由美（令和3.6～）、清水史記

<経営管理部>

部長／藤澤明生

- 環境問題委員会／藤澤明生、市場真澄、明石 純
- 病院機能向上委員会／富士原正人、武田隆久（～令和3.5）、明石 純、武田敏也（令和3.6～）
- 税制・補助金／小森直之、武田隆久、明石 純

<厚生部>

部長／富士原正人

- 私病報編集委員会／近藤泰正
- 野球大会実行委員会／市場真澄
- バレーボール大会実行委員会／真鍋由美
- フットサル大会実行委員会／武田敏也
- 会員親睦ゴルフコンペ／富士原正人、茨木孝二

C 第9回通常総会

令和3年5月26日 於：リーガロイヤルホテル京都

【協議事項】

- 第1号議案 令和2年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件
- 第2号議案 一般社団法人京都私立病院協会第5期役員の選出に関し承認を求める件
- 第3号議案 一般社団法人京都私立病院協会第5期会長及び副会長候補者の選出に関し承認を求める件

【報告事項】

- 第1号報告 令和2年度一般社団法人京都私立病院協会事業報告について
- 第2号報告 令和2年度一般社団法人京都私立病院協会公益目的支出計画実施報告について
- 第3号報告 令和2年度一般社団法人京都私立病院協会監事による監査報告について
- 第4号報告 令和3年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について
- 第5号報告 令和3年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算書並びに正味財産増減予算書について

審議の上、全議案が承認可決された。

D 理事会

理事会は理事・監事をもって構成しており、令和3年度は第4期に2回、第5期に3回、計5回開催した。

協会の定款に基づき、理事会の承認事項である法人の業務執行、事業報告及び決算、事業計画・予算、その他協会の重要案件を審議・協議した。

第4期：(Web併用) 第8回(4/28)

(書面) 第9回(5/13)

第5期：(Web併用) 第1回(5/26)、第2回(11/17)、第3回(3/16)

計5回開催

E 幹事会

幹事会は理事、幹事、監事で構成し、毎月第1、第3水曜日を定例開催日として協会の定款に基づき、協会の各委員会等が提案する意見・報告、日常会務の運営に関する事項を審議・協議した。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響下において民間病院が直面している課題解決に向けた要望や医療・介護に関わる京都府・京都市予算、その他関係する事案について、幹事会で協議し、意見・提言を行った。

第4期：(Web併用) 第37回(4/7)～第39回(5/12)

第5期：(Web併用) 第1回(6/2)～第16回(3/16) 計19回開催

[要望書]

・新型コロナウイルス感染症への対応に係る要望 5/20

(資料1)

II 会員相互の連携と組織強化

A 表彰

国や地方自治体等より依頼のある各種表彰の推薦を行い、会員関係では以下の方々が表彰された。
(敬称略、所属・職名は表彰日現在)

◇救急医療功労者厚生労働大臣表彰

富士原正人(京都ルネス病院理事長・当協会推薦)

◇公衆衛生事業功労者・厚生労働大臣表彰

石丸庸介(京都田辺中央病院理事長・当協会推薦)

◇公衆衛生事業功労者・一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

西村伊三男(川越病院理事・副院長・当協会推薦)

◇京都府保健医療功労者表彰

個人の部/栞原仁美(なぎ辻病院院長・当協会推薦)

尼川龍一(日本バプテスト病院理事長)

苗村建慈(明治国際医療大学附属病院病院長)

麻田博之(蘇生会総合病院事務長・理学療法士)

豊山浩祥(京都桂病院臨床検査技師)

団体の部/武田病院(下京区・当協会推薦)

◇京都府救急医療功労者表彰

個人の部/菊地孝三(千春会病院理事長・当協会推薦)

笠次敏彦(園部病院院長)

団体の部/堀川病院(上京区・当協会推薦)

内田病院(右京区)

◇京都府看護功労者表彰

植村ひかる(京都田辺中央病院看護部長・当協会推薦)

松田保子（伏見岡本病院看護部長）

B 事務長会

事務長会は、常任委員会を中心として各種事案を協議するとともに、教育・研修部会、総務・企画部会、調査・研究部会の3つの部会体制のもと、日常業務等に係る諸問題への対応に取り組んでいる。

1 常任委員会

常任委員会は、事務長会の中核機関として、事務長会独自の企画はもとより、幹事会をはじめ協会内各委員会からの要請事項に対応するなど、多くの案件について協議・検討を行っている。

また、医療情勢を分析しながら情報交換なども活発に行い、病院医療が直面する諸問題に対し、解決を求める努力を重ねている。

幹事会方針に基づいた各種事業にも積極的に参画し、多くの委員会等に代表を派遣するなど全面的な協力体制を取るとともに、各会員病院の病院経営および日常業務の向上に資するべく活動を行った。

<役員>

委員長：茨木孝二（亀岡病院）

副委員長：山田正明（堀川病院）、市場真澄（いわくら病院）、

宝輪克博（医仁会武田総合病院 ～令和3.5）、仲田昌司（三菱京都病院）、

中川正之（なごみの里病院）、金岩孝也（京都民医連中央病院）、

廣瀬良太（洛和会音羽病院 令和3.6～）

常任委員：浅田 淳（長岡病院）、麻田博之（蘇生会総合病院 令和3.6～）、

荒井達雄（シミズ病院）、池内研二（医聖会本部）、

上垣昭宏（宇治武田病院 令和3.6～）、小嶋明彦（もみじヶ丘病院）、

海藻 達（京都回生病院）、黒田正博（京都市リハビリテーション病院 ～令和3.5）、

坂本裕里（相馬病院）、篠田浩之（京都桂病院）、末廣健児（京都田辺中央病院）、

杉浦隆史（京都南病院）、西海和成（京都九条病院 ～令和3.5）、

藤井本龍弘（桃仁会病院）、古田智史（京都博愛会病院）、

益野秀樹（京都久野病院 令和3.6～）、山口浩二（京都ルネス病院）、

山口寛士（京都市リハビリテーション病院 令和3.6～）

<各委員会への派遣委員>

・メディワークセンター事業運営委員会：宝輪克博（～令和3.5）、山口浩二、
麻田博之（令和3.6～）

・救急医療検討委員会：西海和成（～令和3.5）、末廣健児、篠田浩之（令和3.6～）

・医療安全対策委員会：坂本裕里、黒田正博（～令和3.5）、山口寛士（令和3.6～）

・看護人材早期復職支援事業検討委員会：海藻 達（～令和3.5）、益野秀樹（令和3.6～）

・京都府医療勤務環境改善支援センター事業運営委員会：山田正明、古田智史

- ・医師事務作業補助者研修会運営委員会：宝輪克博（～令和3.5）、西海和成（～令和3.5）、
廣瀬良太、荒井達雄、杉浦隆史（令和3.6～）、
上垣昭宏（令和3.6～）
- ・診療報酬委員会：篠田浩之、海藻 達（令和3.6～）
- ・介護保険委員会：中川正之
- ・保健医療管理者養成講座運営委員会：池内研二
- ・教育研修基礎コース（北部地区）：小嶋明彦
- ・環境問題委員会：金岩孝也
- ・病院機能向上委員会：廣瀬良太（～令和3.5）、山口寛士（令和3.6～）
- ・私病報編集委員会：藤井本龍弘、浅田 淳
- ・会員親睦ゴルフコンペ実行委員会：山田正明、上垣昭宏（令和3.6～）
- ・中堅幹部職員研修会プロジェクトチーム：茨木孝二、山田正明、市場真澄、仲田昌司、
小嶋明彦、山口浩二、中川正之、末廣健児
- ・医事業務研修会プロジェクトチーム：茨木孝二、山田正明、市場真澄、宝輪克博（～令和3.5）、
金岩孝也、廣瀬良太（令和3.6～）、西海和成（～令和3.5）、
荒井達雄、海藻 達（令和3.6～）、杉浦隆史
- ・南部地区事務長会：池内研二（～令和3.5）、末廣健児、上垣昭宏（令和3.6～）
- ・北部地区事務長会：小嶋明彦、山口浩二

a 定例委員会

毎月第2金曜日を定例日とし開催している。令和3年度は新型コロナウイルスの影響下であったが、ウェブでの開催形式を取りながら、9回の委員会を開催した。また、毎回事前に正副委員長会議を開き、委員会の運営等に関して協議している。委員会では、種々の企画立案をはじめ、情報・意見交換を行い、私病協ならびに各病院の抱える諸問題の解決に努めた。さらに、今年度新しく常任委員会のメーリングリストを作成し、病院運営や人事労務に関する内容等、日常業務における課題や悩みについて、積極的に情報の交換・共有、提供を行った。

また、委員会での主な協議事項については、必要に応じ会員病院の事務長に報告した。

開催日：(Webのみ) 4/9 6/11 7/9 9/10 10/8 11/12 12/10 1/14 3/11

計9回

b 総会 5月14日 於：私病協会議室（Web併用）

令和2年度の事業報告ならびに令和3年度の事業方針等について承認された。

c 全体会議

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

d 研修会

1) 5月14日 於：私病協会議室（Web併用）

会場参加／7名 オンライン参加申込／58名 計65名

テーマ／「事務長向け感染対策について」（事務長会総会講演会）

講師／清水 聡（新京都南病院理事長・院長）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

2) 2月26日 於：私病協会議室（Web 併用）

会場参加／2名 オンライン参加申込／215名 計217名

テーマ／「令和4年度診療報酬改定について」

（事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナー・Part3合同開催）

講師／井内 努（厚生労働省保険局医療課長）

3) 3月11日 Web 開催 参加申込／98名

テーマ／「改正育児介護休業法の内容と実務対策について」

講師／岸川 守（関西ステート経営労務事務所代表・特定社会保険労務士）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

e 他府県病院協会事務長会との交流

1) 近畿病院団体連合会事務長会

・11月26日 於：ダイワロイネットホテル和歌山

各府県の諸問題について情報交換

特別講演：

テーマ／「夢をあきらめない－社会貢献の出来る人づくり－」

講師／高嶋 仁（智辯学園、智辯学園和歌山高校野球部名誉監督）

2 部会活動

a 教育・研修部会

1) 部長／山田正明

副部長／宝輪克博（～令和3.5）、廣瀬良太（令和3.6～）

部員／麻田博之（令和3.6～）、荒井達雄、海藻 達、末廣健児、西海和成（～令和3.5）、
藤井本龍弘

2) 開催日 *新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

3) 主な活動

会員施設の事務長が日常業務の中で抱えている問題の解決に資するテーマや、病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした以下の研修会の企画・検討を行った。

(1) 事務長会研修会「改正育児介護休業法の内容と実務対策について」

(2) 事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナー・Part3合同開催「令和4年度診療報酬改定について」

b 総務・企画部会

1) 部長／仲田昌司

副部長／金岩孝也

部 員／浅田 淳、池内研二、黒田正博（～令和3.5）、坂本裕里、杉浦隆史、
山口寛士（令和3.6～）

オブザーバー／茨木孝二

2) 開催日 *新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

3) 主な活動

(1) 事務長会総会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。

(2) 日常業務等に関わる各種調査（以下2件）を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。

・ 今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について（8月実施）

・ 冬期賞与の支給状況について（1～2月実施）

c 調査・研究部会

1) 部 長／市場真澄

副部長／中川正之

部 員／上垣昭宏（令和3.6～）、小嶋明彦、篠田浩之、古田智史、益野秀樹（令和3.6～）、
山口浩二

2) 開催日 *新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

3) 主な活動

(1) 令和2年度分経営分析調査の実施とその集計

12～1月実施 協力55病院

令和2年度分の調査も、前年度と同じ調査項目を用いて実施した。調査の集計結果には解説を添付し協力病院に発送した。

(2) 令和3年度賃金・労働条件等実態調査ならびに賃金実在者全数調査の実施とその集計

12～1月実施 賃金・労働条件等実態調査 協力69病院

12～1月実施 賃金実在者全数調査 協力45病院

集計表の頒布開始 3月31日

d 医事業務研修会プロジェクトチーム会議

医事業務研修会は、平成27年度から事務長会メンバーで構成されたプロジェクトチームで研修の内容について企画・検討を行っている。令和3年度の研修内容は、例年、本研修会のカリキュラムの一つとして実施している「診療報酬請求事務能力向上勉強会」のみに絞り、クラス別（入院・外来・初心者）に、半日の単発研修を各クラス2～3日間、計7日間の日程で開催した。

1) プロジェクトチーム会議

開催日 (Webのみ) 7/8 9/27 2/3 計3回

*打ち合わせ会議 (会場のみ) 7/28 7/30 8/11 9/22 9/29 10/12

2) 研修会

開催日／(入院クラス) ①10月22日・②11月18日

(外来クラス) ①10月14日・②10月29日

(初心者クラス) ①10月15日・②10月28日・③11月22日

会 場／私病協会議室

参加者／54施設116名

講 師／浅田健文（京都桂病院医事2課係長）、佐々木良太（いわくら病院医事課課長）、
田中脩平（洛和会丸太町病院管理課主席係長）、山越心輔（京都南病院医事課係長）、
稲本哲也（医仁会武田総合病院医事部3課）、国場翔一（亀岡病院医事課課長）、
真下 崇（医仁会武田総合病院医事部2課課長代理）、
川口尚子（堀川病院医事課入院係主任）、
桑子ふみ（京都民医連中央病院診療事務課副主任）

- e 中堅幹部職員研修プロジェクトチーム会議
（詳細は学術研修部の頁を参照）

3 地区活動

a 南部地区事務長会

宇治・城陽・八幡・京田辺・久御山・精華地区会員21施設を対象とする南部地区事務長会を開催し、地域固有の話題をはじめ、医療情勢、病院経営に関わる様々な問題について協議・情報交換を行った。

開催日（Webのみ）6/30 11/19 計2回

b 北部地区事務長会

中丹、丹後地区の会員11施設を対象とする北部地区事務長会を開催し、医療情勢、経営管理全般にわたる問題や北部地区固有の問題について協議・情報交換した。

開催日（Webのみ）10/29 2/4 計2回

C 看護部長会

原則として月に1回開催していた定例会を令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から引き続きリモート定例会としてZoomミーティングを使用してリモートにて開催した。リモート定例会では従来通り各研修会、関係事業所からの報告・地域医療構想の説明に加え、タイムリーな情報提供及び情報交換を行った。

<役 員>

部 会 長：矢田貴子（堀川病院 ～令和3.5）、南 京子（新京都南病院 令和3.6～）

副部長：長谷川寿子（京都博愛会病院 ～令和3.5）、南 京子（～令和3.5）、
矢田貴子（令和3.6～）、小河陽子（京都きづ川病院 令和3.6～）、
畑田宏美（シミズ病院 令和3.6～）

担当役員：石丸庸介、藤澤明生

1 総会

開催日（Web併用）5/28

2 定例会

開催日 (Web 併用) 5/28 7/5 9/28 11/4 1/28 3/8 計6回

3 相互研修

7月「第5次指定規則改正～新カリキュラムで変わること～」(講演)

講師/池西静江 (Office Kyo-Shien 代表)

9月「看護部長の元気の源・・・めざせ Zoom の達人」

内容/Zoom ミーティングによるグループワーク

解説/京都私立病院協会事務局

11月「医療情勢と看護管理」(講演)

講師/大島敏子 (NPO 法人看護職キャリアサポートフリースタッフ・ナースの会会長)

1月「コロナ禍における訪問看護の現場から」(講演)

講師/白井美絵 (アドナース洛西訪問看護所長)

小野裕美 (アドナース洛西訪問看護看護部統括)

橋 文子 (訪問看護ステーションはくあい所長)

3月「看護部長のナラティブ」(事例発表)

発表者/大塚安子 (加藤山科病院)

南田喜久美 (京都九条病院)

加藤泰子 (京都南西病院)

齋藤文代 (宇治徳洲会病院)

4 委員会活動

a 総務委員会

令和3年度は研修全般の開催についての最終決定、リモート定例会・相互研修の検討・企画・運営を行った。また、新規研修として看護管理者リフレッシュ研修を企画、運営した。その他、平成27年度から開催しており、平成30年度より医療従事者確保強化事業の看護補助者確保推進事業として実施している一般市民を対象とした「看護補助者説明会」についても令和2年度に続き動画配信にて開催することとし、新たな動画撮影の企画・制作を行った。当委員は教育委員会・福利厚生委員会の委員も兼ねており、各委員会の企画・運営に関しても検討した。

委員長：矢田貴子 (～令和3.5)、南 京子 (令和3.6～)

委員：矢田貴子 (令和3.6～)、長谷川寿子 (～令和3.5)、南 京子 (～令和3.5)、小河陽子、春日かほる (京都田辺中央病院)、谷口文代 (京都桂病院 令和3.6～)、松田保子 (伏見岡本病院 ～令和3.5)、畑田宏美 (令和3.6～)、桐畑宏子 (西山病院 令和3.6～)

開催日 (Web 併用) 4/27 5/28 7/5 9/28 11/4 1/28 3/8 計7回

b 教育委員会

令和3年度に開催する予定であった研修の開催や形式の検討、開催を決定した研修の企画・運営を行った。

委員長：長谷川寿子（～令和3.5）、小河陽子（令和3.6～）

副委員長：小河陽子（～令和3.5）、春日かほる、谷口文代（令和3.5～）

委員：矢田貴子（令和3.6～）、長谷川寿子（令和3.6～）、田中雅子（川越病院）、
浦野貴子（洛西シミズ病院）、山崎真奈美（西京都病院）、堤 恵子（京都南病院）、
上山さゆみ（京都リハビリテーション病院）、福島朋樹（新河端病院）、
正美津恵（京都久野病院 ～令和3.8）、山本美紀（医仁会武田総合 令和3.6～）、
阿形奈津子（京都中央看護保健大学校）、谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校）

オブザーバー：矢田貴子（～令和3.5）、南 京子（令和3.6～）

開催日 （Web 併用） 4/27 5/28 7/5 9/28 11/4 1/28 3/8 計7回

c 福利厚生委員会

例年、会員病院の看護職相互の親睦を目的として研修旅行および懇親会などを企画しているが、令和3年度は中止となったため、総会後に看護部長同士がコロナ禍でも連携を持ち、つながることができる企画として「今こそ新たなつながりを」をテーマにリモート上で懇親会を開催した。

委員長：南 京子（～令和3.5）、畑田宏美（令和3.6～）

副委員長：松田保子（～令和3.5）、桐畑宏子（令和3.6～）

委員：松田保子（令和3.6～）、桐畑宏子（～令和3.5）、畑田宏美（～令和3.5）、
井上早苗（京都武田病院 ～令和3.5）、高橋鈴子（相馬病院）、
木村克美（蘇生会総合病院）、谷中淑恵（長岡京病院 令和3.6～）

オブザーバー：矢田貴子（～令和3.5）、南 京子（令和3.6～）

開催日 （Web 併用） 4/27 1/28 3/8 計3回

5 研修旅行

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

6 懇親会

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

・リモート上では懇親会を開催（5/28）

7 看護補助者説明会（企画・運営）

・詳細別記（地域医療部 VI 京都式地域包括ケアシステムの推進 I 医療従事者確保強化事業）

8 看護管理者研修

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

9 看護管理者リフレッシュ研修（Web）

11月29日 オンライン参加申込／71名

テーマ／「妖怪人間ベムは永遠に笑わないー生きる意味それは誰かとの間（あわい）ー」

講師／佐藤泰子（京都大学大学院人間・環境学研究科研究員）

説明／「地域医療構想について～京都府の新型コロナ医療提供体制を踏まえて～」（事務局）

10 各委員会への派遣委員

- ・私病報編集委員会：中澤美知子（なぎ辻病院）、松本旗江（明石病院 ～令和3.5）、
佐伯昭子（西陣病院 令和3.6～）
- ・ネットワークセンター事業運営委員会：桐畑宏子、井上早苗（～令和3.5）、
細越万里子（がくさい病院 令和3.6～）
- ・保健医療管理者養成講座運営委員会：木村克美
- ・環境問題委員会：高橋鈴子、矢田貴子
- ・病院機能向上委員会：齋藤文代（宇治徳洲会病院）、山本薫里（武田病院グループ ～令和3.5）、
塚本美晴（武田病院グループ 令和3.6～）
- ・介護保険委員会：長谷川寿子（～令和3.5）、門 真由美（京都回生病院 ～令和3.5）、
田中悦子（向日回生病院 令和3.6～）、
村中和美（木津屋橋武田病院介護医療院 令和3.6～）
- ・感染症対策委員会：永野裕子（吉川病院）、谷口文代
- ・医療安全対策委員会：坂田 薫（京都民医連中央病院）
- ・救急医療検討委員会：南 京子、岩田裕花（京都岡本記念病院）
- ・診療報酬委員会：福島朋樹
- ・京都府医療勤務環境改善支援センター：高橋鈴子、寺才元泰代（愛生会山科病院 ～令和3.5）、
和田めぐみ（六地藏総合病院 令和3.6～）
- ・京都病院学会実行委員会：辻本かよ子（武田病院）、矢田貴子

D 薬剤師部会

薬剤師部会では、近年、高度・複雑化した医療に対応する為に日常業務の向上を図るとともに、病院経営に積極的に参加し、貢献することができる薬剤師の育成を目指し、各種研修会等を企画・運営している。

令和3年度は一般市民への新型コロナワクチン接種が本格的に始まるタイミングに最新のワクチン情報を盛り込んだ内容でご講演いただく等、その時期にタイムリーな内容で講演会を企画した。さらに令和3年度の講演会はオンライン参加のみの形式で開催し、遠方の施設からも参加しやすい等、大変好評であった。

また、薬剤師復職支援プロジェクトである「きょうと薬剤師サポートネット」と連携し、委員・講師を派遣し、リモートを駆使した動画配信セミナーをはじめ、プロジェクト充実のため全面的な協力を行った。

1 運営委員会

委員長：友沢明德（京都九条病院）

副委員長：橋元 誠（三菱京都病院）

委員：浅野育子（京都民医連あすかい病院）、大津山裕美子（洛和会音羽病院）、
佐藤和生（日本バプテスト病院）、沼田多重（西山病院～令和3.5）、

馬瀬久宜（医仁会武田総合病院）、守谷まさ子（綾部ルネス病院）、
中井登代美（がくさい病院）、下田優作（京都久野病院 令和3.6～）、
藤井 亮（蘇生会総合病院 令和3.6～）

担当理事：畑 典男

開催日 （書面） 4/2 （Web 併用） 6/9 8/25 10/27 12/22 3/23 計6回

2 主な活動

a 講演会

第103回 5月10日（WEB） オンライン参加申込／50名

テーマ／「新型コロナワクチン 今わかっていること まだわからないこと」

講師／守屋章成（名古屋検疫所中部空港検疫所支所）

説明／「地域医療構想－最近の動向について－」（事務局）

第104回 2月17日（WEB） オンライン参加申込／38名

テーマ／「適正なインスリン自己注射を確立するために必要な指導ポイント」

講師／朝倉俊成（新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センターセンター長・教授（薬剤師））

テーマ「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

b その他

医師事務作業補助者研修会への講師派遣

E 放射線技師部会

当部会は技術革新の目覚ましい画像診断部門にあって、会員施設の診療放射線技師がその役割と責任を果たせるよう研鑽に励み、さらには相互に親睦・交流を深めることを目的に活動を展開してきた。令和3年度は『立位から臥位までの「足関節と足部」撮影を知ろう』や「<新人研修会>救急における画像診断～MR画像を含む～」をテーマに講演会を開催し、技術や知識の更なる向上を図った。

1 運営委員会

委員長：渡里 弘（京都九条病院 ～令和3.5）、小池義雄（蘇生会総合病院 令和3.6～）

副委員長：嶋 耕二（宇治徳洲会病院 ～令和3.5）、小池義雄（～令和3.5）、

永田哲朗（新河端病院 令和3.6～）、菊元力也（洛和会音羽病院 令和3.6～）

委員：永田哲朗（～令和3.5）、茶谷和真（京都田辺中央病院）、菊元力也（～令和3.5）、

太田和志（富田病院 ～令和3.5）、川越 聡（医仁会武田総合病院）、

平井 靖（三菱京都病院）、渡里 弘（令和3.6～）、

池信祐二（宇治徳洲会病院 令和3.6～）、宇野 隆（京都博愛会病院 令和3.6～）、

森 吉修（京都桂病院 令和3.6～）

担当役員：菅知行（～令和3.5）、菊地三弥（令和3.6～）

開催日（Web併用）7/8 11/11 1/13 3/10（Webのみ）5/13 9/9 計6回

2 主な活動

a 講演会

第87回 9月9日 於：メルパルク京都（Web併用）

会場参加／12名 オンライン参加申込／85名 計／97名

テーマ／『立位から臥位までの「足関節と足部」撮影を知ろう』

講師／安藤英次（大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学院診療放射線技師学科専任教員）

説明／「地域医療構想と新型コロナウイルス感染症について」（事務局）

第88回 12月3日 於：メルパルク京都（Web併用）

会場参加／12名 オンライン参加申込／55名 計／67名

テーマ／「＜新人研修会＞救急における画像診断～MR画像を含む～」

講師／金山大成（京都府立医科大学放射線医学教室助教）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

F 臨床検査部会

当部会では、臨床検査技師が病院の質の向上に積極的に関与することを目指し、研修会の開催や情報の発信を通じて、現場の臨床検査技師に求められる知識や技術の普及に努めている。

令和3年度は、11月に医療統計講習会（Excel初級編）と題し、医療現場におけるパソコンソフトの活用方法に関する講習会を開催した。また、12月には新型コロナウイルスの現状に関する講演会を開催した。

その他、医療関連の情報収集に取り組み、委員会での検討・報告議事については「臨床検査部会FAX通信」に取りまとめ、会員施設の臨床検査部門責任者に対して情報提供している。

1 運営委員会

委員長：山口俊朗（京都民医連中央病院 ～令和3.5）、西村和司（武田病院 令和3.6～）

副委員長：西村和司（～令和3.5）、江口光徳（宇治徳洲会病院）、

小澤 優（京都保健衛生専門学校 令和3.6～）

委員：小澤 優（～令和3.5）、下田浩史（堀川病院）、深澤武志（相馬病院）、

山田宣幸（三菱京都病院）、増田哲也（愛生会山科病院）、

増田信弥（京都民医連中央病院 令和3.6～）

担当役員：武田敏也

開催日（Web併用）12/23 2/24 3/24（Webのみ）5/27 7/29 9/30 計6回

2 主な活動

a 講習会

11月25日 於：京都保健衛生専門学校 参加者／昼の部13名 夜の部15名 計28名

テーマ／医療統計講習会（Excel 初級編）

講師／増田健太（一般社団法人京都府臨床検査技師会システム研究班）ほか

説明／「地域医療構想について」（事務局）

1月27日 於：京都保健衛生専門学校

テーマ／医療統計講習会（PowerPoint 初級編）

講師／増田健太（一般社団法人京都府臨床検査技師会システム研究班）ほか

説明／「地域医療構想について」（事務局）

*新型コロナウイルスの影響により中止

b 講演会

第55回 12月15日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／16名 オンライン参加申込／67名 計83名

テーマ／「新型コロナウイルス感染症、新型コロナウイルスワクチンの2年間の推移」

講師／笠松 悠（京都府立医科大学感染制御・検査医学教室助教、

京都府立医科大学附属病院感染症科医員）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

c その他の取り組み

臨床検査部会 FAX 通信（No.160～ No.165）の送付

G 栄養士部会

当部会は、入院中の食事療養が疾病治療の直接的手段の一部であることを認識し、栄養士・管理栄養士・調理師の質的向上と安全かつ良質な食事の提供、栄養管理業務のさらなる効率化と改善に向けた活動を展開している。

令和3年度は、知識や技術の更なる向上に向け、7月にリハビリテーション栄養をテーマとした研修会を開催、12月には令和3年度介護報酬改定の栄養分野関連のポイントをまとめた説明動画を配信した。また、「栄養管理帳票マニュアル」の見直しを行い2021年度版を発行したほか、令和元年度に作成した各会員施設で提供している嚥下食の食事形態の情報を一覧表として取りまとめた「京都私立病協会嚥下食一覧表」を更新するなど、最新の情報を提供できるように努めた。

さらには、タイムリーな話題に対して運営委員会にて相互の勉強会を行うなど、栄養部門を取り巻く状況を的確に把握し、会員に有用な情報提供ができるよう研鑽に努めている。

1 運営委員会

委員長：佐伯美和（伏見岡本病院）

副委員長：佐々木由美（洛和会東寺南病院）

委員：赤尾 志（宇治徳洲会病院）、熊田久美（なぎ辻病院）、福島由理（宇治おうばく病院）、

森田秀之（十条武田リハビリテーション病院 ～令和3.5）、

杉本篤子（京都民医連中央病院）、松村明美（北山武田病院 令和3.6～）

担当役員：畑 典男（～令和3.5）、児玉直俊（令和3.6～）

開催日 (Webのみ) 4/15 5/20 6/17 7/15 9/16 10/21 11/18 12/16 2/17
3/17 計10回

2 主な活動

a 研修会

第82回 7月15日 於：私病協会議室 (Web 併用)

会場参加／2名 オンライン参加申込／46名 計48名

テーマ／「高齢者のサルコペニア、フレイル、コモビディティと栄養管理」

講師／吉田貞夫 (ちゅうざん病院副院長・金城大学客員教授)

説明／「地域医療構想の最近の動向について」(事務局)

第83回 12/20～1/21 (動画配信) 参加申込者／64名

テーマ／「令和3年度介護報酬改定について (栄養分野関連)」

講師／泉 綾子 (株式会社フードケア学術担当)

説明／「地域医療構想の最近の動向について」(事務局)

b 栄養管理帳票マニュアル2021年度版の発行

c 京都私立病院協会嚥下食一覧表更新

d 相互学習

4月15日 腹膜透析患者等への食事指導について

5月20日 微量元素の不足が疑われる症例紹介およびミネラルの相互作用を考慮した栄養管理に関する報告

6月17日 実習生の受入れ状況及び感染症対策に関する自院での取り組みについて

9月16日 施設での給食管理業務について

10月21日 自院における栄養情報提供書の記載状況と今後の展望について

11月18日 新型コロナウイルスによるクラスター発生時の栄養科の取り組みについて

2月17日 糖尿病透析予防教育について

3月17日 嚥下食一覧表の活用について

H リハビリテーション部会

当部会では、会員施設に勤務する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の医療スタッフとしての質の向上を図ることを目的とし、リハビリテーション部門における診療報酬関係や日常業務に関する情報について活発に情報交換を行い、迅速に収集・分析し、会員に提供している。

令和3年度はリハビリテーション専門職の更なる資質向上につながる講演会や府民リハビリテーション啓発支援事業(詳細別記)の企画・運営への協力等を行った。

1 運営委員会

委員長：田村 篤 (洛西シミズ病院)

副委員長：織田泰匡 (同志社山手病院)、田後裕之 (京都岡本記念病院)

委員：秋本喜英 (医仁会武田総合病院)、荒木美奈子 (京都民医連中央病院)、

大嶋孝司（京都リハビリテーション病院）、
大藪誠士（洛和会音羽リハビリテーション病院）、尾谷雅章（京都きづ川病院）、
岸本紀和（十条武田リハビリテーション病院 令和3.6～）、
橋本幸典（京都大原記念病院）、山本佐知子（京都南病院）

担当役員：清水史記（～令和3.5）、児玉直俊（令和3.6～）

開催日 （Web 併用） 4/2 10/1 11/5 12/3 1/7 2/4 3/4
（Web のみ） 5/7 6/4 7/2 8/6 9/3

計12回

2 主な活動

a 講演会

第24回 7/13（動画撮影） 7/26～8/20（動画配信） 参加申込者／326名

テーマ／「被殻出血に強くなる」

講師／吉尾雅春（千里リハビリテーション病院副院長・理学療法士）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第25回 11/10（動画撮影） 11/22～12/6（動画配信） 参加申込者／193名

テーマ／「リハビリテーション部門における人財育成と働き方」

講師／松原 徹（医療法人社団輝生会在宅総合ケアセンター成城副センター長・理学療法士）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第26回 3/21（動画撮影） 3/23～3/31（動画配信） 参加申込者／197名

テーマ／「令和4年度診療報酬改定のポイント」

講師／仲野 豊（株式会社仲野メディカルオフィス代表取締役）

b その他の取り組み

・府民リハビリテーション啓発支援事業への協力

I 臨床工学技士部会

当部会では、会員施設に勤務する臨床工学技士の知識・技術の向上を図るとともに、臨床工学技士のいる、いないに関わらず、全ての会員施設における適正かつ安全な医療機器の使用・管理に資するべく、講演や研修等の企画・運営を行っている。

令和3年度は10月に、透析治療等において臨床工学技士が行う新型コロナウイルス感染症対策や、多職種による感染対策チームにおける臨床工学技士の役割等についての事例発表や、臨床工学技士と多職種とのディスカッションを通じて、会員施設の医療安全対策、感染対策の更なる強化を図るための内容で講演会を開催した。

1 運営委員会

委員長：井上 武（医仁会武田総合病院）

副委員長：太田雅文（宇治徳洲会病院）

委員：泉田洋志（京都保健衛生専門学校）、藤井 耕（京都民医連あすかい病院）、

垣谷圭祐（洛和会音羽記念病院）、岡田忠久（京都桂病院）、松田英樹（西陣病院）

担当役員：武田敏也

開催日 (Web 併用) 5/25 7/27 9/28 10/23 2/22 計5回

2 主な活動

a 講演会

10月23日 於：私病協会議室 (Web 併用)

会場参加／5名 オンライン参加申込／43名 計／48名

解説／「地域医療構想 (タスクシフト／シェアの推進、臨床工学技士の業務範囲拡大を含む) について」

講師／藤井 耕 (京都民医連あすかい病院医療安全管理室長)

テーマ／「新型コロナウイルス感染症対策について～臨床工学技士の視点から～」

講師／大西智貴 (医仁会武田総合病院臨床工学科係長)

加藤知子 (宇治徳洲会病院臨床工学科主任)

吉川純希 (京都桂病院臨床工学科)

末延史江 (京都民医連あすかい病院臨床工学部副主任)

古田貴志 (西陣病院臨床工学科主任)

長谷川裕樹 (洛和会音羽記念病院 CE 部)

b 施設見学

2月22日 (オンライン見学会) 東レ株式会社

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

J 部会連携会議

当協会の会員施設は様々な専門職で成り立っており、当協会の取組は病院に従事する職員全てに通じている。職種のみを取組にとどまらず全ての職種が連携して協会の目的を達成するべく、平成30年度より職能別部会が一堂に会する部会連携会議を設置し、意見交換や課題の共有等を行い、各部会が協力し合って協会の各種事業を推進する体制づくりに努めている。

令和3年度は、各部会の代表者による運営委員会を開催し、部会連携会議 (全体会議) の企画や部会同士の連携強化に向けての取組について協議した。

1 運営委員会

担当役員：明石 純、茨木孝二

委員：事務長会、看護部長会、薬剤師部会、放射線技師部会、臨床検査部会、栄養士部会、リハビリテーション部会、臨床工学技士部会の各職能別部会から代表者各1名

開催日 (Web 併用) 12/21 2/15 計2回

K 全体会議

医療・介護に関する国の政策や動向等を会員に説明するとともに、協会の取り組みを報告し、更には会員相互の情報交換と各地域における諸問題を検討する目的で年1回開催している。

令和3年度も全体会議を開催し、会員への事業報告、各地域における課題等の意見交換、特別講演会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、「令和3年度上半期職務執行状況報告書」（令和3年11月17日当協会理事会・幹事会で承認）の送付を以って令和3年度上半期の協会の取り組みの報告に代えるとともに、本報告や地域で抱える課題等についての意見を電話やE-mailで受け付けた。

L 創立57周年記念式典

令和3年度は協会創立57周年を迎え、記念式典を開催した。協会設立以降57年間の協会の活動を振り返りながら、会員病院の発展と京都府民の安心・安全に努めることを誓った。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催することとし、例年開催している祝賀会は実施せず、会員施設からの被表彰者は各施設1名の代表者のみが出席、保健医療管理士・役員を合わせて、総勢73名が参加した。記念式典では、会員各病院から推薦された職員に対し、優良職員・永年勤続職員の表彰を行った。また、第30期保健医療管理者養成講座の修了生に対して保健医療管理士の認定証を授与した。

11月30日 於：京都ホテルオークラ 参加者総数／73名

優良職員・永年勤続職員表彰／330名

第30期保健医療管理者養成講座 保健医療管理士認定／25名

M 新春会員懇親会

会員相互の親睦を深めることを目的に、年頭の恒例行事として定着している新春会員懇親会を令和4年1月に開催した。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomを用いたハイブリッド型を導入し、講演会の様子をオンラインでも配信した。本催しでは、華道家元池坊事務総長の池坊雅史氏より「池坊華道の魅力 なぜ1500年続いてきたか」と題したご講演をいただいた。また、ご来賓の西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長から祝辞を頂戴し、新たな一年の門出に相応しい華やかなひと時となった。

1月15日 於：京都ブライトンホテル（Web併用）

会場参加 /14名 オンライン参加 /23名 計37名

講演会／「池坊華道の魅力 なぜ1500年続いてきたか」

講師／池坊雅史（華道家元池坊事務総長）、今川有紀（池坊短期大学専任講師）

ご来賓／西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長

Ⅲ 情報活動

A 協会ホームページ

協会の活動や会員の情報を広く発信するとともに、会員に重要な医療・介護に関する情報をタイ

ムリーに提供するため、Web上でホームページを運営している。

ホームページは、協会の事業紹介、行政からの医療・介護関連通知、診療報酬・介護報酬改定情報、各種研修・催しの案内、会員施設の紹介、京都府医療勤務環境改善支援センター、無料職業紹介メディワークセンター、薬剤師・看護職の復職支援サイトなど、多岐にわたる内容で構成している。

近年では、入退院時の調整や医療・介護の相互連携に資するため、京都府内病院の地域連携室等の窓口情報を掲載し、毎年1回更新している。また、京都府医療勤務環境改善支援センターが推進している「京都いきいき働く医療機関認定制度」のサイトでは、宣言病院・認定病院を紹介し、勤務環境改善に取り組む病院が広く認知され、医療従事者の確保・定着に繋がるよう努めている。更にはSNS（Facebook）を用いて協会の取組を紹介する等、協会の更なる認知度の向上を図っている。

令和3年度も会員に関連のある重要情報を迅速にホームページ上に掲載した。また、サイト上で各種研修・イベント受付システムを運用し、会員の利便性を高めるとともに、一部の研修でeラーニングも開始した。

京都私立病院協会ホームページ <https://www.khosp.or.jp/>

B ファックス通信

協会では、ファクシミリ用の専用回線を有しており、全会員に同報送信できるファックス通信網を敷いている。緊急の案件、行政からの通知文書、各種調査などをファックス通信で迅速に発信するとともに、会員と連絡を取り合うツールとしても活用している。会員への発信や情報提供をより迅速に行うとともに利便性を高めるため、近年は協会ホームページも併用している。E-mailの活用も本格化させていく準備を進めている。

IV 病院職員の確保対策への取り組み

A 看護師等養成事業

1 看護師養成

京都保健衛生専門学校では、看護学科3年課程1クラス40名定員の養成並びに京都中央看護保健大学校では、統合カリキュラムによる看護学科と看護保健学科の2学科4年課程各40名定員の養成を行い、それぞれ時代のニーズにあわせた教育を実践し、将来を見据えた学校運営を行った。

京都には9校の看護学部を設置する大学があり、18歳人口の減少や高学歴を求める社会環境の影響を受け、学生募集を取り巻く環境は非常に厳しい。あわせて、新型コロナウイルス感染防止対策やICT教育の推進など社会情勢の変化に応じた対策を求められるなど、専門学校における学校運営はさらに厳しい状況となった。

また保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正により、令和4年度入学生からカリキュラムが改正され裁量範囲が広がることにより両学校それぞれのオリジナリティが求められることになった。

高等教育において重要な役割を担う両専門学校には、今後も看護教育のあり方を見据えた中・

長期的な視野に立ちながらの学校運営を行う必要があるとともに、就職内定率の高い専門学校の魅力を活かし、より専門性の高い、実践力のある人材の育成が求められる。

2 臨床検査技師・臨床工学技士養成

京都保健衛生専門学校における臨床検査技師の養成は、昼間・夜間を併せて80名定員で養成を行った。第一臨床検査学科では、臨床検査にかかわる自動機器や AI 技術が進歩する中、現場で必要とされる生理機能検査技術学と検査データを解釈する検査診断学の指導に力を注ぎ、臨床工学技士専攻科や大学編入学を目指す学生の育成にも励んだ。第二臨床検査学科では、生理機能検査技術学のみならず診療情報管理士資格取得に向けても取り組んだ。

臨床検査技師を養成する大学が京都市内に開設されて以降、少子化と合わせて、学生募集の環境は非常に厳しく、入学生の確保は大変困難となり、学校運営は厳しい状況になっているが、募集要項の変更や指定校の追加など工夫をしながら募集に取り組んだ。

臨床工学技士専攻科は定員24名と少数でおかつ1年間という短い期間であることから、医用電気機器の保守点検、安全管理についての基礎知識、生命維持管理装置の操作、保守管理の仕方の基礎などの習得に重点をおいている。専攻科という特性から入学生の確保は毎年厳しい状況となっているが、指定校（崇城大学）との連携体制の充実や他の大学・専門学校への訪問を行うなど学生確保に向けての取り組みの強化をはかった。

両学科とも臨床検査技師及び臨床工学技士・診療情報管理士・第2種 ME 技術者などの資格が取得できるなどの特徴を生かし、より専門的な知識や技術を習得し、臨床の現場で活躍できる医療人の育成に力を注いだ。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、コロナ以前のような学校運営ができない状況の中、両学校ともにオンライン授業を実施するための環境を整備し、対面授業とオンライン授業との併用、また臨地実習前に PCR 検査を行うなどさまざまな工夫を行い、感染防止対策を徹底することでコロナ禍における教育の質の確保に努めた。

B メディワークセンター事業

会員施設を中心に京都府内の医療機関における人材確保に寄与することを目的に、医療従事者無料職業紹介所として厚生労働大臣の許可を受け、「無料職業紹介メディワークセンター」を運営し、求人者と求職者を繋ぐ役割を担っている。

メディワークセンターは有料の人材紹介会社とは異なり、求人者・求職者ともに紹介手数料等は一切不要であることから、会員施設からの期待は大きい。

令和3年度においても、通常の求職登録に加え、当協会が京都府から受託実施している看護人材早期復職支援事業、京都府医療介護総合確保基金事業として実施している医療従事者確保強化事業（各々詳細別記）と連携し、再就業を希望する登録看護職・薬剤師および一般市民向けに開催している看護補助者説明会（令和3年度は動画配信）の参加者をメディワークセンターに引き継ぐ等の取組を行っており、求職登録の増加に努めている。

また、令和3年度はメディワークセンターの認知度を上げるべく、リビング京都に広告を掲載し、

メディアワークセンターの特徴・メリット・登録方法等を掲載した。様々な職種から当日は計25名の問い合わせがあり、登録者については会員施設への見学や面接など、就職に向けてのアプローチを行った。

今後も登録者にとって求人情報の充実が実感できるよう、会員施設による求人登録をはじめ求人登録増に繋がる活動も積極的に働きかけていくこととしている。

事業者団体、職能団体、行政が連携して、介護・福祉の人材確保・定着等に関する取り組みを行っている「きょうと介護・福祉ジョブネット」には、当協会から幹事会に役員を派遣するとともに、平成24年度から「看護職確保プロジェクトチーム」（詳細別記）の事務局を京都府より受託し、介護・福祉における看護人材確保・定着事業も企画・実施している。

1 メディアワークセンター事業運営委員会

a 運営委員

畑 典男、市場真澄、仲田昌司（以上、担当役員）、宝輪克博（～令和3.5）、山口浩二、麻田博之（令和3.6～）（以上、事務長会）、桐畑宏子、井上早苗（～令和3.5）、細越万里子（がくさい病院 令和3.6～）（以上、看護部長会）、津崎桂子（事務局長）、竹内 誠（紹介責任者）

b 運営協力委員

馬瀬久宜（薬剤師部会）、太田和志（～令和3.5）、平井 靖（令和3.6～）（以上、放射線技師部会）、下田浩史（臨床検査部会）、田村 篤（リハビリテーション部会）、森田秀之（～令和3.5）、松村明美（令和3.6～）（以上、栄養士部会）、太田雅文（臨床工学技士部会）

2 主な活動

a メディアワークセンターの周知活動

- ・メディアワークセンターホームページの運営
- ・リーフレット・ノベルティ等を使用しての普及促進
- ・リビング京都への広告掲載

b きょうと介護・福祉ジョブネットへの参画

- ・幹事会・看護職確保プロジェクトチーム：茨木孝二

c 京都私立病院報・FAX 通信での求職者情報の提供

3 求人・求職・紹介状況（令和4年3月31日現在）

有効求人登録数171件、有効求職登録者数10名、紹介件数16件、就職者数4名

V 環境問題・禁煙推進等の取り組み

当協会の創立40周年記念事業（平成16年度）の一つとして、禁煙キャンペーンを開始して以来、積極的な禁煙活動を展開しており、研修会やアンケート調査を実施しているほか、当協会ホームページ内において禁煙推進活動の周知・啓発を行うなど、会員施設における禁煙推進の取り組みを支援するための活動を行っている。また、当協会も加盟している京都禁煙推進研究会の各種事業への後援も継

続きしており、禁煙推進等に関する最新の情報を取得し、会員への情報提供に努めている。

また、環境問題への取り組みについては、創立45周年記念事業（平成21年度）として実施した環境宣言や環境キャンペーンの経験が活かされ、日常的に省エネ活動に取り組む等会員施設の職員一人一人に浸透している。

VI 病院団体との交流

A 近畿病院団体連合会

近畿2府4県の病院団体（10団体）で構成する近畿病院団体連合会は、委員会が1年ごと、事務長会が2年ごとに各団体の持ち回りで開催されている。

令和3年度の委員会は、奈良県病院協会が主務を担当し、オンラインによる委員会が開かれ、新型コロナウイルス感染症における各府県の対応、地域医療構想・医師の働き方改革への対応等を意見交換した。当協会からは会長・副会長が出席し、京都府における新型コロナウイルス並びにワクチン接種の状況、地域医療構想や医師の働き方改革など医療提供体制について現状と課題の報告や意見を述べた。事務長会は和歌山県病院協会が主務を担当した。

1 委員会 担当／奈良県病院協会

a 第1回委員会 8月3日 於：オンライン開催 参加者／54名

1) 令和3年度役員を選任

委員長／青山信房（奈良県病院協会会長）

副委員長／岡村孝仁（奈良県病院協会副会長）、小椋英司（滋賀県私立病院協会会長）

2) 議題（協議事項、報告・情報提供含む）

- ・新型コロナワクチンの接種状況について（現状と課題）
- ・地域医療構想への対応状況について
- ・医師の働き方改革への対応状況について

3) 特別講演

演題／「新型コロナウイルス感染症～その本質と対策を考える～」

講師／川村 孝（京都大学名誉教授）

b 第2回委員会 2月18日 於：オンライン開催 参加者／49名

1) 議題（協議事項、報告・情報提供含む）

- ・オミクロン株への対応について
- ・新型コロナウイルス感染症の病院経営に対する影響調査結果について

2) 特別講演

演題／「新型コロナ対策を受けた地域医療構想、医療計画の現状と課題」

講師／今村知明（奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授）

2 事務長会 担当／和歌山県病院協会

- a 第1回事務長会 11月26日 於：ダイワロイネットホテル和歌山
(詳細は事務長会の頁を参照)

*例年2回開催のところ、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、1回の開催となった。

3 事務局長会議

12月17日 於：マークススクエア神戸

テーマ／「新型コロナ感染症流行時における協会活動について」

「オンラインの場合の参加費の徴収について」

「医師の働き方改革について」

B 中央における病院団体

中央組織の主な病院団体は、日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会があり、当協会から役員を派遣し、情報収集や意見具申を積極的に行っている。また、この四つの中央病院団体で「四病院団体協議会」(四病協)を構成し、さらに四病協の構成団体を含む12団体による「日本病院団体協議会」(日病協)も各種事業、要望活動を行っており、病院団体として統一した活動が展開されている。

中央の病院団体のうち、全日本病院協会及び日本医療法人協会の京都府支部の事務局は、当協会事務局が担っており、両協会が主催する研修会や通知等を情報提供している。

1 日本病院会

役員派遣／常任理事：武田隆久 代議員：清水鴻一郎、久野成人

2 全日本病院協会

役員派遣／理事：清水鴻一郎

京都府支部長：清水鴻一郎 副支部長：小森直之、石丸庸介

令和3年度総会 3月16日

京都府支部事務局は京都私立病院協会内に設置

3 日本医療法人協会

役員派遣／副会長(ブロック推薦理事)：小森直之 理事：富士原正人

京都府支部長：武田隆久

令和3年度総会 3月16日

京都府支部事務局は京都私立病院協会内に設置

Ⅶ 京都府内における医療関係団体との連携

A 京都府医師会

京都府医師会とは、地域医療、保険診療をはじめ医療に関わる様々な分野において活発に情報交換、意見交換をしながら相互理解を図り、府民への医療の質向上、医療・介護制度への意見・提言

など協働して活動を行っている。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、京都府医師会と情報共有・連携をしながら医療提供体制の確保、新型コロナワクチン接種に取り組んだ。

その他、京都府医師会が事務局を担う京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会への参画、京都府医師会主体で府内の医療団体や患者団体で組織している京都府医療推進協議会、各種委員会への委員派遣にも協力している。

医師の働き方改革、控除対象外消費税問題、臨床研修医・専門医制度への対応なども、医師会と意見交換、情報交換しながら取り組んでいる。

1 各種委員会等への委員の派遣

- ・救急・災害委員会：富士原正人、武田隆久、清水史記
- ・京都府交通事故医療連絡協議会：武田隆久
- ・学術・生涯教育委員会：近藤泰正
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡会議：清水鴻一郎
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会解剖・Ai支援検討小委員会：富士原正人
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会院内事故調査支援小委員会：武田隆久
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会相談体制小委員会：久野成人
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会研修小委員会：富田哲也
- ・医療安全対策委員会：武田隆久
- ・医療事故対策処理室（外科領域）：富士原正人
- ・医療事故対策処理室（整形外科領域）：勝見泰和（十条武田リハビリテーション病院）
- ・臨床研修のあり方に関する検討委員会：清水 聡
- ・京都府臨床研修指定病院協議会：清水 聡
- ・感染症対策委員会：清水 聡
- ・地域ケア委員会：久野成人
- ・京都府リハビリテーション連絡協議会・地域連携パス運営会議：富田哲也
- ・京都府医療推進協議会代表者会議委員・実行委員：武田隆久

2 その他催しへの共催・後援・派遣

a 令和3年度「総合診療力向上講座」への後援

7月31日 8月7日 8月28日 9月25日 於：Web講習会

b 令和3年度「京都在宅医療塾」への後援

9月12日 10月10日 11月14日 1月30日 於：Web講習会

B 京都府病院協会

京都府病院協会とは毎年共催で京都病院学会を開催している。第56回目を迎えた令和3年度の本学会も両協会の担当役員による理事会を開催するとともに、両協会の会員施設から実行委員の派遣協力を得て運営体制を構築した。本学会では新型コロナウイルスの感染防止のため、初めてWeb

上で開催し、動画配信を中心とした講演・発表を行った。「WITH コロナ、愛と誠と夢のある病院づくり」を全体テーマにして、467題の演題発表があり、参加登録者は1,053名であった（詳細別記）。京都市域二次病院群輪番体制では、京都府病院協会は土・日・祝の小児輪番を担当し、その他の小児・一般輪番を当協会が担当している。輪番協力病院の確保が厳しい状況の中、両協会の病院がともに連携して休日・夜間等における救急医療体制の確保に努めている。

両協会では合同での会議も開催しており、近畿の病院団体が一堂に会する近畿病院団体連合会、地域医療構想・新型コロナウイルス感染症への対応、働き方改革等の共通課題に対し、協力して取り組んでいる。

1 両会合同会議

2月2日 於：オンライン開催 参加者／27名

テーマ／①「第6波（オミクロン株）への対応について」

②「令和3年度近畿病院団体連合会第2回委員会への対応について」

③「第56回京都病院学会の開催結果及び第57回開催に向けて」

④「令和3年度京都府国民健康保険運営協議会について」

2 第56回京都病院学会の共催

学術研修部の第56回京都病院学会の頁に詳記

3 令和3年度近畿病院団体連合会委員会の共同対応

8月3日 於：オンライン開催

2月18日 於：オンライン開催

総務部の近畿病院団体連合会の頁に詳記

C 京都精神病院協会

精神科医療を専門とする京都府内の病院団体として、京都精神病院協会から当協会役員を迎え、精神科を取り巻く諸問題に対し、専門家の立場として様々な意見を求めている。特に精神疾患と急性期の身体疾患を併せ持つ患者に対する診療や入院受入の課題を共通認識として、京都府及び京都市に対し、診療や入院受入が可能なシステムや医療提供体制の構築、入院病床の確保を要望している。

当協会が平成25年度から実施している「病院認知症対応力向上事業」等の各種事業においては、京都精神病院協会加盟の府内精神科病院から、認知症サポート医・認知症看護認定看護師・作業療法士・臨床心理士をはじめとする講師派遣の協力を得ている。

D 京都府慢性期医療協会

京都府慢性期医療協会とは、平成10年11月に京都介護療養型医療施設連絡協議会として設立された当初から、現在の協会名称に変更後も京都私立病院協会内に事務局を置き、互いに連携・情報共有しながら活動をおこなっている。慢性期医療や地域包括ケアシステムの課題、診療報酬の施設基準（認知症ケア加算2・3、排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料）の該当研修の実施、介護保

険制度・介護サービス第三者評価の推進、医療と介護の連携等、共通の課題に協力して取り組んでいる。

令和3年度は、上記に加え、身体拘束廃止推進に資する研修、介護医療院・介護療養型医療施設の施設基準・介護報酬の点検に資する研修、令和3年度介護報酬改定に係る影響度調査を共同して実施した。

E その他

1 医療・介護関連団体等への役員・委員派遣

- ・公益社団法人京都府介護支援専門員会特任理事：久野成人
- ・京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事会：久野成人（理事、認定・公表委員会委員）
- ・京都府ナースセンター事業運営委員会：石丸庸介
- ・京都府国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会：久野成人
- ・京都府国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会介護医療部会：清水 聡（～令和3.7）、菊地三弥（令和3.10～）
- ・きょうと介護・福祉ジョブネット幹事会：茨木孝二
- ・社会を明るくする運動京都府推進委員会：富田哲也
- ・タバコフリー京都 タバコ対策部会、医療・介護連携部会：富士原正人
- ・京都府歯科医師会地域保健推進プロジェクトチーム会議：武田隆久
- ・京都栄養医療専門学校教育課程編成委員：茨木孝二
- ・近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会：茨木孝二

2 関係団体催しへの共催・後援・協賛

a 令和3年度「看護の日」事業への後援

4月29日、5/2～11 ほか

b 2021年世界禁煙デー in 京都への後援

5月23日～6月30日

c 京都介護サービス協同組合主催 第2回介護施設で働く外国人による「日本語作文コンクール」への後援

6月1日～7月31日

表彰式 10月22日 於：ハートピア京都

d 第41回近畿作業療法学会への後援

6月6日 Live 配信

5月16日～6月27日 オンデマンド配信

e 令和3年度看護職確保定着推進事業「看護職就職・就学合同フェア2021」への後援

8月1日～31日 オンライン開催

- f NPO 法人京都禁煙推進研究会（タバコフリー京都）主催 第8回禁煙外来講習会 第36回タバコフリー京都フォーラム（禁煙指導講習会）への後援
8月21日 於：Web 講演会
- g 日本医療マネジメント学会第18回京滋支部学術集会への後援
8月21日 オンライン開催
- h 京都市老人福祉施設協議会主催 令和3年度介護の日記念事業「かいごみらいフェス2021」への後援
11月7日 於：KBS 京都ラジオ
- i 日本放射線技術学会市民公開シンポジウムへの後援
11月14日 於：メルパルク京都
- j 第27回京都府老人保健施設大会への後援
12月17日 於：ディリパ京都
- k 京都新聞主催「オレンジ」認知症とともに生きる啓発キャンペーンへの後援
1月～12月
- l 一般社団法人日本介護支援専門員協会主催 第20回近畿ブロック研究大会 in 京都への後援
1月22日～30日 オンデマンド配信
- m NPO 法人京都禁煙推進研究会（タバコフリー京都）主催 第23回卒煙サポーター養成講座への後援
2月6日 オンライン開催
- n 第8回医療と介護の総合展大阪（メディカルジャパン2022大阪）への後援
2月24日～26日 於：インテックス大阪

Ⅷ 行政への対応

民間病院が府民により充実した医療、安心・安全な医療を提供するためには、医師・看護師等の人材確保、経営基盤の安定が不可欠であり、毎年の京都府・京都市の予算編成時等、行政に対してあらゆる機会を捉えて要望を行っている。

当協会は多職種の医療・福祉専門職を擁する組織として、行政から各種事業を受託しており、京都府からは医療資源の少ない地域の高齢者に介護予防の啓発を行う「府民リハビリテーション啓発支援事業」、退職看護職の登録システムの普及と再就業を促進する「看護人材早期復職支援事業」、京都式オレンジプランの達成に向けて一般病院での認知症対応力向上や地域との連携強化を図る「病院認知症対応力向上事業」等を受託している。（詳細別記）

平成27年度からは、京都府地域医療介護総合確保基金事業として、京都府医療勤務環境改善支援センター事業をはじめとする医療従事者の勤務改善促進に係る事業、医療従事者の確保・定着・資質向上に係る事業、在宅医療・介護の人材育成・連携に係る事業を実施してきた。平成30年度は、病院の全ての医療従事者への地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）の周知を図り、病床の機能分化・連

携を推進し、将来の医療提供体制の充実に寄与することを主眼に置き、目的達成のための各種取り組みを行った。また、京都府より「地域連携型在宅医療支援病院事業」を受託し、在宅医療に取り組む病院に対し、病診連携・病介連携、地域の専門職との連携に資する取組等への一部補助を実施している。

京都市からは、新規の要支援・要介護認定申請者への認定調査を行う市町村事務受託法人、離職看護師の再就業を支援する病院が実施した研修の経費を補助する「離職看護師能力再開発事業」、京都市内の一般病院における認知症対応力向上を図ることを目的とした「京都市病院認知症対応力向上事業」を受託実施している。(詳細別記)

新型コロナウイルス対応については、令和3年度も京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議や京都市新型コロナワクチン接種推進協議会など新型コロナ関連の各種審議会やその他機会がある度に、感染拡大時における医療提供体制や新型コロナワクチン接種について、民間病院の立場から意見具申や要望を行った。また、京都府からは新型コロナウイルス陽性者の宿泊療養施設への看護師派遣、京都市からは新型コロナワクチン集団接種への医師・薬剤師・看護師の派遣を受託し、会員施設等の協力を得て、陽性者へのケア並びに感染防止に尽力した。(詳細別記)

その他、国の医療・介護制度や府内の医療・介護行政をはじめとして、様々な情報を会員に提供するとともに、府内を代表する病院団体として京都府や京都市の審議会等の場で意見を述べ、また担当部署との個別の協議も行っている。その他、行政からの医療機関に対する各種通知や調査等の協力依頼についてもその都度積極的に対応した。

A 京都府

1 要望活動

- ・令和4年度京都府予算への要望 10月15日 於：京都府庁
<要望内容「ウイズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」>
 - (1) 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について
 - (2) 地域医療構想（ビジョン）の実現にむけて
 - (3) 地域医療・介護総合確保基金による事業の継続と拡充について
 - (4) 医師・看護師をはじめとする医療従事者の不足解消にむけて
 - (5) きょうと健やか21（第3次）の実現にむけて
 - (6) 救急医療体制の充実にむけて
 - (7) 大規模災害発生時の体制整備の強化について

2 西脇隆俊京都府知事と京都私立病院協会役員との懇談

新型コロナウイルス感染症全般について意見交換 10月12日 於：私病協会議室

3 審議会等への委員の派遣

- ・京都府医療審議会・法人部会・計画部会：清水鴻一郎
- ・京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキング：富士原正人、武田隆久、石丸庸介
- ・京都市域地域医療構想調整会議：清水鴻一郎、久野成人、武田隆久
- ・京都府医療対策協議会：清水鴻一郎

- ・京都府医療対策協議会（山城医療圏代表）：石丸庸介
- ・京都府医療対策協議会医師確保ワーキングチーム：久野成人
- ・京都府地域医療支援センター運営会議：清水 聡
- ・内科専門研修プログラム関係者会議：清水 聡
- ・京都府看護師等確保対策推進協議会：石丸庸介
- ・京都地域包括ケア推進機構理事会：清水鴻一郎
- ・地域包括ケアシステム推進プラン検討委員会：久野成人
- ・在宅療養あんしん病院登録システム運営会議：久野成人、富士原正人
- ・認知症総合対策推進プロジェクト全体会（医療・ケア連携部会）：武田隆久
- ・新・京都式オレンジプラン推進ワーキング：富田哲也
- ・2025年を見据えた看取り対策協議会：久野成人
- ・看取り期の死亡診断・検案時における連携促進ワーキング：久野成人
- ・京都府高齢者サービス総合調整推進会議：久野成人
- ・多職種による在宅療養支援部会：武田隆久
- ・京都府死因究明等推進協議会：富士原正人
- ・京都府救急医療懇談会：武田隆久
- ・京都府高度救急業務推進協議会：武田隆久
- ・救急要請および在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会：武田隆久
- ・京都府周産期医療協議会：石丸庸介
- ・京都府周産期母子医療センター全体会議：石丸庸介
- ・京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議：武田隆久
- ・京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議：武田隆久
- ・精神科救急医療連携強化会議：武田隆久
- ・京都府災害拠点病院等連絡協議会・京都 DMAT 連絡協議会：武田隆久
- ・京都府災害時要配慮者避難支援センター幹事会：武田隆久
- ・京滋ドクターヘリ運航調整委員会：武田隆久
- ・ドクターヘリ症例検討部会：武田隆久
- ・救急安心センター京都運営協議会：武田隆久
- ・#7119検証会議：武田隆久
- ・外国人患者受入体制モデル構築事業調整会議：清水 聡
- ・京都府地域リハビリテーション連携推進会議：武田隆久
- ・京都府リハビリテーション部会（地域リハビリテーション連携推進会議）：武田隆久
- ・京都府リハビリテーション教育センター運営委員会：武田隆久
- ・京都府北部地域リハビリテーション提供体制充実検討会議：富士原正人
- ・京都府がん対策推進協議会（がん登録部会）：富士原正人
- ・京都府がん対策推進府民会議情報提供充実対策部会：富士原正人

- ・京都府がん医療戦略推進会議：富士原正人
- ・京都府がん医療戦略推進会議・地域連携部会：富士原正人
- ・地域医療機関がん対応力向上システム検討会議：富士原正人
- ・京都府循環器病対策推進協議会：清水鴻一郎
- ・京都府肝炎対策協議会：富士原正人
- ・京都府糖尿病重症化予防戦略会議：藤澤明生
- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議：清水鴻一郎
- ・新型コロナウイルス感染症対策協議会：清水鴻一郎、久野成人、武田隆久、藤澤明生、
清水 聡
- ・京都府新型コロナウイルス感染症関連病院長意見交換会：清水鴻一郎
- ・新型コロナ対策医療関係者会議：清水鴻一郎
- ・京都府新型インフルエンザ等対策専門家会議：清水 聡
- ・京都府ワクチン等確保検討会：清水 聡
- ・新型インフルエンザ対策協力医療機関連携会議：清水 聡
- ・エイズ治療拠点病院等連絡会議：清水 聡
- ・京都府蚊媒介性感染症対策連絡会議：清水 聡
- ・京都府中東呼吸器症候群（MERS）対策連絡会議：清水 聡
- ・京都府難病医療連絡協議会：富田哲也
- ・きょうと地域創生府民会議：富田哲也
- ・京都府省エネ・節電対策連絡調整会議、健康福祉部関係団体連絡調整会議：茨木孝二
- ・下水熱民間利用促進ネットワーク会議：市場真澄
- ・京都府少子化対策戦略会議：清水鴻一郎
- ・京都府慢性疾患児童等対策地域支援協議会：石丸庸介
- ・地域での子育て支援の仕組みづくりワーキンググループ：石丸庸介
- ・母子対策ワーキンググループ：石丸庸介
- ・京都府少子化対策府民会議：石丸庸介
- ・京都府要保護児童対策地域協議会：石丸庸介
- ・京都府要保護児童対策地域協議会情報共有体制検討ワーキンググループ：石丸庸介
- ・京都府医療的ケア児等支援協議会（旧：京都府在宅療養児支援体制検討委員会）：石丸庸介
- ・京都府先天性代謝異常等検査検討委員会：石丸庸介
- ・京都府子育て支援医療助成制度あり方検討会議：武田隆久
- ・京都府病児・病後児保育事業検討会：石丸副会長
- ・京都府産後ケア事業の広域利用に係る検討会：石丸庸介
- ・京都歯と口の健康づくり推進協議会（京都8020運動推進協議会）：富田哲也
- ・京都府自殺対策推進協議会：武田隆久
- ・京都府薬事審議会：武田隆久

- ・患者のための薬局ビジョン推進事業意見交換会：武田隆久
- ・健康情報拠点薬局設置推進事業意見交換会：武田隆久
- ・後発医薬品安心使用に係る意見交換会：武田隆久
- ・あんしん安全服薬環境基盤整備事業に係る意見交換会：武田隆久
- ・地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業に係る意見交換会：武田隆久
- ・京都府地域医療介護総合確保基金事業（医療分）検討会議：清水鴻一郎
- ・配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議（代表者会議）：石丸庸介
- ・きょうと婚活支援ネットワーク会議：津崎桂子
- ・京都府婚活マスター：津崎桂子
- ・京都府就業支援・人材確保計画推進会議：津崎桂子
- ・令和4年度京都地域包括ケア推進機構プロジェクト推進業務に係る意見聴取：津崎桂子
- ・ステキ女子のからだメンテプロジェクト応援団体会議：津崎桂子

4 催しへの共催・後援等

- a 令和3年度「愛の血液助け合い運動」への後援
7月1日～31日
- b 令和3年度京都府リハビリテーション教育センター第17回座学研修会への後援
10月2日 於：Web研修
- c 京都府リハビリテーション教育センター実践セミナー・実地研修への後援
7月17日～1月13日（2クール開催・実地研修は随時） 於：実践セミナー／Web研修
実地研修／京都府立医科大学及び京都府リハビリテーション教育センター指定病院
- d 令和3年度「配偶者等からの暴力をなくす啓発期間」への協賛
11月12日～25日
- e きょうと薬物再乱用防止ネットワークへの参画
- f 子宮頸がん検診啓発を推進するプロジェクトへの応援
- g きょうと企業婚活推進会議、きょうと婚活応援センター団体会員向け交流会の参画

B 京都市

1 要望活動

- ・令和3年度京都市予算への要望 10月28日 於：京都市役所
<要望内容「ウィズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」>
- (1) 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について
- (2) 医師不足・看護師不足への助成について
- (3) 救急医療体制の充実にむけて
- (4) 京都市民健康づくり推進プランの実現にむけて
- (5) 大規模災害発生時の体制整備の強化について

2 審議会等への委員の派遣

- ・地方独立行政法人京都市立病院機構評価委員会：清水鴻一郎
- ・京都市安心救急ネット京都推進会議：清水鴻一郎
- ・京都市救急救命士に関する懇話会：武田隆久
- ・救急要請及び在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会：武田隆久
- ・京都市・乙訓メディカルコントロール協議会：京都市／武田隆久、清水史記
乙訓／奥宮清人（新河端病院）
- ・緊急度判定プロトコル専門部会：富士原正人
- ・京都市域災害医療連絡協議会：武田隆久
- ・京都市急病診療所運営委員会：武田敏也
- ・京都市健康づくり協会：藤澤明生
- ・京都市新型インフルエンザ等対策有識者会議：清水 聡
- ・京都市 HIV 感染症対策専門委員会：清水 聡
- ・健康長寿のまち・京都 市民会議総会：富田哲也
- ・京都市介護認定審査会：稲岡秀陽（京都九条病院）、坂田芳明（愛生会山科病院）、
豊川 茂（金井病院）、野中崇大（京都桂病院）、
牧野荒太郎（愛寿会同仁病院）、
上山さゆみ（京都市リハビリテーション病院）、大島恭子（武田病院）、
岩田義信（武田病院）、永野裕子（吉川病院）、
小澤拓也（伏見桃山総合病院）

Ⅸ 関係団体との連携

当協会には、京都保健衛生専門学校、京都中央看護保健大学の2つの学校と京都府病院協同組合、京都府病院企業年金基金を合わせて4つの関係団体がある。

それぞれの団体は、協会活動のなかから必然的に生まれた組織であり、各団体には協会の会員が参加しており、5つの団体が十分連携をとりながら業務を進めていくことが重要であることから、そのことを念頭に置いた組織運営がなされている。

各団体の役員には私病協の執行部より役員派遣を行い、各団体の事務局責任者が私病協の役員会へ出席することにより相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。

また5団体の職員の賃金及び労働条件については、人事評価制度を盛り込んだ独自の賃金体系を活用し、部分的には各団体の業態の違いからくる制約があるものの、基本的には共通体系で運用されている。

必要が生じれば、各団体の事務局責任者が集まり会議を開催し、各種規程について制度変更に伴う改定作業を行っている。

令和3年度は、令和3年4月から施行された高齢者雇用安定法の改正に対応すべく、関係5団体

の職員の定年を満65歳、再雇用を満70歳まで延長し、それに関連する規則並びに規程等の改正について検討を行った。

また、5つの団体の全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦団体「銅の会」は事業所からの補助と職員の拠出金で運営されている。各団体より職員を派遣し、2年任期で共済会の役員をつとめ運営している。

X 職員人事（令和4年4月1日現在）

A 京都私立病院協会

事務局長／津崎桂子

事務局員／竹内 誠（課長）、神田悦子、山口峻平、臂谷亮輔、松本結佳、吾郷晋一、田中大貴、
渋谷藍子

B 京都保健衛生専門学校

1 事務局

事務局長／佐藤眞喜子

事務次長／磯田典子

事務課長／衣川美佳

事務局員／生沢 好、井越みちよ、山内奈津子、石川東市、大萱信彦、竹本舞夢

2 教務

a 看護学科

1) 看護学科三年課程

教 務 部 長／谷本千亜紀

教 務 主 任／上野佳穂

副教務主任／姫田真弓

教 職 員／大井ゆかり、白波瀬裕美、長岡宏子、鍋島純子、姫井智子、山口知栄子、
渡邊由美、藤澤玉美、北澤小夕里

b 臨床検査学科・臨床工学技士専攻科

教務部長・第二臨床検査学科教務主任兼務／小澤 優

1) 臨床検査学科

教務主任／小西靖志（第一臨床検査学科）

教 職 員／居内早希、五十川團哉、小川秀一郎、木澤明宣、中前雅美、林 敬子、宮井 優

2) 臨床工学技士専攻科

教務主任／泉田洋志

教 職 員／飯田安彦、多田俊介、古谷仁志

C 京都府病院協同組合

事務局長／松村浩史

事務局員／木股亜由美（課長）、石動 誠（課長）、奥村裕一郎（主任）、尾崎結衣、内牧成允、安田昌広、
原田幸雄、松尾一毅、郷田妙子

D 京都府病院企業年金基金

常務理事／関本充治

事務職員／山本順子、山田真美

E （専）京都中央看護保健大学校

学 校 長／久保俊一（理事）

副学校長／阿形奈津子（評議員）

事務局長／土井直也（常務理事）

顧 問／石束佳子（評議員）

1 事務部

事務部長／出野 順（評議員）

事務次長／笹原明美

事務主任／若林典子、宮本志乃

事務職員／野村なつみ

2 教務部

a 看護学科

学 科 長／阿形奈津子（兼任）

副学科長／山本絵奈

教 職 員／池田 恵、森田真帆、横関智恵、安原郁子、倉 桂子、堺 真奈美、赤毛智美、
前川智子、今中奈保子

b 看護保健学科

学 科 長／上山みゆき

副 学 科 長／川崎紀子、田淵眞由美

教務部主任／荒卷富美

教 職 員／山本敏子、筒井恵美、松本留美、嘉田真希、山口さゆり、柴田明美、川上 舞、
森川美奈子、岡田由岐子

【保 険 部】

I 医療保険

A 医療保険をめぐる状況

当協会では入院基本料等をはじめとした各種施設基準の管理・運用を重点項目に挙げ、会員病院が新たな施設基準の取得や適切な基準の管理・運用ができるよう助言等を行った。また、会員施設に対して施設基準の届出に関する相談等ニーズに沿った対応を行った。さらに、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、適時調査が書面での確認となったほか、新型コロナウイルスに係る診療報酬上の臨時的な取扱いが随時示されたため、その都度情報提供を行った。

医療保険に関わる当協会の取り組み全般は、事務長会並びに診療報酬委員会が担当した。事務局では会員病院からの医療保険に関する疑義に対して近畿厚生局京都事務所に照会を求める等を行い、必要な情報提供に努めた。

令和4年4月に実施される診療報酬改定では、本体の改定率が+0.43%となったものの薬価等を含めた全体では-0.94%の改定となる。

今回の改定項目では、「新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築」「安心・安全で質の高い医療の実現のための医師等の働き方改革等の推進」「患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現」「効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上」の四つの柱で構成されており、今後の病院経営においては、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、地域の医療需要を的確に促え、その需要に対し各施設がどのような機能、専門性を持つのかを中長期的な視点から考えていくことが重要となっている。

B 入院基本料等施設基準

医療保険関係については、会員病院が各種施設基準の届出をするにあたり、基準に則った運用と適切な管理運営が行われるよう努めた。また、診療報酬改定に関する情報提供や質問等にも対応した。

1 各種施設基準に係る相談への対応

会員病院から医療保険制度全般について相談を受け付け、問題解決への助言を行うとともに、必要に応じて資料提供等を行った。また、各種施設基準の届出および変更に際しての相談にも対応した。

2 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関の診療報酬上の評価を適切に行う観点から当該保険医療機関の施設基準等について、臨時的な取扱いや疑義解釈の内容を、当協会のホームページや京都私立病院報を通じて情報提供を行った。

C 生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会い

令和3年度も京都府および京都市による生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会いを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

D 診療報酬委員会

当委員会では診療報酬全般に関わる情報収集と分析、各種調査・要望等を行い、会員施設が円滑な病院運営をすることができるよう活動に取り組んでいる。令和3年度は前年度実施した新型コロナウイルス感染拡大による経営・診療報酬の影響に関するアンケート結果を踏まえて、令和4年度診療報酬改定に向けた要望事項を作成し、日本病院会に提出を行い、民間病院の実状に沿った診療報酬体系となるよう要望活動を行った。また、新型コロナウイルス感染症患者の公費入院医療費について、病院側で滞りなく請求が来ているかを確認する緊急調査を実施し、コロナ禍における病院の実態を把握した。

1 委員会

a 委員長：富士原正人（担当役員）

副委員長：仲田昌司（担当役員）

委員：篠田浩之、海藻 達（令和3.6～）（以上、事務長会）、福島朋樹（看護部長会）、橋元 誠（薬剤師部会）

b 開催日（書面）9/8 計1回

2 主な活動

a 令和4年度診療報酬改定に向けた要望事項の提出

b 新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する緊急調査

II 介護保険

A 介護保険をめぐる状況

令和3年度介護報酬改定については、感染症や災害への対応強化の更なる推進や、利用者の状態やケアの実績等を収集するためのデータベース（LIFE）が整備され、現場のケアに活かすための仕組みが設けられるなど、大幅な改定が行われた。

介護医療院では、「移行定着支援加算」が令和3年3月末で廃止となったが、基本報酬は引き上げとなり、療養病床に1年間以上入院していた患者の受け入れを行った場合の「長期療養生活移行加算」や、入所者に関するデータをLIFEに提出し、状態変化等のフィードバックを受け、PDCAサイクルに基づきケアの質の向上を図る「科学的介護推進体制加算」など、機能向上に向けて取り組む施設に対する新たな評価が設けられた。一方、介護療養型医療施設では、令和5年度末での廃止に向けて、介護医療院等への転換を推進するために、基本報酬の大幅な減額や、移行計画を提出しない場合の減算が設けられるなど、厳しい改定となった。

京都府内の介護療養型医療施設の大半が介護医療院等に転換済である一方で、今後の転換の方向

性を未定としている施設もあり、当協会では会員施設の円滑な転換や安定的な施設運営に資するべく、引き続き情報提供等の支援を行っていくこととしている。

今後、介護医療院が介護療養型医療施設と同じく梯子を外されることのないよう、地域包括ケアシステムにおいて、介護医療院が、医療必要度の高い要介護高齢者に対応するとともに、生活施設としての機能も担う重要な介護保険施設として、その存在意義を国に対して強くアピールしていく。

また、京都府内における介護サービス第三者評価については、積極的に評価を受診してサービスの質の向上に取り組むことにより、職員のモチベーション向上等に繋がることから、会員施設には関連の居宅サービス事業所も含めて積極的な受診を奨励している。

京都市からの委託事業である介護保険の新規認定調査事業については、令和3年度も多くの認定調査を実施しており、介護保険制度が円滑に運用されるよう努めている。

介護保険制度に係る法令遵守に関しては、京都市による実地指導に事務局が立会いを行うとともに、施設基準・介護報酬等に関する会員からの相談・質問に対応した。

<会員施設における介護療養型医療施設指定状況（令和4年3月31日現在、当協会把握数値）>

1 介護療養病床	4 施設	110床
2 老人性認知症疾患療養病棟	2 施設	113床
計 6 施設		223床

<会員施設における介護医療院指定状況（令和4年3月31日現在、当協会把握数値）>

・17施設 2,322床

<実地指導立会い（令和3年4月1日～令和4年3月31日）>

・介護医療院 1 施設

B 介護保険委員会

当委員会は、介護と医療の密接な関係を重視する観点から、介護保険制度が医療に及ぼす影響を的確に把握・予測するとともに、介護保険制度下における問題点を解決し、介護サービス事業を行う会員が円滑に事業運営できるよう活動を行っている。

委員会では行政当局（京都府・京都市）の担当者も交え、現行の介護保険制度や療養病床再編（介護医療院を含む）等の諸問題について情報交換を行い、それぞれの立場から意見・要望を取り交わしていく中で、制度の適切な運用と安定的な運営が図られるよう努めた。

また、令和3年度は、令和3年度介護報酬改定のポイントや身体拘束の適正化、介護医療院及び介護療養型医療施設の適正な運営やサービスの質の向上に資する内容で研修会を実施した。

1 委員会

a 委員長：久野成人（担当役員）

副委員長：近藤泰正（担当役員 ～令和3.5）、清水 聡（担当役員 ～令和3.7）

赤木 博（担当役員 令和3.6～）、菊地三弥（担当役員 令和3.8～）

委員：茨木孝二（担当役員）、中川正之（事務長会）、

長谷川寿子（看護部長会 ～令和3.5）、門 真由美（看護部長会 ～令和3.5）、

村中和美（看護部長会 令和3.6～）、田中悦子（看護部長会 令和3.6～）、
川添チエミ（一般財団法人仁風会）、木下大作（長岡病院 ～令和3.5）、
松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター ～令和3.5）、湯浅由美（西陣病院）、
長谷川智恵子（京都久野病院 ～令和3.5）、岡 昌子（京都久野病院 令和3.6～）

オブザーバー：南部慎一（京都府高齢者支援課 ～令和3.5）、
遠藤洋一（京都市介護ケア推進課 ～令和3.5）、
安部広明（京都府高齢者支援課 令和3.6～）、
菅野周二（京都市介護ケア推進課 令和3.6～）、清水 紘（監事）

b 開催日：(Web 併用) 7/29 9/30 11/25 1/27 3/24 計5回

2 主な活動

- a 療養病床再編（介護医療院を含む）の調査研究と対応の検討
- b 地域包括ケアについての意見提言と対応
- c 介護サービス第三者評価事業への意見・提言
- d 研修会

第1回 5月24日 於：私病協会議室（Web 併用）

会場参加／3名 オンライン参加申込／101名 計／104名

テーマ／「令和3年度介護報酬改定を読み解く～医療系サービスを中心に～」

講師／中林 梓（株式会社 ASK 梓診療報酬研究所代表取締役）

第2回 2月25日（WEB） オンライン参加申込／39名

テーマ／「身体拘束ゼロを可能にする大誠会スタイルー身体拘束をしない看護ケアからー」

講師／内海知加子（社会福祉法人久仁会特別養護老人ホームくやはら認知症看護認定看護師）

小池京子（医療法人大誠会内田病院認知症看護認定看護師）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

ーオール京都体制による地域包括ケアシステムの構築ー」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

第3回 3月25日 於：私病協会議室（Web 併用）

会場参加／3名 オンライン参加申込／67名 計／70名

テーマ／「介護医療院(及び介護療養型医療施設)の人員・設備・運営基準・介護報酬について
～実地指導結果を踏まえて～」

講師／吉井豊宏（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス担当課長）

植村奈津子（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

谷口真理（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

テーマ「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

ーオール京都体制による地域包括ケアシステムの構築ー」

講師／真下信男

- e 2月～3月 令和3年度介護報酬改定に係る影響度調査の実施
(京都府慢性期医療協会との共同実施)

C 介護サービス第三者評価事業

介護サービス第三者評価は、介護サービス事業者のサービスの質の向上を促進するとともに、サービスを受ける利用者の選択の利便を図ることを目的としている。

京都府では関係団体、行政等で組織する「京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構」に当協会役員も参画して介護・福祉分野の第三者評価を推進しており、任意受診の府県においては全国トップの受診件数となっている。

当協会は介護分野の評価機関として、会員施設及び関連事業所の職員や元職員等に評価調査者、評価審査委員として協力を得て、医療系の専門職を数多く擁する特徴を活かして第三者評価を実施しており、評価を通じて受診事業所の質の向上とモチベーションの向上に努めている。

令和3年度は5施設・事業所の訪問調査を実施した。評価調査者の養成も行い、評価調査者・審査委員合わせて34名の体制となった。

1 評価調査体制

評価調査者（兼評価審査委員）	32名
評価審査委員	2名

2 訪問調査実績・評価審査委員会

訪問調査：

10月20日	木津屋橋武田病院介護医療院（介護医療院）
10月29日	介護老人保健施設梨の里（介護老人保健施設）
10月29日	老人保健施設白寿（介護老人保健施設）
11月18日	老人保健施設桃寿苑（介護老人保健施設）
11月19日	宇治おうばく病院介護医療院（介護医療院）

計5事業所

評価審査委員会（Web併用）12/21 12/24（Webのみ）12/23 1/19 1/21

3 研修会

- a 令和3年度介護サービス評価調査者養成研修
(動画配信) 10/25～11/5（会場のみ）11/10、3/10
受講者／1名（新規）

4 会議等

- a 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構総会（会場のみ）6/14
- b 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事会（Web併用）4/8 5/24 3/28
（会場のみ）6/14
- c 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構認定・公表委員会（Webのみ）6/11
（Web併用）3/16

D 京都市新規介護認定調査事業

当協会では京都府より介護保険法第24条の2第1項に規定する指定市町村事務受託法人の指定を受けて、京都市からの依頼により、会員施設の介護支援専門員等の協力を得て京都市内での認定調査を実施している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、38名（令和4年3月末時点）の調査体制で年間5,000件以上の調査を実施するとともに、独自にeラーニング講座を開設し、調査員がインターネット上で講義動画の視聴及び確認テストに取り組むことで調査の質の維持・向上も図り、認定調査を通じて介護サービスの利用を希望する方々への援助に努めた。

1 調査実施体制（令和4年3月31日現在）

認定調査員 38名（登録職員）

2 認定調査実績

令和3年 4月=435件 5月=377件 6月=411件 7月=417件 8月=423件
9月=439件 10月=451件 11月=474件 12月=414件
令和4年 1月=390件 2月=369件 3月=478件 計5,078件

3 その他の取り組み

11月1日～3月31日 要支援・要介護認定調査eラーニング講座（オンライン）
オンライン参加申込／38名

研修内容／認定調査の基本的な考え方 その1 【要介護認定と認定調査の考え方】

認定調査の基本的な考え方 その2 【基本調査と特記事項】

能力で評価する調査項目

介助の方法で評価する調査項目

有無で評価する調査項目

重点講座 特に確認いただきたいポイントのまとめ

【地域医療部】

I 地域医療構想への取り組み

A 地域医療構想をめぐる状況

京都府における地域医療構想は、平成29年3月に地域包括ケアシステムの一環として地域医療構想を位置付けた「京都府地域包括ケア構想」が策定され、平成30年4月からの京都府保健医療計画に盛り込まれた。構想策定には、京都府医療審議会地域医療構想策定部会に当協会長が参画した。

京都府内の各構想区域の地域医療構想調整会議では、平成30年度より京都府地域包括ケア構想の達成に向けた協議が始まり、各調整会議には地域の病院が主体的に参加している。特に病院数の多い京都市域地域医療構想調整会議には当協会から当協会長・副会長の3名が参画するとともに、京都市域を4ブロックに分けて病院が参加する意見交換会が開催されている。

病床機能報告の各病棟の医療機能の選択の参考になる基準（定量的基準）の検討では、平成30年10月に設置された京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキングに参画し、当協会から提案した診療報酬基準に基づく重症度及び大規模病院の病棟構成の特徴を配慮した定量的分析が京都方式として採用された。

公立病院・公的医療機関等は、それぞれ「新公立病院改革プラン」「公的医療機関等2025プラン」を策定し、民間医療機関との役割分担を踏まえ、公立病院・公的医療機関等でなければ担えない分野へ重点化することが求められたが、厚生労働省は見直しが十分に進んでいないとされ、令和元年9月に、令和7年に担う役割や機能別病床数の再検証を要請する公立・公的医療機関を公表し、令和3年10月末の状況では約半数が再検証中となっている。

令和3年度は、国は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により病床の機能分化・連携等の重要性が改めて認識されたとして、地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを求めている。京都府内の各構成区域の地域医療構想調整会議は、令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大の影響で目立った動きはないものの、京都府、京都市、医療関係団体と連携を密にしながら京都府における医療提供体制が後退することのないよう動向を注視している。

B 地域医療構想検討委員会

地域医療構想は、地域の将来の医療需要の推計に基づき、病床の医療機能分化を進めるものであり、病院はもとより地域医療に大きな影響を及ぼす重要課題として、当協会は平成27年6月に正副会長で構成する地域医療構想検討委員会を設置した。委員会では国の動き、京都府医療審議会・各圏域の地域医療構想調整会議における検討状況を集約・把握して対応を協議し、折に触れて京都府・京都市と意見交換、意見具申をしている。

また、厚生労働省主催の医療政策研修会には当協会が参加し、地域医療構想に関連する各種施策の進捗状況や今後の方向性等の情報収集を行っている。

会員施設には、全職員が地域で求められる病床機能を担うために、職能別及び課題別の会議・研修会で地域医療構想、地域包括ケアシステムに関する説明を行い、その実現に向けての意識定着に取り組んだ。

1 委員会

委員長：清水鴻一郎

委員：久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、
真鍋由美（令和3.6～）

開催日 政策委員会開催時に検討

2 主な活動

a 京都市域地域医療構想調整会議への役員派遣（清水鴻一郎、久野成人、武田隆久）

b 都道府県医療政策研修会（厚生労働省主催）への参加

令和3年度第1回医療政策研修会・地域医療構想アドバイザー会議 8/13（Web開催）

令和3年度第2回医療政策研修会・地域医療構想アドバイザー会議 1/21（Web開催）

（正副会長がオンラインで視聴）

c 京都府及び京都市との意見交換・連携

d 職能別及び課題別会議・研修会等での情報提供

Ⅱ 救急・休日・時間外診療体制の推進

A 京都府下における二次病院群輪番制

1 京都市域二次病院群輪番体制

京都市域（乙訓2市1町含む）における二次救急医療体制の充実を図る制度として発足後39年が経過し、参加病院をはじめ関係医療機関に定着している。令和3年度についても京都市域の参加病院が共同連携し、輪番制方式により休日・夜間等における救急患者の医療の確保・充実に努めてきた。

令和3年度は56病院の参加を得、うち小児協力病院については10病院による体制で運営が行われた。

担当役員／清水史記

1) 協力病院一覧（○印は小児も担当 *印は会員外病院）

Aブロック＝北区・上京区・左京区

愛寿会同仁 賀茂 京都大原記念 京都からすま 京都下鴨 京都博愛会

京都民医連あすかい 富田 西陣 ○日本バプテスト 室町 洛陽

Bブロック＝右京区・西京区・向日市・長岡京市・大山崎町

泉谷 太秦 内田 河端 ○京都桂 ○京都民医連中央 ○*済生会 シミズ 新河端

千春会 長岡京 西京都 ○三菱京都 向日回生 洛西シミズ 洛西ニュータウン

Cブロック＝中京区・下京区・南区

明石 がくさい 吉祥院 ○*京都市立 京都回生 京都九条 京都武田 京都南
十条武田リハビリテーション 新京都南 相馬 ○武田 原田 堀川 吉川 洛和会丸太町

Dブロック＝東山区・山科区・伏見区

愛生会山科 ○医仁会武田総合 大島 金井 ○*京都医療センター 京都久野 共和
蘇生会総合 なぎ辻 伏見桃山総合 むかいじま ○洛和会音羽

2) 当システムを利用した入院・外来別患者搬入状況

	令和3年度	令和2年度
入院	1,147名	1,242名
外来	2,907名	3,188名
計	4,054名	4,430名

搬入されてきた患者が輪番制度の利用によるものか判別できない場合があり、明らかな患者のみを集計したため、実際の搬入患者数はこれを上回るとされる。

3) 補助金（会員病院への交付総額）

令和3年4月～令和4年3月…61,272,000円

令和2年4月～令和3年3月…63,856,000円

1当番日あたりの運営補助金は、基本32,000円（日・祝日の夜間は64,000円）、年末年始（12/29～1/3）については、昼間は52,000円、夜間は104,000円であった。（令和2年度と同額）

4) 輪番編成会議 小児：（書面） 7/20 1/24

一般：（書面） 8/5・2/4

小児・一般輪番編成（書面）は事前に各病院の当番可能日を調査し、事務局が取り纏めた編成表案を書面で確認し編成を行った。いずれの編成会議においても、輪番当番病院心得・業務の確認及び、補助金申請に関する周知を行った。

2 山城北二次病院群輪番体制

平成7年4月より山城北医療圏（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町）を対象とした二次病院群輪番制が発足し、27年が経過した。各自治体、財政難による影響もあり、関係市町村での補助金の確保が難しい状況になりつつあるが、令和3年度についても関係医療機関の協力により円滑な運営が行われた。

担当役員／石丸庸介

1) 診療日／日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

2) 診療時間／昼間 午前8時～午後6時 夜間 午後6時～翌朝午前8時

3) 協力病院一覧（*印は会員外病院）

宇治徳洲会 京都岡本記念 都倉 宇治武田 京都きづ川 *国立病院機構南京都
久御山南 男山 八幡中央 京都田辺中央

4) 当システムを利用した入院・外来別患者搬入状況

	令和3年度	令和2年度
入院	123名	119名
外来	703名	289名
計	826名	408名

京都市域二次病院群輪番制と同様に、実際の搬入患者数はこれを上回ると思われる。

5) 補助金（会員病院への交付総額）

平成3年4月～令和4年3月…10,638,720円

平成2年4月～令和3年3月…9,564,160円

1 当番日あたりの運営費補助金は71,040円で、年末年始（12/29～1/3）については、111,040円であった。（令和2年度と同額）

6) 輪番編成会議（書面）8/5・2/4

京都市域と同様の内容で開催した。

B 京都府周産期医療情報システム

総合周産期母子医療センターは当該システムを運営する基幹病院として京都第一赤十字病院が指定を受けており、京都府全域からの周産期医療情報を常時一元的に把握して、母体・新生児の生命を守るネットワーク事業の核となっている。現在は国の整備指針による必要病床数や医療従事者数を満たし、適切な医療提供体制が確保されているが、NICU 病床については、病院間の連携による、最適化を図る必要が出てきている。府下の医療圏を北部と南部のブロックに分け、高度医療を提供するサブセンター（2病院）、救急搬送を受け入れる二次病院（16病院）がそれぞれ指定されており、京都府における救命率の向上に貢献している。また、平成30年度には、周産期医療体制を強化するため、京都府、京都第一赤十字病院、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の4者間において「京都府周産期医療体制強化に関する協定」が締結されている。

当協会では、体制整備に必要な調査および情報システムなど周産期医療体制の確立に必要な事項について協議する京都府周産期医療協議会及び京都府周産期医療協議会部会に委員を派遣し、協会の意向を申し伝えている。

同協議会では、診療体制の整備された分娩環境や未熟児に対する需要の増加に応えるため、地域において妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供する、総合的な周産期医療体制が整備されることを目的に開催されている。また、同部会では、協議会にて検討された後方搬送受入協力病院制度について、各周産期母子医療センターの関係者が一堂に会する機会を設け、同システムの円滑な運用を図った。

令和3年度京都府周産期医療協議会 11月30日 於：京都ガーデンパレス（石丸庸介）

京都府周産期医療体制強化ワーキングチーム検討会議 3月17日 於：京都ガーデンパレス
(石丸庸介)

C 京都府精神科救急医療システム

京都府では、北部地域と南部地域において、平日の夜間、土日、祝日に精神科医療を必要とする患者を対象に、精神科救急医療システムが稼働している。精神科救急医療に関する電話相談や病院紹介、関係機関との連絡調整にあたる窓口として、精神科救急情報センターが24時間体制で運営され、必要な患者について基幹病院が対応し、京都精神病院協会加盟病院が支援病院として協力している。システムの対象外となるケースは、アルコール・薬物依存・シンナー・覚醒剤等の中毒性疾患による酩酊や依存状態のほか、疾患ではなく状況が緊急性を帯びる場合（認知症・精神遅滞・人格障害の一部）、身体的治療が優先される状態等の場合である。

北部のシステムは綾部市、京丹波市以北の地域が対象で平成21年度以降は、北部と南部の2箇所で開催されていた救急情報センターを京都市こころの健康増進センターに一元化し、北部地域の基幹病院は従来通り舞鶴医療センターが担当している。

南部は京都府と京都市の協調事業で、対象は北部以外の地域となっている。情報センターは京都市こころの健康増進センターに置かれ、基幹病院は府立洛南病院が担当する。

令和3年度についても平成30年度から5年間を計画年度とする保健医療計画に沿って、身体疾患と精神疾患を併せ持つ患者の医療提供体制を整備するべく、精神科救急医療連携強化事業が山城北医療圏で試験的に実施されている。本事業では身体合併症患者に係る事例検討会も開催され、関係機関から代表が出席し、事業の円滑な運営を図ることを目的に検討・意見交換が行われている。

京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議 (Webのみ) 2月24日 (武田隆久)

京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議 (Webのみ) 3月22日 (武田隆久)

D 京都府救急医療情報システム

京都府では、病院や診療所・歯科診療所、助産所及び薬局等に関する各種情報を収集し、府民に健康で充実した生活を送ることができるよう、総合的な健康医療情報を提供するホームページとして、京都健康医療よろずネットを開設している。同時に救急医療情報システムも一体的に運用しており、休日等に受診することができる身近な医療機関情報等も検索・閲覧可能としている。

本システムは、厚生労働省による広域災害システム（広域災害発生の際に、医療機関の被災状況、被害者要請や医療スタッフの要請・提供などの情報を収集・提供し、被災地域の医療活動を支援する）に対応している。平成20年度に実施された新システムの導入後、インターネットにより救急情報以外の医療機関情報等を検索する機会が増加したため、府民からのアクセス件数が増加し、令和3年度は概ね150,000件前後で推移している。

京都健康医療よろずネット：<http://www.mfis.pref.kyoto.lg.jp/ap/qq/men/pwtpmenuult01.aspx>

Ⅲ 救急医療への取り組み

A 救急医療をめぐる状況

少子高齢社会が進む中、とりわけ高齢者に対する救急の割合が圧倒的な増加傾向にあり、今後は

有病率の高い癌の治療及びそのターミナルの問題と、脳卒中、骨折、肺炎など、高齢者の急病変化に対する高齢者救急への対応が喫緊の課題となっている。

こうした中でも京都府下の救急医療体制は各医療圏の会員病院の協力により他府県と比べても安定した体制を維持している。しかし、安定的な救急医療体制の確保には行政からの支援策（補助金）が必須であるが厳しい財政状況を理由に、今後見直される可能性もありうる。京都府下では、京都市域、山城北圏域において病院群輪番制が稼働しており、現在まで大きなトラブルもなく、その役割を果たしている。京都市では、市財政が大変厳しいことを理由とし、平成21年度以降は輪番協力病院への補助金の減額措置が執られている。救急医療体制の整備には、医師・看護師等の医療スタッフを配置することが絶対条件であり、その配置に要する人件費等の大半は医療機関からの持ち出しとなっている。こうした大変厳しい状況下でも地域住民の生命と安全を守るという使命感で地域の救急医療の中心を担っているのは民間病院であり、この献身的な取り組みが行政や地域住民から評価されるよう、継続した周知活動を行う必要がある。

最近ではテレビや新聞等による救急医療をテーマとした関連記事が頻回に渡って報道されるようになり、救急医療現場の厳しい状況が一般市民にも情報として入ってくる機会が増えたことから、救急医療への関心は浸透しつつある。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、近年、増加傾向であり問題となっていた外国人患者の診療については、外国人旅行者が激減する等、救急医療を取り巻く環境は大きく変化した。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大時に、救急隊が出動する事故現場において搬送先の医療機関の選定に時間を要する事案（病院交渉4回以上かつ救急隊の現場滞在30分以上）が急激に増加したことから、一定の条件に達した搬送困難症例は京都府救急医療情報システムの機能を用いて、複数の医療機関に一斉に搬送要請を行い、応需できる医療機関をいち早く決定するよう連絡体制の強化を行った。その他当協会では医療関係団体と協議しながら救急医療に関する様々な課題の解決を目指し、検討を継続している。

B 救急医療検討委員会

委員構成は救急担当理事と会員病院の代表（医師）、事務長会、看護部長会の代表で、病院の救急医療全般に係る諸問題について検討している。

令和3年度は「新型コロナウイルス感染症対応の経験から～緊急対応能力は日常医療体制の成績表だ～」をテーマに研修会を動画配信で行った。

1 委員会

委員長：武田隆久（担当役員）

委員：富士原正人、清水 聡、清水史記（以上、担当役員）、

安田冬彦（洛和会音羽病院 ～令和3.5）、隅田靖之（洛和会音羽病院 令和3.6～）、

西海和成（事務長会 ～令和3.5）、末廣健児（事務長会）、

篠田浩之（事務長会 令和3.6～）、南 京子（看護部長会）、岩田裕花（看護部長会）

開催日 （書面）12/22（Web併用）8/31（Webのみ）3/22 計3回

2 主な活動

a 研修会

2/15（動画撮影） 2/25～3/24（動画配信） 参加申込者／87名

テーマ／「新型コロナウイルス感染症対応の経験から～緊急対応能力は日常医療体制の成績表だ～」

講師／山畑佳篤（京都府立医科大学救急医療部／救急・災害医療システム学講師）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

b 京都救急医療研究会の開催（共催：京都府医師会、京都府病院協会）

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

C 交通事故医療

自賠責保険をめぐる、京都府医師会（京都私立病院協会、京都府病院協会含む）と日本損害保険協会近畿支部、損害保険料率算出機構京都調査事務所の三者による京都府交通事故医療連絡協議会を開催し、自賠責ガイドラインの採用医療機関の増加に向けて協議が進められている。協議会及び自賠責の研修会は2年に1度開催されており、令和3年度は開催年度となるが新型コロナウイルスの影響で中止となった。

また、診療費請求をめぐる当事者間の紛争の仲裁・解決に当たる「苦情処理委員会」が設置されており、案件が出た場合に開催をしている（当協会から委員2名を派遣）。

1 京都府交通事故医療連絡協議会

当協会からの派遣委員：武田隆久、菅知行（～令和3.5）（以上、担当役員）

協議会・自賠責研修会 *新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

苦情処理委員会：武田隆久、菅知行（～令和3.5）（以上、担当役員）

D 災害医療

災害時の医療体制整備に備えて、平成25年度より京都府医師会が創設した「JMAT 京都」では、会員病院医師の登録募集及び病院の窓口登録、研修会の案内や取りまとめを行う等、当協会が窓口となり全面的に協力を行っている。また、原発事故により、医療・介護を必要とする高齢者や障害者など、避難に支援が必要な方々（災害時要配慮者）への京都府の対応として、会員病院や介護・福祉施設で約5,000人の受入体制の構築に協力している。その他各病院は新型コロナウイルス感染症の感染防止に加え、災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、医療機能の継続や復旧を図るための「事業継続計画（BCP）」の策定を進めている。

1 JMAT 京都への病院窓口及び医師登録等

病院登録／34病院 医師登録／276名

Ⅳ 医療安全対策への取り組み

A 医療安全対策をめぐる状況

平成26年6月の医療法改正に伴い、医療事故が発生した医療機関が院内調査を行い、その調査報告を第三者機関（医療事故調査・支援センター）が収集・分析することで再発防止につなげる仕組み（医療事故調査制度）が医療法に位置付けられ、平成27年10月から施行された。

本制度の目的はあくまで「当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡及び死産を予期しなかった」医療事故事例を収集し医療界全体の安全を向上させることにあり、従来の医療事故の定義も異なれば、責任追及を目的としていない。かつて医師法21条の誤った解釈と運用により、警察への届出、医療過誤による業務上過失致死罪の立件件数が激増し、外科・産科をはじめ多くの医師が去った医療崩壊が再び起こることがあってはならない。

これを踏まえ、当協会では会員施設において本制度の正しい理解と対応が図られるよう、従来から実施している医療安全対策に資する研修を継続して企画・開催しているほか、本制度に関する情報収集を積極的に行い、会員施設から本制度の内容、医療事故の報告対象に係る相談を受け付ける「医療事故調査制度相談窓口」を平成27年に開設し、当協会担当役員と事務局担当者によるサポートを行っている。

今後も医療事故調査制度の動向を注視しながら、当協会として必要な対応を行い、医療安全の向上に努めることにしている。

B 医療安全対策委員会

医療機関における医療事故の発生が各方面で取り上げられ、患者からの医療の質・安全に対する社会的な要求が高まっている中、当委員会では会員施設における先進的な医療安全対策システムの構築に向けた支援を行ってきた。

また、医療法施行規則が平成14年10月に一部改正されたことに伴い、全ての病院及び有床診療所について、4項目の医療安全管理体制の確保が義務付けられたが、その中の1つに医療に係る安全管理のための職員研修の実施が挙げられており、当委員会では会員施設の職員を対象とした研修会を毎年企画開催している。令和3年度の研修会では、「医療安全の基礎」及び「医療機関向けBCP対策の基礎」をテーマに動画配信にて研修会を行った。

1 委員会

委員長：小森直之（担当役員）

副委員長：武田隆久（担当役員）

委員：坂本裕里（事務長会）、黒田正博（事務長会 ～令和3.5）、
山口寛士（事務長会 令和3.6～）、坂田 薫（看護部長会）、
益野秀樹（薬剤師部会 ～令和3.5）、大津山裕美子（薬剤師部会 令和3.6～）、
渡里 弘（放射線技師部会 ～令和3.5）、小池義雄（放射線技師部会 令和3.6～）、

増田哲也（臨床検査部会）、尾谷雅章（リハビリテーション部会）、
赤尾 志（栄養士部会）、藤井 耕（臨床工学技士部会）

開催日 （書面）11/18 （Web 併用）7/19 （Web のみ）3/7 計3回

2 主な活動

a 研修会

新人職員向け

9/13（動画撮影） 9/24～10/25（動画配信） 参加申込者／358名

テーマ／「医療安全の基礎」

講 師／長谷川剛（上尾中央総合病院情報管理特任副院長）

説 明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

中堅職員向け

12/27（動画撮影） 1/14～2/14（動画配信） 参加申込者／123名

テーマ／「医療機関向け BCP 対策の基礎」

講 師／大山幸一（一般社団法人医療・福祉連携支援センター副代表理事・咲デザイン代表）

説 明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

3 その他の取り組み

- ・医療安全対策の促進に向けた情報収集
- ・医療事故調査制度に係る情報収集、相談窓口の運営

V 感染症対策への取り組み

A 感染症をめぐる状況

令和3年度も、新型コロナウイルスは変異しながら脅威となり続け、第4波（アルファ株）、第5波（デルタ株）、第6波（オミクロン株）の感染拡大に繋がった。京都府内の医療提供体制は、年度当初は453床の確保病床、86床の重症病床（38床の高度重症病床）に対し、令和4年3月末では940床の確保病床（入院待機ステーション110床含む）、171床の重症病床（51床の高度重症病床）となっている。コロナ回復後も継続して加療等が必要な方対象の療養支援病床、自宅・宿泊療養中の陽性者の病状等が悪化した場合に診療・検査を行う陽性者外来も増加しており、会員施設においても医療提供体制の拡充に努めてきた。原則として入院治療の必要がない陽性者や無症状者対象の宿泊療養施設は、令和4年3月末で3施設1,126室となっており、このうち1施設は当協会が京都府の委託を受け、令和3年9月から会員施設の協力の下、24時間体制による看護師の派遣をおこなった。さらに、新型コロナワクチンの集団接種を京都市から受託し、会員施設並びに京都大学等からの協力を得て、集団接種に従事する医師・薬剤師・看護師を派遣した。

令和2年1月に国内一例目の患者が確認されて以降、京都府においても医療提供体制が拡充され、新型コロナワクチン接種、薬物療養の効果も実感されるようになったが、感染拡大時における医療のひっ迫とそれに伴う自宅療養者の増加は避けられず、更なる体制の充実が求められている。

当協会では、京都府に設置された新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、新型コロナウイルス感染症にかかる意見交換会等に参画し、京都府内における新型コロナウイルスの感染拡大防止、医療提供体制の確保に向け、府内の民間病院を代表する立場として、また、医学的な見地から意見・要望を行った。この他にも、京都府、京都市、京都府医師会、京都府病院協会をはじめとする行政・医療関係団体との意見交換や情報共有も行き、関係者間と連携しながら対応にあたった。

a 京都府・京都市が設置する新型コロナ関連の審議会等への参画

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 4/2 4/16 4/21 4/23 5/6
5/18 5/26 6/8 7/8 7/30 8/17 9/28 1/12 1/25

於：京都府職員福利厚生センター

- ・京都市新型コロナワクチン接種推進協議会 4/5 12/9 於：京都市役所分庁舎
- ・新型コロナウイルス感染症にかかる意見交換会 4/7 5/14 6/30 7/27 10/15 11/21
12/10 於：京都府職員福利厚生センター
- ・コロナ患者受入病院長会議、看護部長会議 8/11 於：オンライン開催
- ・新型コロナ対策医療関係者会議 8/12 於：京都府庁

b 京都府知事と京都私立病院協会役員との懇談

- ・新型コロナウイルス感染症全般についての意見交換 10/12 於：私病協会議室（Web 併用）

c 新型コロナウイルス感染症に係る要望活動

- ・自由民主党 京都府議会議員団への要望（新型コロナウイルス感染症への対応に係る要望）
5/20 於：私病協会議室（資料1）
- ・令和4年度京都府予算に関する要望で、新型コロナウイルス感染症に係る予算も含め、京都府知事に要望 10/15 於：京都府庁
- ・令和4年度京都市予算に関する要望で、新型コロナウイルス感染症に係る予算も含め、京都市長に要望 10/21 於：京都市役所

d 京都市新型コロナワクチン集団接種事業

京都市からの委託を受け、会員施設等からの協力を得て京都市の新型コロナワクチン集団接種会場に医師、薬剤師、看護師を派遣した。

期間：6/9～7/20 集団接種会場：イオンモール KYOTO・西陣織会館

期間：8/10～10/29 集団接種会場：イオンモール KYOTO

期間：9/18～2/27 集団接種会場：京都市役所

期間：3/5～3/20 集団接種会場：東山地域体育館・伏見区役所深草支所

期間：3/20・26 集団接種会場：京都市役所（小児）

e 京都府新型コロナ宿泊療養施設事業

京都府からの委託を受け、会員施設等からの協力を得て京都府の新型コロナウイルス感染症軽症者等の宿泊療養施設に看護師を派遣した。

- ・新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養看護に係るオリエンテーション 8/30
於：アパホテル京都駅東

- ・京都府宿泊療養施設への看護師の調整及び派遣

期間：9/1～3/31

日勤・夜勤24時間体制で感染拡大状況に対応した看護師（看護師長、リーダーを含む）を派遣

- f 京都府知事からの依頼を受け、当協会から会員施設に協力依頼、周知

- ・新型コロナウイルス感染症対応の病床確保の協力
- ・診療・検査医療機関への協力に関する周知
- ・新型コロナウイルス感染症患者の入院受入に関する緊急調査の実施
- ・新型コロナウイルス感染症患者の回復後の転院受入（療養支援病床）への協力
- ・新型コロナウイルス感染症患者に対する体制強化についての協力
- ・新型コロナウイルスワクチン接種の集合契約についての確認
- ・医療従事者等への優先接種のための新型コロナワクチンの供給について周知

- g 京都市長からの依頼を受け、当協会から会員施設に協力を依頼

- ・土日等休診日における新型コロナウイルスワクチン接種への協力

- h 京都府並びに京都市からの依頼を受け、当協会から会員施設に協力を依頼

- ・ゴールデンウィーク、お盆、年末年始の発熱患者等の外来診療体制についての照会
- ・きょうと新型コロナ相談センターからの紹介患者の受入に関する協力
- ・新型コロナウイルス感染症陽性者へのパルスオキシメータの配布にかかる協力

- i マスク・消毒液等支援物資の配布

京都府並びに京都市より提供を受けたマスク・消毒液等の支援物資を会員施設に送付

B 感染症対策委員会

感染症に係る諸問題への対応と院内感染対策を講じるため、当協会役員、看護部長会・臨床検査部会からの派遣委員、会員内の専門医師・認定看護師による構成で感染症対策委員会を構成している。

本委員会では、病院の感染症対策に加えて褥瘡対策に資する取組も担っている。令和3年度は、新型コロナ感染症対策と褥瘡治療に関する研修会を全3回開催するとともに、当委員会が作成した「感染症対策マニュアル（2015年3月版）」並びに「抗菌薬適正使用マニュアル（2019年9月版）」の改訂に着手した。また、新たな取組として、民間病院における感染防止対策の更なる向上を図るべく、感染防止対策加算Ⅰ・Ⅱ、コロナ療養支援病院グループに属さない病院を対象に意見交換を行い、様々な病院での対応や取り組み、知見を紹介した。感染対策・褥瘡対策に関する会員施設からの相談に対しては、当委員会が書面による相談を受け付け、会員施設からの相談に対応した。さらには、毎月発行の当協会会報誌「京都私立病院報」で会員施設に関連性が高い情報を提供した。

新型コロナウイルス感染症が地域医療構想に及ぼす影響についても意見交換を行った。

1 委員会

委員長：清水 聡（担当役員）

副委員長：清水史記（担当役員）、菊地三弥（令和3.6～ 担当役員）

委員：山田 豊（京都民医連中央病院）、浅野育子（京都民医連あすかい病院）（以上、薬剤師部会派遣）、永野裕子（吉川病院）、谷口文代（京都桂病院）（以上、看護部長会派遣）、深澤武志（相馬病院）（以上、臨床検査部会派遣）、細野恵理（三菱京都病院）

開催日（Web 併用） 5/13 7/1 9/2 10/7 12/9 3/3 計6回

2 主な活動

a 研修会

10月7日 於：私病協会議室（Web 併用）

会場参加／8名 オンライン参加申込／77名 計85名

テーマ／「新型コロナウイルスの院内感染を防ぐには標準予防策が大事！

～新型コロナウイルス対策を振り返って～」

講師／近藤大志（京都第二赤十字病院看護部看護係長・感染管理認定看護師）

解説／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

12月9日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／8名 オンライン参加申込／56名 計64名

テーマ／「最新の褥瘡局所ケア

～ウインド・ハイジーン（創傷衛生）と臨界的定着疑い創に対する管理とは～」

講師／宮崎啓子（コンバテックジャパン株式会社アドバンスドウンドケア事業部皮膚・排泄ケア認定看護師）

解説／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講師／真下信男

3月3日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／6名 オンライン参加申込／46名 計52名

テーマ／「COVID-19の衝撃と AMR 対策－我々に何ができるか－」

講師／山田 豊（京都民医連中央病院感染症科科長）

テーマ／「新型コロナウイルスに対する治療薬について」

講師／馬瀬久宜（武田病院グループ本部薬剤部長）

解説／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講師／真下信男

b 「感染症対策マニュアル（2015年3月版）」の改訂作業

c 「抗菌薬適正使用マニュアル（2019年9月版）」の改訂作業

- d 感染防止対策支援活動
実施日（Web 併用） 2/24
- e 感染対策・褥瘡対策に係る相談窓口対応
- f 日本環境感染症学会主催院内感染対策講習会への推薦
研修受講者／会員施設より医師2名、看護師1名、臨床検査技師1名
*令和3年度は11月～2月の期間内でオンライン開催
- g 毎月の感染症発生動向・感染症行政に関する情報提供（京都私立病院報）

Ⅵ 京都市地域包括ケアシステムの推進

少子高齢化、人口減少社会の中で、京都府では高齢者が介護や療養が必要になっても住み慣れた地域で、24時間・365日安心して暮らせる「京都市地域包括ケアシステム」を実現するべく、その推進組織である「京都地域包括ケア推進機構」において行政や医療・介護・福祉関係等の機関・団体が連携・協働し、様々なプロジェクトが実施されている。

機構には当協会からも理事として参画し、プロジェクトの一環として平成24年1月から開始された「在宅療養あんしん病院登録システム」の運用推進に関わるとともに、平成23年度から実施している「府民リハビリテーション啓発支援事業」では、在宅医療・生活を支える病院の立場として、感染防止対策の徹底やオンラインでの啓発に努めながら可能な限りの啓発を行っている。

また、認知症総合対策として京都府が平成25年度に策定した「京都市オレンジプラン」から始まり平成30年3月に「新・京都市オレンジプラン」へ改定された後も、その施策の一つである医療関係者の資質の向上を図るべく、京都府内病院に勤務する医療関係者の認知症対応力向上のための研修事業（集合研修及び訪問研修等）を京都府から受託実施している。平成28年度からは京都市からも委託を受けて京都市内病院への訪問研修を行っている。

平成26年度からは消費増税分を財源とした「京都府地域医療・介護総合確保基金」が創設され、当協会では基金事業として医療従事者の勤務環境改善促進、医療従事者の確保・定着・資質向上、病院における在宅医療、介護の人材育成・連携に資する事業を平成27年度から実施している。平成30年度からは、全職員が地域で求められる病床機能を担うために、職能別及び課題別の会議・研修会で地域医療構想、地域包括ケアシステムに関する説明を行い、その実現に向けての意識定着にも取り組んでいる。

令和3年度も一部の事業で新型コロナウイルスの影響を受けたが、Zoom等のITも活用しながら地域包括ケアシステムの推進に必要な各種事業を実施した。

A 在宅療養あんしん病院登録システム

「在宅療養あんしん病院登録システム」は、在宅で療養生活を送る65歳以上の高齢者が、かかりつけ医の支援により病院を事前に登録することで、体調不良時に病院への早期アクセス・早期治療ができ、早期退院の実現に繋げ、在宅療養を維持することを目的とするシステムである。

当該システムが機能するためには、会員病院による在宅療養あんしん病院（以下、「あんしん病院」とする）への参画が必要不可欠であるが、134病院（令和4年3月31日時点）があんしん病院として指定されており、その大半を占める会員施設の協力のもとで、在宅高齢者の安心に寄与するべく尽力している。令和4年3月末時点での累計登録件数は16,266件である。

令和3年度も引き続き、システム登録者の入院等の利用状況、退院時の患者へのシステムの紹介や院内でのシステムの周知の状況等を把握し、システムの普及や改善に結びつけるためのアンケート調査を実施した。その結果、新型コロナウイルス感染症が医療現場や病床に影響を及ぼす中においても、例年と同程度の人数の登録者の入院を受け入れていることが明らかとなった。

今後も更なる高齢者の増加に伴い、高齢者の安心・安全、地域包括ケアにおいて必要なシステムであるという認識で、当協会として更なる制度の普及・推進に努めている。

1 京都地域包括ケア推進機構への参画

京都地域包括ケア推進機構理事：清水鴻一郎

在宅療養あんしん病院登録システム運営委員会：久野成人、富士原正人

2 在宅療養あんしん病院登録システムに係る利用状況調査の実施（令和3年10月～12月）

B 府民リハビリテーション啓発支援事業

平成23年度より京都地域包括ケア推進団体等交付金事業として「府民リハビリテーション啓発支援事業」を実施しており、令和3年度も継続して事業を実施した。

本事業は、要介護者・要支援者が増加する中で、リハビリテーションの必要な地域に専門職で構成するキャラバン隊を派遣して当該地域にリハビリテーションの啓発を行い、高齢者の在宅療養生活の継続に資することを目的としている。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による中止や辞退が一部あったが、8市町村10包括11箇所延べ200名へのリハビリテーションの啓発を行った。また、啓発DVDを地域の担当者等に向けて、延べ58名に伝達講習を実施した。さらには令和3年度からの新たな取り組みとして、地域包括支援センターの職員向けにコロナ禍において、高齢者の支援を行うためにどのような取り組みを行うことが効果的であるのかをリハビリ専門職の各職種の視点から、アドバイスやポイントの解説を行った後、包括の現状を踏まえた意見交換を行うオンライン啓発活動を行い、コロナ禍に左右されないリハビリテーション啓発の体制づくりに努めた。

1 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会

委員：富士原正人、武田隆久、児玉直俊（令和3.6～）（以上、担当役員）、田村 篤、織田泰匡、田後裕之、山本佐知子（以上、リハビリテーション部会運営委員会）

開催日 検討委員会（Webのみ）6/14 3/1 計2回

2 事業実施実績

- a 京都府北部および南部の地域包括支援センターに地域のリハビリテーションの提供状況に関するアンケート調査を実施

b 啓発キャラバン隊の訪問状況

10月27日	福知山市	キャラバン隊派遣／9名 於：ミライト中六	参加者／25名
11月12日	福知山市	キャラバン隊派遣／9名 於：水坂公民館 於：夜久野ふれあいプラザ	参加者／6名 参加者／12名
11月24日	綾部市・福知山市	キャラバン隊派遣／8名 於：あやべ日東精工アリーナ 於：北部保健福祉センター	参加者／7名 参加者／12名
11月29日	宮津市	キャラバン隊派遣／9名 於：宮津市民体育館	参加者／40名
12月10日	南丹市	キャラバン隊派遣／9名 於：上胡麻区民センター	参加者／17名
1月17日	和東町・木津川市	キャラバン隊派遣／7名 於：老人福祉センター 於：北河原公民館	参加者／21名 参加者／22名
2月1日	笠置町・南山城村	キャラバン隊派遣／5名 於：つむぎてらす 於：保健福祉センター	参加者／15名 参加者／23名

合計200名に啓発を実施

内 容（基本プログラム）／

- ・作業療法士による頭の体操
- ・理学療法士によるロコモーショントレーニング、肩こり・腰痛・膝痛予防体操
- ・体力測定
- ・言語聴覚士による嚥下体操
- ・アンケート記入

c 啓発支援 DVD の伝達講習

10月27日	福知山市	受講者／2名
11月12日	福知山市	受講者／13名
11月24日	綾部市・福知山市	受講者／9名
11月29日	宮津市	受講者／2名
12月10日	南丹市	受講者／17名
1月17日	和東町・木津川市	受講者／9名
2月1日	笠置町・南山城村	受講者／6名

合計58名に講習を実施

d オンライン啓発活動の実施状況

1月25日	キャラバン隊派遣／7名	参加者／2名
2月9日	キャラバン隊派遣／7名	参加者／3名
2月21日	キャラバン隊派遣／7名	参加者／7名

合計12名に啓発を実施

内 容（基本プログラム）／

- ・作業療法士の視点から
「脳を活性化して認知症を予防しよう」～脳の老化と認知症予防のために～
- ・理学療法士の視点から
「コロナ禍でも運動は大事」～運動を続けるポイントとその効果～
- ・言語聴覚士の視点から
「えん下障害について」～えん下機能の低下の気づきと対策～
- ・啓発DVDのご紹介・使用上の注意
- ・質疑応答・意見交換会

C 病院認知症対応力向上事業

平成25年度より、京都府から受託し（平成28年度からは京都市からも受託）、京都府内の病院に勤務する医療従事者が認知症に関する幅広い知識やスキルを習得するとともに、病院内外における認知症対応力の強化や、医療・介護の連携の重要性を理解すること等を目的とした病院認知症対応力向上研修を実施している。

令和3年度は、厚生労働省の定めるカリキュラムに基づく認知症対応に係る基礎的な内容の研修（集合研修、訪問研修）や、過去に訪問研修を実施した病院のフォローアップ研修（訪問研修フォローアップ）、病院の医療従事者が介護関係者の認知症ケアに対する考え方等を学ぶとともに、認知症対応の医療・介護関係者の共通認識を深め、医療・介護の連携強化を図るための研修（認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修）をオンラインで実施した。

なお、事業の実施にあたっては、認知症サポート医・認知症看護認定看護師をはじめ認知症に造詣が深い多様な職種で構成する病院認知症対応力向上事業検討委員会を設置し、研修事業の企画・運営を行った。

1 病院認知症対応力向上事業検討委員会

a 委員・オブザーバー

委員

- 武田隆久、富田哲也、畑 典男、近藤泰正（以上、担当役員）、
- 澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）、
- 松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医）、
- 西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）、
- 西村幸秀（京都九条病院介護事業部長統括医師・認知症サポート医）、

坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）、
辰巳弥生（洛和会音羽病院看護師長・認知症看護認定看護師）、
山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）、
川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長 主任介護
支援専門員）、
矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）、
山田みずほ（洛和会東寺南病院リハビリテーション部主席係長・作業療法士）

オブザーバー

中村早苗（京都府健康福祉部高齢者支援課・京都地域包括ケア推進機構課長補佐兼係長）、
谷口雅治（京都府健康福祉部高齢者支援課・京都地域包括ケア推進機構主事）、
黒木阿紀子（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室地域包括ケア第二係長）、
原 典弘（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室）

b 開催日 （Webのみ） 7/20 3/15 計2回

2 事業実施実績

a 集合研修（オンライン）

令和3年度は、京都府内の全ての病院の全職種を対象に、オンラインで7回研修を実施した。
毎回、認知症サポート医や認知症看護認定看護師など多職種の講師による講義と演習（事例検
討等）を行い、全体で272名が受講した。

10月4日 受講者／18名

研修内容／厚生労働省の定めるカリキュラムにもとづく認知症の目的・対応力・連携に関す
る講義と、グループワーク形式による事例検討（以下、全日程で同様の内容）

講 師／澤田親男、坂井加津美、川添チエミ

10月26日 受講者／31名

講 師／西村幸秀、辰巳弥生、山田みずほ

11月8日 受講者／51名

講 師／松岡照之、坂井加津美、矢田部信行

12月6日 受講者／51名

講 師／松岡照之、坂井加津美、矢田部信行

12月24日 受講者／41名

講 師／西村伊三男、辰巳弥生、山出健博

1月7日 受講者／39名

講 師／澤田親男、坂井加津美、山出健博

2月8日 於：メルパルク京都 受講者／41名

講 師／西村伊三男、辰巳弥生、川添チエミ

b 訪問研修（オンライン）

令和3年度は京都市内の6病院で集合研修と同様の内容の講義・演習をオンラインで実施し

た。動画配信による認知症の目的・対応力・連携に関する講義を実施し、オンライン上で病院と講師チームを繋ぎ、演習（事例検討等）を行った。なお、演習の際に密となることを避ける目的で当日の参加を控えた受講者には、当日の参加者より伝達講習を行った。全体で講義は117名、演習は91名（うち伝達講習受講者は42名）が受講した。

・京都近衛リハビリテーション病院

講義 11/25～1/7（動画配信） 受講者／39名

講師／澤田親男、坂井加津美、井上 基

演習 1/14 受講者／22名（うち伝達講習受講者は16名）

講師／講義と同様

・河端病院

講義 11/25～1/19（動画配信） 受講者／9名

講師／澤田親男、坂井加津美、井上 基

演習 1/26 受講者／9名（うち伝達講習受講者は2名）

講師／講義と同様

・京都回生病院

講義 11/26～1/13（動画配信） 受講者／24名

講師／松岡照之、辰巳弥生、山出健博

演習 1/20 受講者／23名（うち伝達講習受講者は2名）

講師／講義と同様

・三菱京都病院

講義 1/11～2/22（動画配信） 受講者／12名

講師／西村幸秀、川瀬美奈子、矢田部信行

演習 3/1 受講者／11名（うち伝達講習受講者は9名）

講師／講義と同様

・洛西シミズ病院

講義 11/25～1/18（動画配信） 受講者／18名

講師／西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美

演習 3/25 受講者／15名（うち伝達講習受講者は10名）

講師／講義と同様

・吉川病院

講義 1/11～3/3（動画配信） 受講者／15名

講師／澤田親男、坂井加津美、井上 基

演習 3/10 受講者／11名（うち伝達講習受講者は3名）

講師／講義と同様

c 訪問研修フォローアップ

過去に訪問研修を実施した京都市以外の3病院を対象に標記の研修を実施した。各病院とも

1日目は認知症対応に関する個別の課題等を抽出するためのヒアリングをオンラインで実施し、2日目は1日目で把握した課題等を踏まえ、講師が企画・検討を行った、病院ごとに異なる内容の研修をオンラインで実施した。(2日目の研修について、京都田辺中央病院及び京丹後市立久美浜病院はZoomによる生配信、長岡京病院は動画配信を行った。)

・京都田辺中央病院

1日目 1月6日 受講者/32名

講師/松岡照之、辰巳弥生、矢田部信行

研修内容/事前アンケート結果に対する解説や、病院個別の課題等を抽出するためのヒアリング等(以下、全ての病院で同様の内容で実施)

2日目 3月9日 受講者/38名

講師/1日目と同様

研修内容/せん妄と認知症の違い、認知症の方の意思決定支援、認知症の方とのコミュニケーションや食事における工夫、社会資源の活用等についての講義

・京丹後市立久美浜病院

1日目 2月22日 受講者/18名

講師/澤田親男、坂井加津美、井上 基

2日目 3月23日 受講者/23名

講師/1日目と同様

研修内容/認知症の方の入院環境の改善方法、暴力行為・暴言への対応方法、効果的な薬剤療法、在宅関係者との連携等についての講義

・長岡京病院

1日目 2月10日 受講者/10名

講師/西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美

2日目 3/14(動画撮影) 3/24~3/29(動画配信) 受講者/10名

講師/1日目と同様

研修内容/スタッフや患者・家族に対する認知症の方と共生することの理解の促進、多職種での円滑な情報共有等についての講義

d 認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修

本研修は、研修の実施対象地域を選定し、当該地域の病院や介護サービスの関係者、行政機関の認知症施策担当者等と、当事業の検討委員会が意見交換(ヒアリング)を行い、当該地域の、認知症の方の支援における医療・介護連携の課題等について把握し、把握した課題等を踏まえて研修内容を決定している。

また、研修会では、研修開催地域における認知症対応に係る取り組み(認知症初期集中支援チームの活動等)に関する内容の講義や、地域において病院と介護関係者が連携しながら認知症の方の支援を行った事例について、当該事例にかかわった病院・介護サービス関係者からの報告や、認知症への対応に関して、病院、介護サービス事業所、行政機関それぞれの立場で日

頃より課題と感じていることや、他の職種や事業所に対して期待すること等について活発に意見交換を行い、地域全体で早期より認知症の方の支援を行うとともに、医療・介護サービスを切れ目なく提供する体制を構築するべく、地域の医療・介護関係者の相互の連携をより深める場となっている。

令和3年度は、乙訓圏域と舞鶴市域の医療機関や介護サービス事業所等を対象に、オンラインで打ち合わせ会議及び研修を実施した。

・乙訓圏域

事前打ち合わせ会議 1月18日 出席者／15名

研修会 3月5日 受講者／42名

講師／海老原藍（長岡京市東地域包括支援センター主任・主任介護支援専門員）

中林三郎（長岡京市東地域包括支援センター・社会福祉士）

事例報告／南本宜子（済生会京都府病院福祉相談室長・医療ソーシャルワーカー、済生会京都府病院居宅介護支援事業所管理者・主任介護支援専門員）

オブザーバー／西村幸秀

ファシリテーター／矢田部信行、辰巳弥生

・舞鶴市域

事前打ち合わせ会議 1月21日 出席者／11名

研修会 3月7日 受講者／19名

講師／山本小百合（舞鶴市認知症初期集中支援チーム コーディネーター、東舞鶴医誠会病院地域医療連携室主任・精神保健福祉士）

事例報告／山本小百合（同上）

秋保安江（在宅介護支援センター真愛の家・介護支援専門員）

ファシリテーター／川添チエミ、坂井加津美

e 認知症対応力向上研修（集合研修・訪問研修）受講後の取組・成果に関するアンケートの実施

令和2年度の集合研修に特に多くの職員が受講した10病院において、研修受講後の各病院での取組、成果に関するアンケート調査を実施した。また、令和2年度に訪問研修を実施した6病院においても同様の調査を実施した。集合研修、訪問研修ともに受講前に比べて認知症の方への対応や理解が進み、認知症の方の入院受け入れや多職種連携の意識が高まっていることが確認できる結果となった。

f 病院看護師のための認知症ケア講座（オンライン）

病院において身体疾患を有する認知症患者への対応力の向上が求められている中、認知症ケアの要である看護師を対象に、認知症患者のアセスメントや看護方法等の知識等を習得することを目的として京都私立病院協会と京都府慢性期医療協会の共催で開催した。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から Zoom を活用して2日間にわたりオンラインで講義・演習を行った。なお、本講座は厚生労働省から診療報酬の認知症ケア加算2・3の施設基準の該当研修として認められている。両協会加盟病院から1日目、2日目ともに31名の看護師が受講

し、全ての受講者が修了した。

12月8日 参加者／31名（31病院）

解 説

テーマ／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講 師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

第1章（90分） *休憩時間を除く（以下同様）

テーマ／「認知症の原因疾患と病態・治療」

講 師／澤田親男

第2章（140分）

テーマ／「入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術」(演習含む)

講 師／井上桂子（京都岡本記念病院・認知症看護認定看護師）

12月9日 参加者／31名（31病院）

第3章（120分）

テーマ／「コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法」(演習含む)

講 師／山田亜由美

第4章（120分）

テーマ／「行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法」(演習含む)

講 師／辰巳弥生

第5章（80分）

テーマ／「認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援」

講 師／松岡照之

D 病院地域包括ケアシステム強化事業

当事業では、地域包括ケアシステムの推進に向けて、地域における病病・病診、医療・介護連携の更なる強化や、医療・介護の様々な知識・スキルを持ち幅広い視点で柔軟に地域包括ケアを担うことのできる病院職員の育成を図るべく、病院以外の関係者や各職種の行う取り組みを含めた様々な医療・介護提供体制等について、講義や病院以外の関係者も交えた活発な意見交換等を通じて理解を深めるための研修を実施している。

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、オンラインで研修を実施した。

本事業の実施にあたっては、検討委員会を立ち上げ、事業内容について検討を行った。また、研修内容の詳細については、打ち合わせ会議を開催し、研修会のファシリテーターを担う8名の委員が企画・検討を行った。

1 病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員会（及び研修打ち合わせ会議）の設置・開催

a 委員

久野成人、近藤泰正、菊地三弥（令和3.6～）（以上、当協会役員）、

川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所）、甲田由美子（京都民医連中央病院）、
勝尾一史（京都岡本記念病院）、松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター）、
日沖義治（京都博愛会病院）、大島恭子（武田病院）、矢田部信行（いわくら病院）、
柴田拓哉（京都久野病院）

b 開催日

検討委員会（Web併用）8/5 3/22 計2回
研修打ち合わせ会議（Webのみ）12/2 1/24 2/18 計3回

2 主な活動

a 地域包括ケア推進人材育成推進研修（オンライン）

地域包括ケアシステムの推進に向けて病院以外の各職種や関係機関が行っている取り組みを含めた様々な医療・介護提供体制等について、病院以外の関係者を交えた講義や実践的なグループディスカッション等を通じて理解し、幅広い知識・スキルをもって地域包括ケアシステムの推進により貢献できる病院職員を育成するべく、6回シリーズの標記のオンライン研修を行った。

①10月25日 参加者／69名

*京都地域包括ケア推進機構の「あんしん病院と地域の医療・介護関係者連携推進研修会」
との合同開催。

1) テーマ／「地域包括ケアシステムの推進、病床機能分化に必要な病院の役割について
－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講 師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

2) テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システムの概要説明」

講 師／小川寛太（京都地域包括ケア推進機構事務局）

3) テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」

講 師／①豊田敦子（京丹後市立弥栄病院地域医療連携室長）

②森井るり子（市立福知山市民病院地域医療連携室次長・医療福祉相談係長）

③坪井俊夫（なぎ辻病院事務次長）

②11月15日 参加者／69名

テーマ／①「地域包括ケアにおけるアドバンス・ケア・プランニング（人生会議）」

②「医療・介護従事者にとってのACP（介入視点・タイミング）」

講 師／①田中 誠（たなか往診クリニック理事長・院長）

②甲田由美子（京都民医連中央病院事務次長）

③12月20日 参加者／67名

テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて
（医療ソーシャルワーカーの立場から）」

講 師／南本宜子（済生会京都府病院福祉相談室長）

④ 1月29日 参加者／61名

テーマ／「精神疾患の理解と支援方法について」

講師／矢田部信行（いわくら病院地域連携室長）

向井千賀子（いわくら病院地域連携室）

葛原規美代（いわくら病院地域連携室）

常盤真帆（いわくら病院地域連携室）

安河内順子（いわくら病院地域連携室）

⑤ 2月5日 参加者／59名

1) テーマ／「介護保険制度の概要、適切なケアマネジメント手法の活用、介護サービスの
実際等」

講師／川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長）

2) テーマ／「オンラインでの退院前カンファレンスの模擬体験等（演習）」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

⑥ 3月17日 参加者／60名

1) テーマ／「認知症患者等の意思決定支援等について」

講師／長谷川美智子（京都民医連中央病院副看護部長・老人看護専門看護師）

2) テーマ／「認知症とともに生きる社会づくりについて」

～認知症の方ご本人から学ぶ（対談）

講師／下坂 厚（京都市西院老人デイサービスセンター介護職員）

松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター長・主任介護支援専門員）

3) テーマ／「認知症とともに生きる社会の実現に向けた検討（演習）」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

※1～4日目は、講義終了後に講義内容等に関するグループワークを実施。また、病院
地域包括ケアシステム強化事業検討委員2名がファシリテーターを担当。

b 地域連携強化推進研修（オンライン）

病院の地域連携担当者等の多職種と、病院以外の介護保険施設・居宅サービス事業所等の関係者が一同に会し、活発な意見交換等の実施により、地域包括ケアシステムの推進に向けた共通認識を深め、円滑な医療・介護連携及び病病・病診連携を図ることを目的に、前期（10～12月）と後期（1～3月）に分けて、オンラインで研修を開催した。

前期 1日目 10月21日 参加者／45名

1) テーマ／「入退院時の医療・介護連携において必要な基本事項～在宅医療編～」

講師／守上佳樹（よしき往診クリニック院長）

2) テーマ／「多職種連携ネットワーク「きづがわねっと」が行う入退院時の医療・介護連携の取組み」

講師／柳澤 衛（一般社団法人相楽医師会在宅医療委員会多職種連携ネットワーク「きづがわねっと」事務局長、柳沢活道ヶ丘診療所院長）

2日目 11月26日 参加者／45名

テーマ／「臨床倫理4分割法を用いたグループワーク等

(退院時カンファレンスを模した実践的な内容等)」

講師／川島篤志（市立福知山市民病院総合内科医長）

3日目 12月17日 参加者／42名

内容／「入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてのグループワーク」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 1日目 1月19日 参加者／29名

2日目 2月7日 参加者／26名

2日目 3月3日 参加者／25名

*前期・後期ともに、各日程同じテーマ・講師で開催。

*全日程で講義内容等に関するグループワークを実施。また、1日目、2日目は病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員2名がファシリテーターを担当。

c 京都府内病院地域連携室窓口一覧名簿の運営

円滑な入退院時の調整、および在宅医療・介護の連携体制を強化すること等を目的に、平成27年度「在宅医療・介護連携体制支援事業」にて立ち上げた上記名簿閲覧サイトの運営を行った。

E 地域連携型在宅医療支援病院事業

少子高齢化社会に向けて、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な訪問診療を提供することが重要である。

京都府は、病院が訪問診療を行うことを目的として、院外関係者も含めた病診連携、病介連携を円滑に行なうための多職種研修を実施した京都市以外に所在する会員病院（以下、市外会員病院）に対し、その研修に要する経費の一部を補助する事業「地域連携型在宅医療支援病院事業」を平成30年度に策定した。4年目となる令和3年度においても当協会が事業実施を受託し、市外会員病院における地域の各種団体と連携を図り在宅医療人材の育成及び拠点整備等を行う病院の支援を行った。

対象施設	4施設
各施設での研修費用総額	2,500,279円
補助金額	3,000,000円（事務経費含む）

VII 人材確保・定着への取り組み

民間病院における看護師不足が深刻な状況の中、京都私立病院協会では、京都府・京都市に対し、看護職員の潜在化を防止するとともに、再就業支援のための予算措置を要望し続けている。その結果、

京都市では平成23年度に離職後の看護職員（以下、「退職看護職」とする）の再就業のための研修を病院が実施した経費を補助する「離職看護師能力再開発事業」が策定され、当協会が運営事務を受託している。

京都府では平成24年度に退職看護職の再就業を支援する「看護人材確保支援事業」（現「看護人材早期復職支援事業」）が策定されるとともに、医療・介護・福祉の関係団体、行政で運営している「きょうと介護・福祉ジョブネット」の「看護職確保プロジェクトチーム」も継続発展して設置され、これらの事業実施・運営事務も受託し、各種事業を展開してきた。

令和3年度も引き続き、京都府地域医療介護総合確保基金事業として、医師事務作業補助者の養成（医療従事者勤務環境改善体制整備事業）、潜在薬剤師の復職支援（きょうと薬剤師サポートネット）・看護補助者の確保（医療従事者確保強化事業）にも取り組んだ。

平成27年1月からは、「京都府医療勤務環境改善支援センター」に係る事業を京都府から受託し、当協会事務局の向かい側にセンターを開設している。また、センターの開設に伴い、京都労働局より「医療労務管理相談コーナー」も運営を受託している。病院事務長経験者の勤務環境改善推進員と常勤の社会保険労務士を配置して府内医療機関での勤務環境改善を推進することにより、人材確保・定着に寄与するべく、個別支援・相談対応等を行っている。勤務環境改善を行うために必須である経営改善に資する研修はセンター発足時から継続して開催しており、平成29年1月からは、医療勤務環境改善マネジメントシステム推進のための「京都いきいき働く医療機関認定制度」を推進している。令和3年度は「勤務医勤務環境改善体制整備事業」として、勤務医の労働時間管理の適正化、勤務環境改善を目的に病院が勤怠システム等の設備を導入した際にその投資費の一部を補助する事業も実施した。（各々詳細別記）

A 京都府医療勤務環境改善支援センター事業

平成26年6月の医療法改正により、医療機関の管理者が勤務環境改善の措置を講じることが求められ、都道府県で医療機関の勤務改善を促進するための支援をするべく、拠点機能を持つ医療勤務環境改善支援センターの設置が義務づけられた。これに伴い、京都府は平成27年1月に「京都府医療勤務環境改善支援センター」（以下、「センター」）を設置し、当協会がセンターの運営を受託した。

センターの業務内容は、勤務環境改善に取り組む医療機関への個別支援・相談対応、勤務環境改善に関する研修会の実施、医療環境マネジメントシステムの普及・導入支援活動等が挙げられる。

令和3年度は、病院訪問の実施、医療従事者の確保・定着に資するための研修として「医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修」を病院の理事長・院長・事務長・看護部長をはじめ経営・労務の管理職を対象に全4回開催した。その他、必要に応じてセンター常駐の社会保険労務士、勤務環境改善推進員による個別相談対応等を行った。

また、病院職員のモチベーション向上や人材確保・定着に資することを目的とし、府内の病院が雇用の質向上に取り組むことを宣言・公表して、勤務環境改善に取り組む病院をセンターが認定を行う「京都いきいき働く医療機関認定制度」について宣言病院、基本認定取得病院ともに着実に増えており認定取得に向けて支援を行っている。

他にも、医療機関が医師等の労働時間短縮を目的とした機器の導入費用を特別償却の対象とするための制度の周知や、当センターの取り組みを全国的なセミナーの場で発表し、他の都道府県に広報する等、幅広く活動を行っている。

1 京都府医療勤務環境改善支援センター運営委員会

a 委員（*はオブザーバー）

清水鴻一郎、石丸庸介、真鍋由美、清水 聡、清水史記（以上、担当役員）、
山田正明、古田智史（以上、事務長会）、高橋鈴子、和田めぐみ（以上、看護部長会）、
馬瀬久宜（薬剤師部会）、滋岡嘉弘（勤務環境改善推進員）、
松尾治樹、安村史人（以上、京都府健康福祉部医療課）*、
高塚知紀（京都労働局雇用環境・均等室）*

b 開催日 （Web 併用） 7/27 12/14 3/30 計3回

2 事業実施実績

a 医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修（4回）

10月19日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／4名 オンライン参加申込／74名 計78名

テーマ 「“病院経営”の視点からコロナ禍の2020年を振り返る」

～禍の中で決定された骨太の方針と関連省庁見解も確認する～

講師 石井孝宜（石井公認会計士事務所所長・公認会計士）

11月16日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／3名 オンライン参加申込／78名 計81名

テーマ 「“これから何が”の視点から病院改革・第8次医療計画を考える」

～来年4月病院に義務化される外来報告と病床機能報告の相乗～

講師 石井孝宜（石井公認会計士事務所所長・公認会計士）

12月7日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／5名 オンライン参加申込／71名 計76名

テーマ 「地域で試されている病院の立ち位置」

講師 中山和則（日本病院会病院経営管理士会副会長・筑波メディカルセンター病院副院長・事務部長）

1月18日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／5名 オンライン参加申込／69名 計74名

テーマ 「医師の労働時間短縮計画作成のための取り組み」

講師 馬場武彦（社会医療法人ペガサス理事長・医師の働き方改革の推進に関する検討会構成員）

b 病院訪問（6病院）

c 「京都いきいき働く医療機関認定制度」の運用（令和4年3月末時点）

いきいき働く医療機関宣言 97病院

いきいき働く基本認定病院 45病院

d 京都府医療勤務環境改善支援センター news の発刊（毎号500部）

e 医療機関からの個別相談対応 39件

f セミナー・学会発表

医師等の働き方改革研修会 7月29日 オンライン

テーマ／京都府医療勤務環境改善支援センターにおける支援について
説 明／臂谷亮輔

第62回全日本病院学会 in 岡山 8月21日～22日 オンライン

テーマ／京都府医療勤務環境改善支援センターの取組～「病院訪問」について～
説 明／吾郷晋一

g 支援体制強化のための研修会等への参加

都道府県医療勤務環境改善担当課長会議（Webのみ） 6月9日、1月21日

（津崎桂子、竹内 誠、臂谷亮輔、吾郷晋一）

特別支援のためのスキルアップ研修会（Webのみ） 6月11日（臂谷亮輔、吾郷晋一）

B 医療労務管理支援事業

本事業は労働局の委託事業で医療勤務環境改善支援センターを運営している当協会が受託し、医療労務管理相談コーナーを開設して医療管理アドバイザーを配置し、労務管理全般に対する相談、労働基準関係法令に関する照会、勤務環境改善計画の策定、実施、評価等を支援し、相談対応を行った。また、京都労働局、公益社団法人京都府看護協会の共催で医療勤務環境改善研修会を開催し、医療機関による積極的な勤務環境改善の促進に努めた。

1 事業実施実績

a 医療労務勤務環境改善研修会「医師、看護師等の宿日直許可基準について」

（共催：京都労働局）

10月25日 於：メルパルク京都（Web併用）

会場参加／11名 オンライン参加申込／106名 計／117名

テーマ／「医師、看護師等の宿日直許可基準について」

講 師／小見伸雄（京都労働局労働基準部監督課統括特別司法監督官）

医療労務勤務環境改善研修会「医師の働き方改革の進め方について」

（共催：京都労働局）

11月18日 於：メルパルク京都（Web併用）

会場参加／4名 オンライン参加申込／69名 計／73名

テーマ／「医師の働き方改革の進め方について」

講 師／福島通子（塩原公認会計士事務所特定社会保険労務士）

医療勤務環境改善研修会「業務改善による勤務環境改善について」

（共催：京都労働局、公益社団法人京都府看護協会）

1/13 1/17 1/21 (動画撮影) 2/3～3/3 (動画配信) 参加申込者/134名

基調講演/「医療機関の働き方改革～今のうちに対策しておきたい3テーマ～」

講師/竹中君夫 (社会医療法人明和会医療福祉センターサステイナブル本部人事統括主幹)

事例発表/事務部門 金野栄一 (洛和会音羽病院管理課課長)

看護部門 大平久美 (熊本市医師会熊本地域医療センター前看護部長)

b 周知・広報活動

C 勤務医勤務環境改善体制整備事業

令和6年4月から施行される医師に対する時間外・休日時間の上限規制の適用に向けて、各医療機関では勤務医の勤務実態等に係る労働時間を適正に管理することは重要な課題となる。しかし、医療機関によっては、時間管理を行う設備が整備されていないため、労働時間管理の体制が十分ではない医療機関が見受けられる状況である。

上記を踏まえ、京都府では令和3年度中に勤務医の労働時間管理の適正化等による勤務環境改善を目的として、ICカード等の勤怠システムを導入した医療機関、既に導入しているICカード等のバージョンアップ等を行った医療機関を対象に、その設備投資費の一部を補助する事業「勤務医勤務環境改善体制整備事業」を令和3年度に策定した。当協会が事業実施を受託し、医師の時間外・休日時間の上限規制に向けて、会員施設における労働時間管理の体制整備を図った。

対象施設	12施設
各施設での設備費用総額	16,063,400円
補助金額	17,080,000円 (事務経費含む)

D 看護人材早期復職支援事業

当協会役員と会員施設で看護人材確保を担当する看護・事務担当者、京都府で構成する看護人材確保支援事業検討委員会を設置し、退職看護職の登録制度(つながりネット)の推進と就業支援の方策を検討し、具体的事業の企画・検討を行った。

京都府内の病院を中心に退職看護職の登録推進に努めるとともに、令和3年度も新規登録者の増加のために京都市域のファミリー世帯に配架される生活情報誌への記事広告掲載に加え、Webを活用しての広報を強化し、登録に一定の成果を上げた。登録看護職には、セミナーの毎月開催(令和3年度は主に動画配信)、関係団体や病院等が行う再就業支援講習の紹介等により、キャリア維持と就業意欲の高揚に努め、当協会専属の就業支援コーディネーターが登録看護職に寄り添って相談対応や情報提供等、再就業のための様々な支援を行った。

さらには、きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム(以下、「看護職確保プロジェクトチーム」とする)と連携し、医療・介護・福祉業界が一体となって登録制度の推進と就業支援に取り組んだ。休職中の登録看護職で再就業の意志のある者には、当協会無料職業紹介メディワークセンターや京都府ナースセンターなど、安心して利用できる職業紹介機関に繋げ、登

録看護職のライフスタイルや希望に沿った再就業先を斡旋した。その結果、令和3年度は新たに230名の登録に繋げ（累計1,364名）、そのうち37名（累計335名）の再就業を実現した。

1 看護人材早期復職支援事業検討委員会

a 委員（*はオブザーバー）

富士原正人、武田隆久、茨木孝二（以上、担当役員）、
益野秀樹（京都久野病院 令和3.6～）、北村周士（医療法人三幸会）、
植村ひかる（京都田辺中央病院）、吉田義雄（医療法人清仁会）、山本美紀（医仁会武田総合病院）、
宮田淳子、古川誠也（以上、京都府健康福祉部医療課）*

b 開催日（Web併用） 8/20 3/18 計2回

2 事業実施実績

a 就業支援コーディネーターを配置し、会員施設、関係団体、関係施設に退職看護職の登録制度推進の普及活動、つながりネット登録看護職の現状把握、相談対応、就業支援等を実施 就業支援コーディネーター：渋谷藍子

b 登録看護職対象セミナーの開催

（*以下の回数は平成24年度からの通算）

第103回 4/16（動画撮影） 4/26～5/6（動画配信） 参加申込者／99名

テーマ／「対人関係のストレスと付き合うために

～コミュニケーションのポイントと、しんどい気持ちとの付き合い方～」

講師／片桐陽子（栄仁会京都駅前メンタルクリニック臨床心理士）

第104回 5/17（動画撮影） 5/25～6/4（動画配信） 参加申込者／72名

テーマ／「タクティールケアについて」

講師／上坂勝芳（株式会社日本スウェーデン福祉研究所）

第105回 6/18（動画撮影） 6/24～7/5（動画配信） 参加申込者／107名

テーマ／「糖尿病看護について」

講師／木下 淳（フリーランス糖尿病看護ケアサポートシステムズ代表）

第106回 7/14（動画撮影） 7/20～8/1（動画配信） 参加申込者／108名

テーマ／「酸素療法～全ての呼吸ケアの First step～」

講師／田中鮎美（京都田辺中央病院慢性呼吸器疾患看護認定看護師）

第107回 8/11（動画撮影） 8/18～8/31（動画配信） 参加申込者／54名

テーマ／「腰痛対策～予防体操と介助技術～」

講師／秋本喜英（医仁会武田総合病院リハビリテーション科科长）

第108回 9/8（Web） 於：私病協会議室 参加者／11名

テーマ／「看護職さんのためのオンライン座談会・キャリア選びのヒントに～病院で働く」

講師／植村ひかる（京都田辺中央病院看護部長）

山本美紀（医仁会武田総合病院看護部長）

第109回 8/31（動画撮影） 9/16～28（動画配信） 参加申込者／89名

テーマ／「看護師が知っておきたい臨床検査値の見方」

講師／江口光徳（宇治徳洲会病院検査科技師長）

第110回 10/14（動画撮影） 10/20～11/3（動画配信） 参加申込者／102名

テーマ／「新型コロナウイルスから学ぶ！現場で生かせる感染対策」

講師／谷山絵梨子（三菱京都病院感染管理認定看護師）

第111回 11/16（動画撮影） 11/24～12/5（動画配信） 参加申込者／91名

テーマ／「訪問看護はじめてみませんか？」

「在宅でのエンド・オブ・ライフケア」

講師／藤原美智子（訪問看護ステーションがくさい）

寸田初美（葵会総合ケアステーション）

第112回 10/28（動画撮影） 12/14～24（動画配信） 参加申込者／89名

テーマ／「放射線と画像診断について」

講師／川越 聡（武田病院放射線科科長代理）

第113回 9/27（動画撮影） 1/26～2/6（動画配信） 参加申込者／108名

テーマ／「認知症高齢者のコミュニケーション方法と環境調整」

講師／山田亜由美（京都民医連中央病院認知症看護認定看護師）

第114回 12/16（動画撮影） 3/15～25（動画配信） 参加申込者／103名

テーマ／「褥瘡の治療とケア」

講師／伊藤貢江（京都桂病院皮膚排泄ケア認定看護師）

c 病院、医療・介護・福祉関係団体等が行う再就業支援のための研修等の受講機会の提供
紹介件数／7件

d パソコン版及び携帯端末版 Web サイトの運用促進

e 登録看護職の再就業に係るアンケート調査の実施及び課題分析

f 登録看護職へのメルマガ配信

配信実績／16通

g 再就業希望者への就業斡旋機関（メディワークセンター、ナースセンター、福祉人材・研修センター、ハローワーク）の紹介

h つながりネット登録者、再就業者実績（令和4年3月31日現在）

登録者／230名（累計1,364名） 再就業者／37名（累計335名）

E きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

看護職確保プロジェクトチームでは、きょうと介護・福祉ジョブネットに参画する医療・介護・福祉の各団体、行政が協働して「看護人材早期復職支援事業」での退職看護職の登録制度（つながりネット）の推進や再就業支援に取り組み、オール京都体制での看護職確保に取り組んでいる。

令和3年度の看護職確保プロジェクトチームにおいても、各団体・行政が協力してつながりネットの登録推進・普及活動に努めた。相談窓口に寄せられる相談については、当プロジェクトチーム

のメンバーも対応し再就業の意欲が沸くように励ましやサポートを行った。また、Webサイト上では毎月、様々な看護現場で働く看護職の働き方・仕事の魅力を発信や、介護・福祉施設・事業所の見学受入施設一覧を掲載もしており、こうした取組を通じて介護・福祉業界への関心も向くように努めている。

1 きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

a 委員（*はオブザーバー）

茨木孝二（担当役員）

高桑 勝（京都府老人福祉施設協議会）、吉田知壽留（京都市老人福祉施設協議会）、

澤田美里（京都府介護老人保健施設協会）、廣幡頭一（京都知的障害者福祉施設協議会）、

野々口義也（京都府社会福祉協議会）、林 千鶴子（京都府看護協会）、

物部理奈（京都府訪問看護ステーション協議会）、松葉 薫（京都西陣公共職業安定所）、

宮田淳子、古川誠也（以上、京都府健康福祉部医療課）*、

水足麻衣子（京都府健康福祉部介護・地域福祉課）*

b 開催日（Web 併用） 6/24 2/21 計2回

2 事業実施実績

a 医療・介護・福祉の看護現場の魅力発信（Web サイト上で公開）

令和3年4月 同志社山手病院

令和3年5月 京都岡本記念病院

令和3年6月 特別養護老人ホーム有智の郷

令和3年7月 特別養護老人ホーム大枝美郷

令和3年8月 訪問看護ステーションふかくさ

令和3年9月 介護老人保健施設あじさいガーデン伏見

令和3年10月 洛西ふれあいの里更生園

令和3年11月 新京都南病院

令和3年12月 特別養護老人ホーム宝生苑

令和4年1月 訪問看護ステーションたんぽぽ

令和4年2月 介護老人保健施設あやべ

令和4年3月 亀岡市篠地域包括支援センター 計12名

b ジョブネット参画団体・事業者が実施する看護職対象イベントの情報提供

看護職対象イベント掲載件数／7件

c メディアを活用した介護・福祉現場の特徴・働き方・魅力の発信

リビング京都掲載 7月3日、11月20日

ラサンカ（北部エリア） 6月23日、1月23日

*看護人材早期復職支援事業と重複する内容は省略

F 京都市離職看護師能力再開発事業

看護職員の資格を持ちながら仕事に就いていない離職看護師の数は、厚生労働省によると全国で約70万人以上いると予想されている。子育てや家事との両立が難しい、ブランクがあり不安、看護内容や労働時間への不満など、看護師として働いていない理由はさまざまであるが、近年ワークライフバランスの充実に取り組む病院もあり、離職看護師の再就業が期待されている。

京都市は離職看護師の再就業を支援し京都市内の医療機関の看護師確保に資するため、病院が実施した研修に要する経費の一部を補助する「離職看護師能力再開発事業」を平成24年度より実施している。10年目となる令和3年度も事業実施を当協会が受託し、離職看護師能力再開発研修を実施した市内会員施設への再就業支援に努めた。

対象施設	1施設
各施設での研修費用総額	60,100円
補助金額	500,000円（事務経費含む）

G これからの社会保障を考えるセミナー

2025年に向けての医療・介護提供体制の構築に対応し得る組織づくりと医療従事者の確保・定着は、病院経営者・経営に携わる管理職としての重要な役割であり、病院の理事長・院長・事務長・看護部長をはじめ、経営・労務の管理職を対象として、地域医療構想、地域包括ケアシステムの実現に必要な病床機能の充実・転換を図るために、医療政策の今後の方向性や経営改善を考え、医療従事者の確保・定着にもつなげる研修を開催している。

令和3年度も、前年度に続き、新型コロナウイルス感染症が会員施設の医療・介護提供体制、経営に大きな影響を及ぼしたことから、最新の知見・感染防止対策の普及をはじめ、令和4年度診療報酬改定への対応等に重点を置いて開催した。

- Part 1 9月11日 於：メルパルク京都（Web 併用）
会場参加／11名 オンライン参加申込／53名 計64名
テーマ／「京都府における新型コロナウイルス感染症に対する対応について」
「地域医療計画・地域医療構想の今後」
講師／長谷川 学（京都府健康福祉部長）
- Part 2 12月13日 於：メルパルク京都（Web 併用）
会場参加／4名 オンライン参加申込／39名 計43名
テーマ／「いまさら聞けない COVID-19のウイルス学」
講師／中屋隆明（京都府立医科大学大学院医学研究科感染病態学教授）
テーマ／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について
－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」
解説／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）
- Part 3 2月26日 於：私病協会議室（Web 併用）
会場参加／2名 オンライン参加申込／215名 計217名

テーマ／「令和4年度診療報酬改定について」

講師／井内 努（厚生労働省保険局医療課長）

Part 4 3月23日 於：メルパルク京都（Web 併用）

会場参加／11名 オンライン参加申込／198名 計209名

テーマ／「2022年度診療報酬改定の重要ポイントと対応策を踏まえた今後の病院経営」

講師／中林 梓（株式会社 ASK 梓診療報酬研究所代表取締役・所長）

H 医療従事者勤務環境改善体制整備事業

医師が診療業務に専念できる勤務環境を確保し、医療の質向上を図るべく、医師が行う業務のうち、カルテの入力・診断書や退院サマリーの作成等の事務的作業を代行する医師事務作業補助者の養成を目的とした事業として「医師事務作業補助研修会」を実施した。研修修了者には診療報酬の医師事務作業補助体制加算の施設基準に定める32時間の研修要件を修了したことを証明する修了証を交付した。従来会場型で本研修を開催していたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、Eラーニングシステムを用いてオンライン型で本研修会を開催した。

1 医師事務作業補助者研修運営委員会

a 委員

武田隆久、仲田昌司（以上、担当役員）、

廣瀬良太、荒井達雄、上垣昭宏、杉浦隆史（以上、事務長会）

b 開催日（Webのみ） 2/7 3/18 計2回

2 事業実施実績

a 医師事務作業補助者研修会

本研修では、医師の負担を軽減し、勤務環境の改善を図るため、各医療機関が医師の事務作業を代行する医師事務作業補助者を配置することができるように養成研修を実施した。

第1回 8月6日～9月5日 オンライン 受講者／171名 修了者／164名

第2回 1月21日～2月20日 オンライン 受講者／56名 修了者／55名

研修内容

第1章 医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護

講師：勝元伸二（岸和田徳洲会病院診療情報管理室課長）

第2章 診療支援業務と配置部署における診療の流れ

講師：阿南 誠（川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療情報学科教授）

第3章 医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）

講師：井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム本部医療情報部次長）

第4章 保険診療概要

講師：仲田昌司（三菱京都病院事務長）

第5章 医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要

講師：藪本恭明（大阪国際綜合法律事務所弁護士・医師）

第6章 医学一般

講師：石丸庸介（京都田辺中央病院理事長）

第6章 感染対策

講師：清水 聡（京都南病院理事長）

第7章 医療安全

講師：岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第8章 薬剤の基礎知識（処方箋の知識）

講師：守谷まさ子（綾部ルネス病院薬剤科長）

第9章 検査一般の知識（臨床検査部門）

講師：増田信弥（京都民医連中央病院検査技術課統括課長）

第9章 検査一般の知識（放射線部門）

講師：茶谷和真（京都田辺中央病院放射線科科長）

第10章 診断書・証明書等の実務

講師：阿部二郎（医仁会武田総合病院事務長代理）

I 医療従事者確保強化事業

不足する病院医療従事者（薬剤師・看護補助者等）の人材確保を図るべく平成27年度より医療従事者確保強化事業を実施している。病院薬剤師等医療人材育成・確保事業では、退職薬剤師の登録制度の普及と病院への就業実現のための支援に努めている。本事業では、生活情報誌やメディアサイトに記事広告を掲載するとともに、きょうと薬剤師サポートネットの公式サイト運営、Googleを活用した広告展開など、登録制度の普及に努めた。当協会薬剤師部会運営委員会と連携して、休職中・薬学部学生の登録薬剤師のためのセミナーを定期開催するとともに、見学受入施設への見学を勧めて就労意欲を高める等、病院薬剤師の魅力を発信し続けた。その結果、31名がサポートネットに登録した。看護補助者確保推進事業では、過去に看護補助者であった者や未経験の者に対して看護補助者の業務内容、働きがい等を広く発信し、病院への就業意欲促進に努めた。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、一般市民を対象とした講習会の開催方法を会場型から動画配信型に変更して実施した。講習会の動画には、看護補助者についての概要説明に加え、病院の協力のもとで看護補助者が実際に仕事をする様子をまとめた映像と看護補助者のインタビューを盛り込み、魅力発信や就業する上での不安軽減に努めた。結果、81名が講習会に参加した。また、看護補助者の啓発を目的とした情報サイト“きらめく★看護補助者ネット”内に求人施設一覧ページを開設し、より就業意欲を高めるサイト作りに努めた。

1 病院薬剤師等医療人材育成・確保事業

1) 医療従事者確保強化事業検討委員会

a 委員

畑 典男、茨木孝二（以上、担当役員）、浅野育子、大津山裕美子、佐藤和生（以上、薬剤師部会）

b 開催日（Web併用）7/14 3/4 計2回

2) 事業実施実績

- a 関係団体、病院等関係施設への退職薬剤師の登録制度推進の周知活動
- b パソコン版及び携帯端末版 Web サイトの運用促進
- c 登録推進カード、ポスターの配布
- d ノベルティの作成、配布による普及活動
- e 未就業（潜在）薬剤師への広報

リビング京都への記事広告の掲載 7月3日、11月20日

f 登録薬剤師のためのセミナーの開催

- | | | | |
|------|--|-------------------|-----------|
| 第56回 | 5/7 (動画撮影) | 5/19～5/28 (動画配信) | 参加申込者/16名 |
| | テーマ/「睡眠薬～睡眠薬はどう使うべきか」 | | |
| | 講師/畑 典男 (長岡病院院長) | | |
| 第57回 | 6/14 (動画撮影) | 6/21～6/30 (動画配信) | 参加者申込者/7名 |
| | テーマ/「病院薬剤師のお仕事全般について」 | | |
| | 講師/浅野育子 (京都民医連あすかい病院薬剤課) | | |
| | 佐藤和生 (日本バプテスト病院薬局長代行) | | |
| 第58回 | 7/13 (動画撮影) | 7/19～7/30 (動画配信) | 参加申込者/11名 |
| | テーマ/「ポリファーマシーについての基礎～患者さんに合わせて薬を考えよう～」 | | |
| | 講師/多胡和樹 (洛和会音羽リハビリテーション病院薬剤課) | | |
| 第59回 | 8/19 (動画撮影) | 8/25～9/6 (動画配信) | 参加申込者/10名 |
| | テーマ/「認知行動療法に基づくストレスマネジメントの基礎」 | | |
| | 講師/山出健博 (長岡病院心理課主任補佐) | | |
| 第60回 | 9/16 (動画撮影) | 9/22～10/1 (動画配信) | 参加申込者/15名 |
| | テーマ/「抗菌薬」 | | |
| | 講師/下田優作 (京都久野病院薬局長) | | |
| 第61回 | 8/31 (動画撮影) | 10/26～11/5 (動画配信) | 参加申込者/16名 |
| | テーマ/「薬剤師も知っておきたい臨床検査値」 | | |
| | 講師/江口光徳 (宇治徳洲会病院検査科技師長) | | |
| 第62回 | 11/12 (動画撮影) | 11/18～12/2 (動画配信) | 参加申込者/10名 |
| | テーマ/「注射薬の調製」 | | |
| | 講師/馬瀬久宜 (医仁会武田総合病院薬剤部長) | | |
| | 小瀬弘尚 (医仁会武田総合病院薬局) | | |
| 第63回 | 12/14 (動画撮影) | 12/10～28 (動画配信) | 参加申込者/13名 |
| | テーマ/「糖尿病」 | | |
| | 講師/佐藤和生 (日本バプテスト病院薬局長代行) | | |
| | 藤井 亮 (蘇生会総合病院薬剤部チーフ) | | |
| 第64回 | 1/19 (動画撮影) | 1/27～2/6 (動画配信) | 参加申込者/18名 |

テーマ／「慢性腎不全」

講師／守谷まさ子（綾部ルネス病院薬剤科長）

大津山裕美子（洛和会音羽病院薬剤部課長）

第65回 3/16（動画撮影） 3/23～30（動画配信） 参加申込者／17名

テーマ／「抗がん剤治療（治療中、治療後の関わり）」

講師／橋井祐子（日本バプテスト病院薬局）

白山佳奈（日本バプテスト病院薬局）

g 登録薬剤師へのメルマガ配信

配信回数 15回

h 病院薬剤師の働き方・魅力発信

i 薬剤師サポートネット登録者、職業紹介機関への登録実績（令和4年3月31日現在）

登録者／31名（累計172名）

京都私立病院協会無料職業紹介機関ネットワークセンターへの登録実績／1名（累計16名）

2 看護補助者確保推進事業

1) 事業実施実績

a 看護補助者として働いてみたい方（一般市民）への講習会の開催

テーマ／「病院で働いてみませんか～資格がなくても大丈夫～」

第1回目 4/21（動画撮影） 6/4～10（動画配信） 参加申込者／46名

講師／春日かほる（京都田辺中央病院看護部長）

原田一途夢（京都大原記念病院看護補助者）

潮見佳苗（相馬病院看護補助者）

仲伊津子（医仁会武田総合病院看護補助者）

第2回目 2/3～9（動画配信・第1回目撮影動画を使用） 参加申込者／35名

アドバイザー（相談対応）／矢田貴子（堀川病院看護部長）

b 啓発カードの作成、配布やホームページ制作などの普及活動

c 一般市民への広報

リビング京都への記事広告の掲載 5月22日、1月29日

ラサンカへの広告の掲載 5月23日

d 看護補助者啓発サイト“きらめく★看護補助者ネット”内に求人中施設一覧ページを制作

e 病院見学受け入れ施設の募集（令和4年3月31日現在）

第1回目 受入可能／30病院

第2回目 受入可能／40病院

見学実績／1病院

f 講習会参加申込者、職業紹介機関への登録実績（令和4年3月31日現在）

講習会参加者／81名（累計362名）

京都私立病院協会無料職業紹介機関ネットワークセンターへの登録実績／2名（累計52名）

【学術研修部】

I 京都病院学会

A 第56回京都病院学会

第56回京都病院学会は、京都府病院協会と京都私立病院協会の共催により、「WITH コロナ、愛と誠と夢のある病院づくり」を全体テーマに掲げ開催した。今学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から Web 開催とし、開催初日に会場にて講演およびメインの演題・シンポジウムをライブで配信し、期間中は動画形式で第56回京都病院学会 WEB サイトにて公開された。

一つのテーマで多職種が発表する要望演題は「地域医療、コロナ対応から見えてきたこと」と設定され、継続して取り扱うべき課題をテーマとする継続演題は「働き方改革、2024年へ向けて待ったなし」とした。医師、看護、介護地域連携、薬剤、放射線、臨床検査、臨床工学、栄養管理、リハビリテーション、事務それぞれの部門で合計467題の演題発表が公開された。演題発表の視聴に必要な第56回京都病院学会 WEB サイトへの登録は、京都府内の病院職員はもとより、一般市民・学生からもあり、登録者総数は1,053名であった。

京都病院学会として二度目の試みとなった WEB 学会は、学会長及び実行委員長を中心に、両協会の学会担当理事をはじめ、会員病院および府下の各職能団体等から派遣された実行委員によって作り上げられ、大きな成果を上げた学会となった。

公開期間：10月24日（日）9：00～11月28日（日）17：00

会場：開催初日はメルパルク京都にてライブ配信、その後期間中 WEB 開催

参加（登録）者総数：1,053名

発表演題：467題

全体テーマ：「WITH コロナ、愛と誠と夢のある病院づくり」

要望演題：「地域医療、コロナ対応から見えてきたこと」

特別講演：「COVID-19との対峙、～最新の情報から学ぶ～」

講師：館田一博（日本感染症学会前理事長・東邦大学医学部教授）

基調講演【会長講演】：「WITH コロナ、愛と誠と夢のある病院づくり」

講師：池田栄人（京都第一赤十字病院院長）

1 学会役員

学会長：池田栄人（京都第一赤十字病院）

副学会長：若園吉裕（京都桂病院）、藤澤明生（賀茂病院）

実行委員長：尼川龍一（日本バプテスト病院）、

副実行委員長：石丸庸介（京都田辺中央病院）

理事：小林 裕（京都第二赤十字病院）、島崎千尋（京都鞍馬口医療センター）、
坪井知正（南京都病院）、吉田憲正（済生会京都府病院）、小森直之（なぎ辻病院）、
近藤泰正（堀川病院）、清水 聡（新京都南病院）、

清水 聡（京都南西病院 ～令和3.7）、清水史記（シミズ病院）

監 事：辰巳哲也（京都中部総合医療センター）、清水鴻一郎（京都リハビリテーション病院）

2 実行委員

事務部門：本多 登（京都第一赤十字病院）、佐藤靖洋（賀茂病院）

看護部門：田中由美子（京都第一赤十字病院）、岩井和美（日本バプテスト病院）、

辻本かよ子（武田病院）、矢田貴子（堀川病院）

介護地域連携部門：松井久典（京都第一赤十字病院）

薬剤部門：竹内隆馬（京都府立医科大学附属病院）

臨床検査部門：滝本寿史（綾部市立病院）

臨床工学部門：酒井徳昭（京都第二赤十字病院）

栄養管理部門：谷中景子（千春会病院）

放射線部門：三浦健一（京都岡本記念病院）

リハビリテーション部門：井上直人（京都医療センター）、

奥村真也、岸本紀和（十条武田リハビリテーション病院）

学校教務：上野佳穂、泉田洋志（京都保健衛生専門学校）、

山本敏子（（専）京都中央看護保健大学校）

B 第57回京都病院学会の開催に向けて

第57回学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から第56回と同様、開催初日に会場にて講演およびメインの演題・シンポジウムをライブで配信し、期間中演題発表は動画形式でWEBサイトにて公開する予定である。公開期間を令和4年11月13日（日）から12月11日（日）までとし、京都私立病院協会の主担当で令和4年4月より理事会を開催し、準備を進める。

第57回学会は全体テーマとして「人生100年時代を健康に生き抜く『健康長寿社会』の実現に向けて」を掲げ、今学会も一般演題の発表とは別に「医療の2025年問題」必要となる対策」をテーマとした要望演題を設ける。また、継続演題は第55回からの継続となる「働き方改革」をテーマに、「働き方改革」勤務環境改善の取り組み」として募集し、基調講演は「Aging Control」老化について考える」をテーマに山田秀和氏（近畿大学客員教授）、特別講演は、「医療安全施策の動向」をテーマに栗原健氏（厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室医療安全対策専門官）にご講演いただく予定としている。

1 学会役員

学 会 長：藤澤明生（賀茂病院）

副 学 会 長：石丸庸介（京都田辺中央病院）、若園吉裕（京都桂病院）

実行委員長：小森直之（なぎ辻病院）

副実行委員長：尼川龍一（日本バプテスト病院）

理 事：真鍋由美（八幡中央病院）、近藤泰正（堀川病院）、清水 聡（新京都南病院）、

清水史記（シミズ病院）小林 裕（京都第二赤十字病院）、

吉田憲正（済生会京都府病院）、黒田啓史（京都市立病院）、梶 龍兒（宇多野病院）、
小池 薫（京都医療センター）

監 事：清水鴻一郎（京都リハビリテーション病院）、池田栄人（京都第一赤十字病院）

Ⅱ 教育・研修

A 教育研修基礎コース

会員病院の新入職員を主な対象とした教育研修基礎コースは、例年、京都市内では5月頃に、北部地区では6月頃に開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため研修会を中止とし、動画配信で実施した。この研修会は病院職員としての基本的知識と心得を修得し、医療機関における組織人としての自覚を持つことを目的としている。講義は、接遇・応対の基本や医療人としての心得を習得するための内容となっている。参加申込者は事務職を中心に、看護職や薬剤師、その他幅広い職種の方からの参加があった。

5/21（動画撮影） 6/1～6/14（動画配信） 参加申込者／282名

講 師／櫻井悦子（研修オフィス SAKURA 代表）

説 明／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント－」（事務局）

B 看護卒後教育

看護卒後教育に関する企画・運営は看護部長会教育委員会で行い、看護職の資格取得後のキャリアに応じた各種研修を開催している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修によって中止または人数を限定しての会場参加型、動画配信、リモート形式へ変更で開催した。リモート形式での研修については初めての形式であったが、事前に通信テストを実施するなど準備を進めることでスムーズに運営を行い、今後の研修運営への可能性を広げた。開催したすべての研修が京都府地域医療介護総合確保基金対象研修となりコロナ禍でも看護職の知識や質の向上および人材育成に努めた。

1 看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）

参加者／35名 修了者／25名 会場／登録会館（第1回～4回） Web／第5回～11回

第1回 4月23日

「看護の動向」

講 師／長谷川寿子（京都博愛会病院看護部長）

「いのちへの問いかけ」

講 師／西沢いづみ（立命館大学生存学研究センター客員研究員）

第2回 5月25日「看護管理概論～看護実践の組織化～」

講 師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

第3回 6月29日「医療安全」

講 師／岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第4回 7月28日「コーチング・セルフサポートコーチング」

講師／清野健太郎（Pure Field 代表）

第5回 12月20日 *新型コロナウイルス感染防止のため延期「看護研究」

講師／星野明子（大阪成蹊大学教授）

第6回 9月16日「リフレクション」

講師／池西悦子（大阪医科薬科大学看護学部教授）

第7回 10月29日「看護倫理①」

講師／真継和子（大阪医科薬科大学看護学部教授）

第8回 11月30日「看護倫理②」

講師／真継和子（大阪医科薬科大学看護学部教授）

第9回 12月8日「看護管理各論」

講師／田中雅子（川越病院看護部長）

第10回 1月24日「グループ・ダイナミックスの理論と方法～災害ボランティアの視点を交えて」

講師／渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

第11回 2月22日「研修成果発表会」

2 看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）

（WEB）参加者／31名 修了者／22名

第1回 9月6日「中間管理者としての看護の動向」

講師／南 京子（新京都南病院看護部長）

第2回 9月29日「看護管理概論」

講師／浦野貴子（洛西シミズ病院看護部長）

第3回 10月8日／「医療安全」

講師／岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第4回 10月18日「看護サービス」

講師／豊田久美子（京都看護大学学長）

第5回 11月5日「師長のリーダーシップ」

講師／大島敏子（NPO 法人看護職キャリアサポートフリースタッフの会会長）

第6回 11月22日「看護組織論」

講師／谷口文代（京都桂病院看護部長）

第7回 12月6日「目標管理」

講師／小河陽子（京都きづ川病院看護部長）

第8回 12月17日「看護管理各論」

講師／上山さゆみ（京都リハビリテーション病院看護部長）

第9回 1月20日「医療情勢と病院運営」

講師／山田正明（堀川病院事務長）

第10回 2月14日「看護倫理」

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

3 看護補助者研修

a 春開催 4/5・4/12(動画撮影) 4/21～4/27(動画配信) 参加者申込者／120名
テーマ／①「接遇について」

②「看護補助者が知っておきたい感染防止対策～患者さんを守る・自分を守る～」

講師／①山崎真奈美（西京都病院看護部長）

②谷口文代（京都桂病院看護部長・感染管理認定看護師）

説明／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント－」（事務局）

b 秋開催 9/14・9/17（動画配信） 10/13～10/19（動画配信） 参加申込者／80名
テーマ・講師・説明 春開催と同様

4 看護リーダーシップ研修

a 卒後3年目限定コース

7月2日・7月16日 於：登録会館 参加者／37名（7/2）、36名（7/16）

講師／春日かほる（京都田辺中央病院看護部長）

説明／「地域医療構想について－医療従事者として知っておきたいポイント」（事務局）

b 中堅コース 7/27（動画撮影） 8/20～8/26（動画配信） 参加者申込／213名

講師／内藤知佐子（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻臨床看護学講座 生活習慣病看護学分野研究員）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

5 准看護師研修

6/28・7/6（動画撮影） 8/4～8/10（動画配信） 参加者申込／78名

テーマ／「認知症のある高齢者への看護」

講師／大塚恒子（一般財団法人仁明会精神衛生研究所副所長）

テーマ／「知っておきたい看護の動向」（地域包括ケアの推進についてを含む）

講師／福島朋樹（新河端病院看護部長）

6 新人研修

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

7 看護研究研修

9月14日（Web） 参加者／28名

テーマ／「看護研究に活かすクリティーク」

講師／豊田久美子（京都看護大学学長）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

8 看護過程研修

（初級編）10月15日（Web） 参加者／33名

テーマ／「看護過程（5つの段階）とSOAPを理解する」

講 師／阿形奈津子（京都中央看護保健大学校看護学科長）

説 明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

（応用編）11月11日（Web） 参加者／33名

テーマ／「事例に基づき、看護診断を用いて看護過程のプロセスを理解し、自己のアセスメント能力を向上させる」

講 師／谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校看護学科教務部長）

説 明／「地域医療構想について～京都府の新型コロナ医療提供体制を踏まえて～」（事務局）

9 看護管理実践報告会

2月28日（Web） 参加者／16名

説 明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講 師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

C 保健医療管理者養成講座

医療を取り巻く環境の変化の中で医療経営に明確な理念と健全で効率的な運営管理が不可欠であり、そのための人材育成の重要性が高まることに対応し、講座を開講して31年目を迎えた。令和3年度修了生22名（31期生）を加えて総勢608名が巣立ったことになる。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度に引き続き、「受講生が会場参加とZoomによるリモート参加を選べるライブ講座」または「動画配信講座」の2つの形式で開催した。保健医療管理士の認定は、認定基準に則り、11月に開催された当協会創立記念式典において、30期生に認定証が授与された。保健医療管理士の称号を持つ修講生は、会員施設において幹部職員として、また、中堅管理者としてその役割を果たしている。

1 第31期生入講式 4月10日 於：京都経済センター

2 認定委員会（保健医療管理士） 10月6日 於：私病協会議室（Web 併用）

3 保健医療管理士認定式 11月30日 於：京都ホテルオークラ

第30期生25名に保健医療管理士の認定証が授与された。

4 認定委員会（修了者） 3月2日 於：私病協会議室（Web 併用）

第31期受講生22名の修了が認定された。

5 終講式 3月26日 於：ホテル日航プリンセス京都

6 運営委員

委 員 長／石丸庸介（担当役員）

委 員／清水史記（以上、担当役員）、池内研二（以上、事務長会）、木村克美（看護部長会）、
今井陽一、山田 剛（以上、保健医療管理士会）、
佐藤眞喜子（京都保健衛生専門学校事務局長）、津崎桂子

認定委員／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、藤澤明生、
真鍋由美及び上記運営委員

D 中堅幹部職員研修

本研修会は2年に1度開催しているが、令和3年度は、従来の宿泊型研修での開催が難しいため、本研修会に代わる新たな研修会として、事務職を対象とした「事務職のためのマネジメント研修」を、事務長会のメンバーで構成されたプロジェクトチームが企画立案し、開催した。

事務のエキスパートとして活躍するために必要な基礎的知識や、組織の一員としてのあり方を学ぶとともに、自院の病院組織の活性化につながるヒントを得ることを研修会の目標として、オンラインによる講義およびグループディスカッションの計4コマ・2日間のカリキュラムで実施した。

今後も研修内容を見直ししながら、継続して本研修会を開催する予定としている。

1 プロジェクトチーム会議

委員：茨木孝二、山田正明、市場真澄、仲田昌司、中川正之、小嶋明彦、山口浩二、末廣健児
(以上、事務長会)

開催日 (Webのみ) 8/26 11/8 3/1 計3回

2 研修会

開催日／(Webのみ) ①3月14日 ②3月17日

参加者／27施設40名

研修内容／①テーマ／「事務職としての他部門との関わり方・事務長会の紹介」

講師／茨木孝二(亀岡病院理事・事務長会常任委員会委員長)

②テーマ／「『組織』をどのように考えるか」

講師／松原為人(京都民医連中央病院院長)

③テーマ／「アンガーマネジメント～心身のリフレッシュのために」

講師／林 たみ子(洛和会音羽病院臨床心理室主席課長)

④情報交換会

説明／「地域医療構想について」(事務局)

E 医師臨床研修・専門医制度への取り組み

京都府が設置する京都府医療対策協議会や京都府地域医療支援センター運営会議や医師確保計画の策定に当協会が参画し、医師確保対策や医師確保支援が民間病院にも十分に行われるよう意見している。医師臨床研修については、研修医の地域偏在是正のために2025年度までに段階的に縮小する方針となっている。京都府は2023年度も激変緩和措置の対象となったが、年々厳しくなる定員が各研修病院への定員配分にも影響が生じている。こうした研修定員の上限設定により、地域医療の維持・確保に大きな影響を受けること、新専門医制度については大学病院などの大病院に指導医や専攻医の集約化が起き、地域医療に支障が生じる懸念があり、京都府内の状況や国の動向を把握しながら必要な対応を行うことにしている。

3/9 令和4年度臨床研修医募集定員に係る説明会 於：Web開催(武田副会長)

【経営管理部】

I 病院経営

A 民間病院に対する補助制度への対応

令和3年度に於いては、全部で10項目の補助が出された。当協会では引き続き病院機能を更に強化し、患者の安心と安全の確保に繋がる補助金の交付を求めている。

会員病院が令和3年度に受けた主な補助金は下記の通り。

1 産科医等確保支援事業費：	12病院	33,580千円
2 高齢化社会に対応した救急医療体制充実事業費補助金 (救急担当医師・看護師への研修補助)：	25病院	6,101千円
3 院内保育運営費補助金：	35病院	131,039千円
4 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：	12病院	67,805千円
5 療養病床あんしん確保対策事業費(がんばる医療療養病床支援)：	0病院	0千円
6 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：	133病院	17,539千円
7 在宅医療推進基盤整備事業：	19病院	19,266千円
8 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：	4病院	51,976千円
9 医療施設等施設設備整備費補助金：	1病院	23,650千円
10 医師の労働時間短縮体制整備事業：	5病院	106,099千円

(* 全て交付決定額ベース)

B 融資斡旋

1 年末融資斡旋

京都府救急告示病院等運転資金融資制度は、府内の中小病院の救急告示および病院群輪番制参加病院などに対して、年末年始における要員確保などに必要な資金を融資する制度である。

融資利率は、平成29年度より年1.7%となり、当協会では更なる低利融資、対象病院の拡大、融資条件の緩和、融資限度額の増額が実現するよう継続して要望している。

令和3年度の京都府救急告示病院等運転資金融資制度の実施状況は次のとおりである。

融資申込／0病院

融資実行／0病院

限度額／8,000万円（1法人で複数病院を有する場合は総額1億2,000万円）

期間／3年以内（据置6か月以内）

利率／1.7%

説明会／（Webのみ）11/9

2 中信病院職員ローン

発足33年目の会員病院の職員向けローンは、京都中央信用金庫の全店で受付けており、保証人

の要らないものである。現在は商品名が変更し、中信パーソナルローン「マイライフ」で当協会の会員施設職員に対しては金利優遇がある。カードローンの限度額は10万円・30万円・50万円・100万円の4種類となっている。

制度の概要と利用状況は次の通りである。

融資限度額／病院職員カードローン	10万円・30万円・50万円・100万円
病院職員ローン	500万円
利息（保証料込み）／カードローン	12.1%（限度額10万円・30万円・50万円・100万円） 12.9%（限度額10万円・30万円・50万円・100万円）
ローン	4.2%（保証料込）
融資期間／カードローン1年または3年	ローン10年以内
令和4年3月31日現在の利用／カードローン	総契約数159件（5,296,331円）
ローン（証書貸付）	0件（0円）

Ⅱ 病院管理

A 環境問題委員会

環境問題委員会では、医療機関に関係する環境の問題を従来よりも広範囲に取り扱う場として取り組みを行ってきた。

会員施設が環境活動に対して関心を持ち、積極的に取り組んでいくことができるよう、当協会役員が行政や関係団体の環境問題に関する各種会議に出席し、当委員会と連携を図りながら、そこで得た情報を会員施設に発信している。令和3年度は、「新型コロナウイルス感染症と喫煙」をテーマとした研修会を動画配信にて実施した。今後も環境問題に関する研修会の企画・開催や補助金交付事業を紹介する等の支援協力を行っていく。

1 委員会

委員長：藤澤明生（担当役員）

委員：明石 純、市場真澄（以上、担当役員）、金岩孝也（事務長会）、高橋鈴子、
矢田貴子（以上、看護部長会）、江口光徳（臨床検査部会）、茶谷和真（放射線技師部会）、
福島由理（栄養士部会）

2 開催日（書面） 2/14

3 主な活動

a 研修会

3/9～3/23（動画配信） 参加申込者／184名

テーマ／「新型コロナウイルス感染症と喫煙」

講師／高橋裕子（京都大学大学院医学研究科社会健康医学健康情報学特任教授）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

b 環境問題についての情報収集・情報交換及び会員施設に対する情報提供

B 会員病院との情報ネットワークシステム

情報通信の発展により、病院においても電子カルテ、オーダーリングシステム、医事会計システム、病院情報の発信など、情報通信ネットワークが急速に普及している。国の医療機能情報公表制度や病床機能報告制度、京都府の京都健康医療よろずネット、医療機能評価等の第三者評価、自院のホームページなど、インターネットで医療機関情報が公開されており、地域への情報発信や人材確保等において不可欠となっている。協会のホームページでは、会員施設のホームページとリンクさせており、会員の認知度の向上や患者の利便性に資するよう努めている。また、協会の各種事業は会員施設のあらゆる職種の協力で成り立っており、当協会の事業を通じて会員施設と連携を図るとともに、会員施設が地域で重要な役割を担っていることを周知している。

地域の医療介護連携においては、医療機関、介護・福祉事業者や多職種による情報共有、コミュニケーションの促進が医療介護サービスの向上に必要となっており、協会会員が地域包括ケアシステムの中心としてさらに機能するようネットワークづくりにも取り組んでいる。平成27年度からは、病院の地域連携室等の窓口情報を調査し、協会ホームページで閲覧・検索を可能とし、入退院支援時の連携強化を図っている。

京都府医療勤務環境改善支援センターで取り組む「京都市いきいき働く医療機関認定制度」の宣言病院及び認定病院も当協会ホームページ内で紹介し、各病院のホームページとリンクさせて医療従事者の確保に繋がるよう認知度の向上を図っている。

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により、顔を合わせたコミュニケーション・連携が困難となる中、Zoomによる会議・研修システムを構築し、令和3年度も会員施設とのネットワークが途切れることのないよう運営した。

C 病院機能向上委員会

当委員会は、会員病院の医療機能の向上を目指した活動を行っている。

令和3年度は、会員施設からの問い合わせに対応した。さらには、入院中の下部尿路機能障害を有する患者に対して多職種協働で排尿機能回復を図り、在宅復帰後の療養生活の向上、介護者の負担軽減に繋げるべく、昨年度に引き続き、医師・看護師を対象にした「排尿機能回復のための治療とケア講座」を開催した。

1 委員会

委員：富士原正人、武田隆久（～令和3.5）、明石 純、武田敏也（令和3.6～）（以上、担当役員）、
廣瀬良太（～令和3.5）、山口寛士（令和3.6～）（以上、事務長会）、
齋藤文代（宇治徳洲会病院）、山本薫里（武田病院グループ ～令和3.5）、
塚本美晴（武田病院グループ 令和3.6～）（以上、看護部長会）

開催日：なし

2 研修会

①10/28・②10/29・③10/30 於：登録会館（①③）・からすま京都ホテル（②）

対 象／①医師 ①～③看護師 *排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料該当研修

参加者／医師2名・看護師29名

テーマ／「令和3年度排尿機能回復のための治療とケア講座」

- 1) 「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について－オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築－」
- 2) 「尿路機能障害の病態と診断」・「尿路機能障害の治療」
- 3) 「尿路機能障害の予防とケア」
- 4) 「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」
「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例（演習含む）」
- 5) 「排尿日誌による評価（演習含む）」
「エコー（残尿測定器）を用いた残尿の測定の実際（演習含む）」
- 6) 「排尿ケアの事例検討（演習含む）」
「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」
- 7) 「排泄自立のためのリハビリテーション（排尿誘導・骨盤底筋訓練等演習含む）」
- 8) 「自己導尿の指導方法（演習含む）」

講 師／1) 京都府健康福祉部医療課

2) 上田陽彦（賀茂病院院長）

3) 朴 英寿（京都田辺中央病院泌尿器科部長）

4) 上田朋宏（泌尿器科上田クリニック院長・NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事長）

5) 細野恵理（三菱京都病院・皮膚・排泄ケア認定看護師）

6) 山口昌子（医療法人恭昭会彦根中央病院・看護師、NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事）

山下和典（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都・作業療法士、NPO 法人認知症排泄支援の会理事・事務局長）

7) 田山大介（医療法人社団西宮回生病院リハビリテーション部主任・作業療法士）

8) 加藤昌子（十条武田リハビリテーション病院血液透析センター看護師長・皮膚・排泄ケア認定看護師）

3 病院機能評価 会員認定施設

37施設（令和4年3月4日現在）

Ⅲ 税制

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の脅威は続いており、感染対策を行いながら地域医療の維

常に努めている医療機関の経営は厳しい状況に晒されており、当協会では新型コロナウイルス感染症対策に係る税制上の支援措置の新設・期間延長を、中央の病院団体を通じて国に求めている。

医療機関に関わる税の問題で、とりわけ社会保険診療への消費税が非課税であることで生じている控除対象外消費税は、病院の経営を圧迫し、病院の建物の増改築・修繕、新たな医療機器や設備の導入を妨げ、病院医療の向上に大きな支障をきたしている。現行の診療報酬上での補填では、点数算定の状況や設備・物品等の購入状況が異なるため、過不足なく補うことは不可能であり、当協会では仕入税額控除が可能で、かつ患者負担のない制度への改正を求めている。但し、消費税問題は、課税に転換した場合、診療報酬で補てんされている部分が減額される可能性もあり、当協会では引き続き情報収集・分析を行うとともに、中央の病院団体と連携しながら対応していくこととしている。

持ち分なし医療法人への移行による相続税・贈与税の猶予・免除等については、令和5年9月末まで期限が延長されることとなり、検討中の医療法人にとっては検討する猶予が与えられたが、移行の場合には移行計画の策定、要件の充足など、着実に手続きを進めていく必要がある。

その他、保険診療に係る事業税非課税措置などについても地域医療の確保の観点から重要であり、当協会では医療機関における税の問題について引き続き情報収集や在り方の検討を行い、必要に応じて改善要望や対応を行っていくこととしている。

【厚生部】

I 会員交流

A 第57回病院対抗野球大会

京都府知事杯争奪第57回病院対抗野球大会は、開催に向けて進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため中止とした。

開催予定日と会場：4月18日 みどりが丘グラウンド
5月16日 みどりが丘グラウンド
6月20日 みどりが丘グラウンド
7月11日 太陽が丘グラウンド

参加：22病院22チーム

実行委員会：(Web 併用) 2/24 3/24 (令和3年)

組み合わせ抽選会：(Web 併用) 3/24 (令和3年) *実行委員による代理抽選

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

実行委員長：加茂有紀浩 (いわくら病院)

副実行委員長：西野優也 (京都岡本記念病院)

実行委員：江口光徳 (宇治徳洲会病院)、松下和彦 (医仁会武田総合病院)、

北本雄大 (洛和会音羽リハビリテーション病院)、木下良信 (京都久野病院)

担当役員：市場真澄

B 第43回病院対抗バレーボール大会

京都府知事杯争奪第43回病院対抗バレーボール大会は、開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため中止とした。

開催予定日と会場：8月22日 京都府立山城総合運動公園 (太陽が丘) 体育館
9月19日 京都市横大路運動公園体育館

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

実行委員：岡田英子 (医仁会武田総合病院)、江川大地 (京都大原記念病院)、

安東寧浩 (宇治徳洲会病院)

担当役員：真鍋由美

C 第15回病院対抗フットサル大会

京都私立病院協会会長杯争奪病院対抗フットサル大会の第15回大会は、開催に向けて会場確保等の準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため中止とした。

開催予定日と会場：11月23日・12月5日 サンガフットサルパーク・京都城陽

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

実行委員：大木達雄（武田病院）、中林俊晴（西陣病院）、鷺見俊亮（京都回生病院）、
渡辺皐太（蘇生会総合病院）
担当役員：武田敏也

D 第8回会員親睦ゴルフコンペ

平成25年度より当協会の厚生事業の1つとして位置づけてから第8回目となる京都私立病院協会長杯ゴルフコンペを開催し、参加者は感染防止対策に努めながらダブルペリア方式による競技を行った。プレー終了後は、表彰式を行い、優勝から第3位、第8回大会賞（第8位）、BB賞の発表と、各賞の賞品並びに参加賞の贈呈を行った。

開催日と会場：11月3日 瑞穂ゴルフ倶楽部

参加：15施設31名（8組）

優勝：木村正彦（武田病院グループ本部）NET 70.0（GROSS 76）

準優勝：吉川博康（明治国際医療大学附属病院）NET 72.8（GROSS 80）

第3位：斉藤 徹（京都ルネス病院）NET 73.2（GROSS 90）

協賛：京都府病院協同組合

実行委員会：8/2 於：私病協会議室

実行委員長：富士原正人（担当役員）

実行委員：茨木孝二（担当役員）、山田正明（事務長会）、上垣明宏（事務長会 令和3.6～）

II 京都私立病院報

「京都私立病院報」は、当協会の広報誌として、毎月1回1日に定期発行している。編集は、担当役員、事務長会、看護部長会からの委員で構成する私病報編集委員会が担い、毎月の会議で記事の構成の検討、原稿の確認・編集を行っている。令和3年度は令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症関連の情報を毎号掲載するとともに、当協会の活動を中心に、民間病院を取り巻く重要事項、毎月の各種研修会・会議の報告、メデイワークセンターの求職情報、京都府や京都市等の行政からの通知などの情報を提供した。

また、会員からの表紙の絵画作品・写真や投稿記事、会員異動を掲載し、会員相互のコミュニケーションも図るツールとしても定着している。

現在の発行部数は約2,300部で、会員施設、関係行政機関、国会・府市会議員、関係諸団体、その他の購読契約者へ配布している。

1 私病報編集委員会

委員長：近藤泰正（担当役員）

委員：浅田 淳、藤井本龍弘（以上、事務長会）、中澤美知子、松本旗江（～令和3.5）、
佐伯昭子（西陣病院 令和3.6～）（以上、看護部長会）

開催日：4/20 5/18 6/15 7/20 8/24 9/21 10/19 11/16 12/21 1/18 2/15

2 発行回数

14回発行：第711号（4月号）～第724号（3月号）、第9回通常総会号（第713-臨）

【政策委員会】

政策委員会は会長および副会長で構成し、協会の事業や政策立案をはじめ、行政の施策に関する重要案件、医療・介護・福祉関係機関との連携に係る案件等を協議した。また、当協会の関係団体間の連携の一環として、各事業所の人事等の重要案件についても協議を行った。

更に、令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大による医療のひっ迫、医療人材確保への対応を協議するとともに、京都府及び京都市からの新型コロナウイルス感染症に関する様々な要請にも対応した。また、感染状況に応じて京都府知事、京都市長に対策・対応を意見し、ウィズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築のために、正副会長が京都府知事、京都市長に直接面会して令和4年度に向けた予算要望を行った。政権与党である政党との懇談も行い、新型コロナウイルスに係る国の対応についても意見・要望した。

政策委員会 4/7 4/28 5/12 6/2 6/16 7/7 7/21 8/4 9/1 9/15 10/6
10/20 11/17 12/1 1/12 2/2 2/16 3/2 3/16 計19回開催
於：私病協会議室（Web 併用）

- ・自由民主党京都府議会議員団への要望（新型コロナウイルス感染症への対応に係る要望）

5/20 於：私病協会議室

- ・公明党 2022年度予算・税制要望並びに政策懇談会 7/10 於：京都東急ホテル

- ・地域医療介護総合確保基金にかかる令和3年度事業実施状況及び令和4年度要望に係る京都府ヒアリング 10/6（Web 併用）

- ・京都府への令和4年度予算要望 10/15 要望先：京都府知事 於：京都府庁

- ・京都市への令和4年度予算要望 10/21 要望先：京都市長 於：京都市役所

【京都府地域医療介護総合確保基金(京都私立病院協会実施分)の説明】

*当協会事業のうち、令和3年度の京都府地域医療介護総合確保基金の対象事業は下記の通り。

1 病床転換促進事業（病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業）

病院の全ての医療従事者が、京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）を正しく理解するとともに、将来の医療提供体制の充実に寄与するための事業を実施し、構想の実現を図る。

（1）病院幹部・管理職等に対する病床転換意識向上事業

・「地域医療部 VII G これからの社会保障を考えるセミナー」

（2）病院医療従事者に対する病床転換を見据えてのキャリア及びモチベーション向上事業

① 将来の病床転換を見据えた部門別、職種別、全職種対象の専門知識・技術向上研修等

・「総務部 II B 事務長会」

・「総務部 II C 看護部長会」

・「総務部 II D 薬剤師部会」

・「総務部 II E 放射線技師部会」

・「総務部 II F 臨床検査部会」

・「総務部 II G 栄養士部会」

・「総務部 II H リハビリテーション部会」

・「総務部 II I 臨床工学技士部会」

・「保険部 II B 介護保険委員会」

・「地域医療部 III B 救急医療検討委員会」

・「地域医療部 IV B 医療安全対策委員会」

・「地域医療部 V B 感染症対策委員会」

・「学術研修部 II A 教育研修基礎コース」

・「学術研修部 II B 看護卒後教育」

・「学術研修部 II D 中堅幹部職員研修」

・「経営管理部 II C 病院機能向上委員会」

② 地域包括ケア実現のために必要な病床の管理・運営を担う医療従事者のリーダー養成研修

・「学術研修部 II C 保健医療管理者養成講座」

③ 病床連携推進事業

・「学術研修部 I A 第56回京都病院学会」

2 病院地域包括ケアシステム強化事業

・「地域医療部 VI D 病院地域包括ケアシステム強化事業」

3 地域連携型在宅医療支援病院事業

・「地域医療部 VI E 地域連携型在宅医療支援病院事業」

- 4 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
 - ・「地域医療部 VII A 京都府医療勤務環境改善支援センター事業」
- 5 勤務医勤務環境改善体制整備事業
 - ・「地域医療部 VII C 勤務医勤務環境改善体制整備事業」
- 6 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
 - ・「地域医療部 VII H 医療従事者勤務環境改善体制整備事業」
- 7 医療従事者確保強化事業
 - ・「地域医療部 VII I 医療従事者確保強化事業」

【学校法人京都保健衛生専門学校】

2021年度の本校の概要と動きを以下に報告する。

1) 理事・監事・評議員

第13期（2021年3月5日～2021年5月31日）

理事長（評議員）	富田哲也	理事（校長）	黒岩敏彦		
理事（評議員）・理事長代理		清水鴻一郎			
理事（評議員）	岡田 純	評議員	磯田典子	評議員	小澤 優
理事（評議員）	小森直之	評議員	大西皓久	評議員	香月キヨ子
理事（評議員）	近藤泰正	評議員	川上智子	評議員	清水 聡
理事（評議員）	佐藤眞喜子	評議員	清水 聡	評議員	谷本千亜紀
理事（評議員）	武田隆久	評議員	林 雅弘	評議員	福井英人
理事（評議員）	藤澤明生	評議員	藤田都司	評議員	松崎祥三
評議員	本井康博				
監事	吉川順介	監事	高松晃司		

第13期（2021年6月1日～2021年10月31日）

理事長（評議員）	富田哲也	理事（校長）	黒岩敏彦		
理事（評議員）・理事長代理		清水鴻一郎			
理事（評議員）	岡田 純	評議員	磯田典子	評議員	小澤 優
理事（評議員）	小森直之	評議員	大西皓久	評議員	香月キヨ子
理事（評議員）	近藤泰正	評議員	川上智子	評議員	清水 聡
理事（評議員）	佐藤眞喜子	評議員	谷本千亜紀	評議員	林 雅弘
理事（評議員）	武田隆久	評議員	福井英人	評議員	藤田都司
理事（評議員）	藤澤明生	評議員	松崎祥三	評議員	本井康博
監事	吉川順介	監事	高松晃司		

第13期（2021年11月1日～2023年3月4日）

理事長（評議員）	富田哲也	理事（校長）	黒岩敏彦		
理事（評議員）・理事長代理		清水鴻一郎			
理事（評議員）	岡田 純	評議員	磯田典子	評議員	小澤 優
理事（評議員）	小森直之	評議員	大西皓久	評議員	香月キヨ子
理事（評議員）	近藤泰正	評議員	川上智子	評議員	谷本千亜紀
理事（評議員）	佐藤眞喜子	評議員	林 雅弘	評議員	福井英人
理事（評議員）	武田隆久	評議員	藤田都司	評議員	松崎祥三
理事（評議員）	藤澤明生	評議員	本井康博		
監事	吉川順介	監事	高松晃司		

2) 学校を取り巻く環境の変化と2021年度の現状

学校経営における環境は、少子化、大学の台頭など受験生確保が一段と難しくなっています。

本校では、一定の数と質とを保てるよう、今後も、学校教職員一丸となって、受験生確保、定員確保に取り組んでいきます。

看護学科三年課程は、教育目標である知識と理論に裏づけされた看護実践能力の基礎を身につけ、社会の変化に関心を持ち、自ら変革させながら、保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成していく。

臨床検査学科は、専門的な知識と技術の習得と、医療人としての心を教育し、社会に役立つ臨床検査技師を育成する。

臨床工学技士専攻科は、医療資格養成校出身者と理工学系大学出身者の特徴を尊重し、各々の専門性を活かしながらキャリア形成できる環境を提供し、チーム医療に貢献できる人材育成に努める。

I 学校行事

(2021年度)

4月7日	2021年度入学式(107人)	於: 京都アスニー
11日	ウイルス抗体検査	
14日	学生健康診断 看三・工学	
15日	看護学科三年課程新生歓迎会 WEB	
17日	学生健康診断 検査	
21日	第2回校務運営会議(第13期)	
22日	臨床検査学科新生歓迎会 WEB	
24日	臨床検査学科(自宅エクササイズ)	
5月6日~7月21日	学外実習(各論臨地実習) 二臨4年生	
7日~11月25日	学外実習(各論臨地実習) 看三3年生	
10日・12日	ツベルクリン反応検査	
19日	第3回校務運営会議(第13期)	
19日	第2回学校法人理事会・第2回学校法人評議員会(第13期)	於: 本校
27日	オープンスクール(工学-学内)	
6月4日	体育祭	於: 島津アリーナ京都
12日	オープンスクール(WEB併用)(全学科)	
15日~18日	高校教員向け説明会	
23日	第4回校務運営会議(第13期)	
24日	オープンスクール(工学-学内)	
7月1日	創立記念日	
12日~8月31日	学外実習(臨床実習) 工学1年生	
17日	オープンスクール(WEB併用)(全学科)	

28日	第5回校務運営会議（第13期）	
8月2日	学校見学会	
7日	1期入学試験（臨床工学技士専攻科）	
16日～19日	学外実習（循環器実習） 一臨2年生	
21日	オープンスクール（WEB併用）（全学科）	
9月2日	オープンスクール（工学-学内）	
4日	2期入学試験（臨床検査学科・臨床工学技士専攻科）	
8日	第6回校務運営会議（第13期）	
12日	第2種ME技術実力検定試験 一臨、工学	於：コングレコンベンセンター
14日～17日	高校教員向け説明会	
25日	学校見学会	
10月2日	オープンスクール（WEB併用）（全学科）	
4日～18日	学外実習（老年看護学実習Ⅰ） 看三2年	
9日	3期入学試験	
13日	第7回校務運営会議（第13期）	
23日	学外学習（工学1年生）（京都私立病院協会臨床工学技士部会講演会）	
		於：WEB参加
27日	第3回学校法人理事会・第3回学校法人評議員会（第13期）	於：本校
29日	日本赤十字献血協力	
30日	学校見学会	
11月6日	4期入学試験	
9日～25日	学外実習（統合実習） 看三3年	
9日	第8回校務運営会議（第13期）	
13日	学校見学会	
29日～12月16日	学外実習（基礎看護学実習Ⅰ） 看三1年	
12月4日	5期入学試験	
8日	第9回校務運営会議（第13期）	
17日	奨学金説明会 看三	
1月7日～3月25日	臨地実習（一臨2年）	
8日	学校見学会	
15日	6期入学試験（看護学科三年課程・臨床工学技士専攻科）	
18日	6期入学試験（臨床検査学科）	
19日	第10回校務運営会議（第13期）	
25日～2月10日	学外実習（基礎看護学実習Ⅱ） 看三 1年 学内	
2月1日	日本赤十字救急法講習会 一臨1年	
10日	日本赤十字救急法講習会 看三1年	

12日	7期入学試験
13日	第111回看護師国家試験 於：京都先端科学大学
15日	第11回校務運営会議（第13期）
15日	卒業認定会議（全学科）
16日	第68回臨床検査技師国家試験 於：大阪商業大学
19日	学校見学会
15日～3月5日	学外実習（循環器実習）（一臨1年生）
3月5日	8期入学試験
1日～12日	学外実習（循環器実習）（二臨2年生）
6日	第35回臨床工学技士国家試験 於：大和大学
9日	卒業式 於：京都アスニー（93名）
18日	奨学金説明会 看三
22日	9期入学試験（臨床検査学科）
23日	第68回臨床検査技師国家試験合格発表
23日	単位認定会議（看護）進級認定会議（検査）
23日	第12回校務運営会議（第13期）
25日	第111回看護師国家試験合格発表
25日	第35回臨床工学技士国家試験合格発表
30日	第4回学校法人理事会・第4回学校法人評議員会（第13期） 於：本校

Ⅱ 学生関係

A 在学生数 2021年4月7日

学 科	1年生	2年生	3年生	4年生	計
看護学科三年課程	42	43	36	－	121
第一臨床検査学科	30	37	41	－	108
第二臨床検査学科	19	15	18	29	81
臨床工学技士専攻科	20	－	－	－	20
合 計	111	95	95	29	330

B 卒業生数 2022年3月9日

学 科	卒業生
看護学科三年課程	41期生 33名
第一臨床検査学科	47期生 28名
第二臨床検査学科	46期生 16名
臨床工学技士専攻	24期生 17名
合 計	94名

C 国家試験結果

学 科	受験者数	合格者数 (合格率%)	全国平均 (%)
看護学科三年課程	33	32 (97.0)	91.3
第一臨床検査学科	28	24 (85.7)	75.4
第二臨床検査学科	16	14 (87.5)	
臨床工学技士専攻科	17	15 (88.2)	80.5

D 2022年度生入学試験応募状況

学 科	応募者数	受験者数	合格者数	入学生 (2022年4月6日)
看護学科三年課程	134	121	50	44期生 40名
第一臨床検査学科	56	55	42	50期生 35名
第二臨床検査学科	5	5 + 11	5 + 11	50期生 11名
臨床工学技士専攻科	28	28	25	25期生 25名
合 計	223	209 + 11	122 + 11	111名

+○は第二志望

E 在学生数 2022年4月6日

学 科	1年生	2年生	3年生	4年生	計
看護学科三年課程	40	42	37	—	119
第一臨床検査学科	35	26	41	—	102
第二臨床検査学科	11	15	12	25	63
臨床工学技士専攻科	25	—	—	—	25
合 計	111	83	90	25	309

【京都府病院協同組合】

概況

2021年は、前年より猛威を振るっている新型コロナウイルスの終息が見えない中、ほとんどの会場を無観客とし、さまざまな制約を設け、1年越しに東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。開催前は、コロナ渦の中、賛成・反対のそれぞれの声もありましたが、いざ、開催となると様々な競技の中で活躍する選手達に人々が感動し、勇気を与えられるいつもの祭典となりました。一方で、感染予防対策として様々な試みが目新しいものに映る部分もあり、身近にコロナ渦を感じる祭典にもなりました。そんな祭典も終盤にさしかかる8月を境に新型コロナの感染者数も右肩下がり減少となり、明るい兆しが見え始めた矢先、新たにオミクロン株による感染拡大が急速に拡がり、一気に切羽詰まった対応が各方面に迫られる事となりました。

当組合では、昨年引き続き医療消耗品の安定供給を心掛け、在庫や仕入先を増やし商品によって十分な供給が可能となりましたが、2021年の年末から2022年3月にかけて一般病床、療養病床、精神病床、高齢者施設等でクラスターが発生し、ディスポ商品の問い合わせ、感染対策のグッズ、感染性廃棄物の収集・運搬の対応など、苦慮されている施設に柔軟な対応が出来るよう心掛け、少しでもお役に立てるよう努めて参りました。

本年度も様々な対応を求められるなか、購買事業につきましては、日々の消耗品やコロナ関連の商品をはじめ、厨房機器や事務機器など数多くのご注文をいただき、順調に数字を重ねることが出来ました。その結果、販売促進奨励金として総額2,000万円の利益還元をすることが出来ました。また、レンタル事業につきましても、多くの組合員にご利用いただき好調を維持しております。委託事業は、新築に伴う自販機と給茶機レンタルサービスのみにより留まり、大きな変動はありませんでした。保険事業も、新規の大きな契約はありませんでしたが、この事業の柱となる病院賠償責任保険の契約の全てが無事更新となり、順調に推移しております。

これも偏に組合員各位のご協力の賜物と感謝いたします。今後ともお力添えいただきますよう宜しくお願いいたします。

【京都府病院企業年金基金】

ゆとりある老後と業界の発展は共通の願い！

京都府病院企業年金基金は、一般社団法人京都私立病院協会を設立母体とする確定給付企業年金です。

昭和55年11月の基金設立以降、長年にわたり、加入事業所の事業主様、加入者様 および、受給者様にご理解とご協力を賜るとともに、歴代理事長はじめ多くの役員、代議員の皆様方に円滑な事業運営のためご支援いただいておりますことを、まことに有り難く、深く感謝申し上げます。

現在、企業年金基金は、71事業所、16,602人が加入され、年金資産残高は256億円です。また、「新財政運営基準」の導入後も、29億円の別途積立金（剰余金の累計）を留保し、健全な財政状況を確保すると共に、公認会計士による「AUP（合意された手続）」を実施し、監査体制の充実を図っております。

退職後の生活を安定したものにするため、公的年金だけでなく企業年金の存在が、ますます欠かせない状況になっております。安定した確定給付企業年金制度を運営するため、引き続き、全力で職務を遂行すると共に、セーフティな年金資産の運用を目指して参ります。

今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 令和4年3月31日時点の事業概況

・加入事業所数		71事業所
・加入者数	男子	4,732人
	女子	11,870人
	合計	16,602人
・掛金収入		688百万円
・年金給付	受給者数	4,283人
	給付額	752百万円
・一時金給付	受給者数	943人
	給付額	279百万円
・年金資産残高（時価）		256億円

2 役員・代議員（任期：自令和2年9月20日 至令和4年9月19日）

選 定		
役 職	氏 名	所属事業所
理 事 長	清 水 鴻一郎	(医) 清水会
理 事 長 代 理	富士原 正 人	(医) 福富士会京都ルネス病院
理 事	武 田 隆 久	(医) 医仁会武田総合病院
〃	中 野 種 樹	(一財) 長岡記念財団
〃	下 坊 元 久	(医) 社団洛和会
監 事	藤 澤 明 生	(医) 明生会賀茂病院
代 議 員	吉 川 順 介	(医) 社団貴順会吉川病院
〃	中 野 博 美	(医) 啓信会京都きづ川病院
〃	明 石 純	(医) 愛友会
〃	中 田 正 伸	(医) 亀岡病院
〃	松 村 浩 史	京都府病院協同組合
互 選		
役 職	氏 名	所属事業所
理 事	大 橋 博 行	(医) 財団医道会
〃	林 起予則	(医) 健康会総合病院京都南病院
〃	真 鍋 雄一郎	(医) 社団医聖会
〃	矢 野 裕 典	(医) 社団洛和会
常 務 理 事	関 本 充 治	京都府病院企業年金基金
監 事	津 崎 桂 子	(一社) 京都私立病院協会
代 議 員	山 本 昌 孝	(医) 寿尚会洛陽病院
〃	山 田 正 明	(社医) 西陣健康会堀川病院
〃	小 坪 俊 昭	(社医) 岡本病院 (財団) 京都岡本記念病院
〃	湊 幸 一	(医) 財団康生会武田病院
〃	河 瀬 雅 彦	(医) 社団洛和会

敬称略（役職ごと、順不同）

【学校法人京都中央看護師養成事業団】

令和3年度事業報告

1 事業報告

(1) 学校運営

今年度は、近年の大きな課題の一つであったレンガ塀の撤去を実施した。撤去にあたっては近隣住民の同意を得た上で行き、新たに基準に対応した塀を設置した。当初予算では必要経費として1500万円を計上していたが、最終的には約690万円となった上、国の補助金を活用することができたため、自己負担額を抑えることができた。

引き続きコロナ禍の影響を受けて支出が全体的に増加したが、総定員以上の学生が在籍したことで収入が確保することができたため、安定した学校運営を行うことができた。

(2) 教育活動

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、令和4年4月から新カリキュラムを導入するにあたり、それぞれの学科において数年前から教育理念やポリシーをもとに新しいカリキュラムの検討を重ねてきた。最終的に平成3年9月に京都府へ変更承認申請を提出し、その後、ヒアリング等を経て令和4年3月、変更が承認された。

在学生に対しては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、対面授業からオンライン授業へ、臨地実習から学内実習への切り替えなどの判断を行った。また、新型コロナウイルス感染症の感染や濃厚接触となった学生については出席停止扱いとし、講義や試験の受講・受験を保障して教育の質を担保している。

卒業生は76名で、看護師国家試験は98.6%、保健師国家試験は77.8%という結果になった。

(3) 学生募集活動

今年度の入学試験は受験生が前年度の45%減、試験の競争率が1.28倍となり、非常に厳しい結果となった。統計的に令和3年度は18歳人口が令和2年度より約2万人減少しており、この減少が要因と考えている。もともと高校生は大学志向が強い上、大学の入学定員が減少していないなかでは前年度と同程度は大学を受験していると推測され、人口の減少分がそのまま専門学校の志望者の減少となったと考えられる。

最終的には入学定員は確保できたが、学力的に厳しい入学生が多く、入学後の教育に力を入れ、国家試験の結果につなげなければならない。

2 主な学校行事

- 令和3年4月8日 始講式
- 12日 第39期生入学式（ライブ配信）
- 15日 講師会
- 30日 実習指導者会議（オンライン）

- 5月25日 学校法人京都中央看護師養成事業団第31回理事会・第31回評議員会
- 29日 学生健康診断／1・2年次生
- 6月17日 特別講演（オンライン）／1・2年次生
- 19日 第1回オープンキャンパス（オンライン）
- 7月2日 高等学校との進路研修会（オンライン）
- 21日 学生夏期休業（～8月18日）
- 29日 実習指導者会議夏期研修会（オンライン）
- 31日 第2回オープンキャンパス
- 8月1日 看護職就職・就学合同フェア2021（オンライン）
- 5日 第24回統合カリキュラム教育実施施設会議（オンライン）
- 7日 第3回オープンキャンパス（オンライン）
- 21日 第4回オープンキャンパス（オンライン）
- 9月18日 第5回オープンキャンパス（オンライン）
- 10月19日 学校関係者評価委員会
- 20日 関西看護学生看護研究大会（オンライン）
- 26日 学校法人京都中央看護師養成事業団第32回理事会・第32回評議員会
- 30日 看護研究発表会（オンライン）
- 11月6日 指定校推薦入学試験
- 18日 宣誓の日／看護学科1年次生
- 20日 公募推薦入学試験前期
- 24日 第1回学校運営会議
- 25日 宣誓の日／看護保健学科1年次生
- 26日 保護者会（オンライン）
- 12月11日 公募推薦入学試験後期
- 14日 第2回学校運営会議
- 25日 学生冬期休業（～1月7日）
- 令和4年1月11日 一般入学試験前期（～12日）
- 14日 第3回学校運営会議
- 19日 実習指導者会議（オンライン）
- 2月3日 卒業認定会議
- 8日 開校記念日
- 11日 第108回保健師国家試験
- 13日 第111回看護師国家試験
- 19日 一般入学試験後期
- 21日 第4回学校運営会議
- 3月7日 卒業講演（オンライン）

(専) 京都中央看護保健大学校同窓会総会 (オンライン)

9日 学校法人京都中央看護師養成事業団第33回理事会・第33回評議員会

14日 第36期卒業式 (ライブ配信)

18日 離任式 (オンライン)

防災訓練

19日 健康診断／両学科2・3年次生

20日 学生春季休業 (～4月7日)

23日 単位認定会議

3 学生関係

(1) 学生数

【看護学科】

	1年	2年	3年	4年	計
令和3年4月	45名	38名	39名	40名	162名
令和4年3月	44名	36名	39名	40名	159名

【看護保健学科】

	1年	2年	3年	4年	計
令和3年4月	43名	41名	41名	38名	163名
令和4年3月	43名	41名	41名	38名	163名

(2) 第36期卒業生及び国家試験結果

【看護学科】

卒業生数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校/全国)
39名	看護師	39名	38名	97.4% (91.3%)

【看護保健学科】

卒業生数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校/全国)
37名	看護師	37名	37名	100.0% (91.3%)
	保健師	36名	28名	77.8% (89.3%)

(3) 令和4年度学生入学試験

【看護学科】

	出願	受験	合格	追加合格	競争率
指定校推薦入学試験	14名	14名	14名	－	1.00倍
公募推薦入学試験前期	24名	23名	11名	－	2.09倍
公募推薦入学試験後期	11名	10名	4名	1名	2.00倍
一般入学試験前期	39名	37名	15名	－	2.47倍
一般入学試験後期	6名	6名	3名	－	2.00倍
合計	94名	90名	47名	1名	1.88倍

【看護保健学科】

	出願	受験	合格	追加合格	競争率
指定校推薦入学試験	11名	11名	11名	－	1.00倍
公募推薦入学試験前期	23名	22名	12名	1名	1.69倍
公募推薦入学試験後期	7名	6名	4名	－	1.50倍
一般入学試験前期	22名	21名	15名	－	1.40倍
一般入学試験後期	6名	6名	4名	－	1.50倍
合計	69名	66名	46名	1名	1.40倍

4 事業団役員（令和4年3月31日現在）

理事長	久野成人	医療法人社団育生会理事長（京都久野病院）
副理事長	清水鴻一郎	医療法人清水会理事長（京都リハビリテーション病院）
常務理事	土井直也	（専）京都中央看護保健大学校事務局長
理事	久保俊一	（専）京都中央看護保健大学校学校長
	志摩裕丈	京都市保健福祉局医療衛生推進室長
	清水幸夫	医療法人清仁会会長（シミズ病院）
	高木敏貴	京都岡本記念病院院長
	武田隆久	武田病院グループ理事長（医仁会武田総合病院）
	中村正一	（専）京都中央看護保健大学校同窓会顧問（西陣病院）
	西城嘉子	ライフ・イン京都副ケアセンター長
	畑 典男	長岡病院院長
	松井淳琪	京都九条病院院長
監事	中濱正晃	京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生課長
	吉川順介	医療法人社団貴順会会長（吉川病院）
評議員	赤木 博	医療法人新生十全会理事長（なごみの里病院）
	石束佳子	（専）京都中央看護保健大学校副学校長
	石丸庸介	医療法人社団石鎚会理事長（京都田辺中央病院）
	出野 順	（専）京都中央看護保健大学校事務部長
	河村 正	元 京都市立堀川高等学校校長
	流石智子	京都華頂大学教授
	高松晃司	京都成蹊法律事務所弁護士
	津崎桂子	一般社団法人京都私立病院協会事務局長
	富田哲也	社会福祉法人京都博愛会理事長（富田病院）
	仲田昌司	三菱京都病院事務長
	平川祐子	（専）京都中央看護保健大学校同窓会会長（十条武田リハビリテーション病院）
	真鍋雄一郎	医療法人社団医聖会常務理事（八幡中央病院）
	矢田貴子	堀川病院看護部長

資料

資料 1

私病協発 3 - 171

令和 3 年 5 月 20 日

自由民主党 京都府議会議員団 御中

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水鴻一郎

新型コロナウイルス感染症への対応に係る要望

平素より当協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

我々民間病院では、コロナ禍で感染防止対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入・治療、接触者外来並びに陽性者外来での診療・検査対応、回復患者の療養支援等、新型コロナウイルス感染症患者等への対応を強化しながら救急医療、一般診療も続けています。これに加え、本年 3 月からは新型コロナウイルスワクチン接種が開始され、医療従事者・高齢者への接種にも最大限尽力しているところです。

そのような状況により、医療従事者の疲弊は限界に達してきていることから、地域における医療の提供体制を守るべく、災害時に準ずる柔軟な運用の適用、新型コロナウイルスワクチンの円滑な実施、必要な医療資材の安定的供給について、以下の点を強く要望いたします。

記

- 一. 新型コロナウイルスワクチンを接種する医療従事者について、労働基準法の労働時間の適用除外とすること
- 一. 働き方改革における医師の時間外労働時間から新型コロナウイルスワクチン接種に係る時間を除外すること。
- 一. 新型コロナウイルスワクチンを接種する医療従事者の人員配置基準や診療報酬算定要件等の緩和・柔軟な運用
- 一. 新型コロナウイルスワクチンに係る接種費用の引き上げ並びに医療機関が高齢者施設等に出向いて接種を行う際の人員確保・交通費等の経費補助
- 一. 新型コロナウイルスワクチン個別接種医療機関における接種予約の受付並びに副反応が出た場合の相談対応を行う行政窓口の設置。また接種あるいは接種を許可した医師個人に副反応の賠償責任等が及ばないような措置を講じること
- 一. 全自動遺伝子解析装置「スマートジーン」等の新型コロナウイルス検出試薬の不足に対する安定供給のための措置
- 一. 手術や検査等の麻酔薬として幅広く使用され、呼吸機能が低下した新型コロナウイルス感染症患

者の気管挿管等の治療を行う際に使用する鎮静剤（プロポフォール等）の不足に対する安定供給のための措置

以 上

第1号議案

令和3年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに
正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

行No	科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
1	I 資産の部			
2	1. 流動資産			
3	現金及び預金	282,097,904	256,733,741	25,364,163
4	未収会費	3,413,097	2,109,155	1,303,942
5	未収入金	161,611,777	94,468,359	67,143,418
6	前払金	181,028	97,608	83,420
7	流動資産合計	447,303,806	353,408,863	93,894,943
8	2. 固定資産			
9	(1) 特定資産			
10	退職給付引当資産	27,169,656	24,781,339	2,388,317
11	減価償却引当資産	5,001,889	5,001,889	0
12	基金積立資産	30,373,837	30,373,837	0
13	什器備品積立資産	527,767	527,767	0
14	創立記念事業積立資産	2,000,000	0	2,000,000
15	特定資産合計	65,073,149	60,684,832	4,388,317
16	(2) その他固定資産			
17	建物付属設備	208,401	232,590	△24,189
18	什器備品	31,216	36,380	△5,164
19	保証金	7,451,280	5,809,920	1,641,360
20	その他の固定資産合計	7,690,897	6,078,890	1,612,007
21	固定資産合計	72,764,046	66,763,722	6,000,324
22	資産合計	520,067,852	420,172,585	99,895,267
23				
24	II 負債の部			
25	1. 流動負債			
26	未払金	27,135,998	3,711,158	23,424,840
27	前受金	800,330	1,243,000	△442,670
28	預り金	4,782,813	576,786	4,206,027
29	賞与引当金	6,849,268	6,499,936	349,332
30	未払消費税等	21,279,000	2,152,900	19,126,100
31	流動負債合計	60,847,409	14,183,780	46,663,629
32	2. 固定負債			
33	退職給付引当金	27,169,656	24,781,339	2,388,317
34	固定負債合計	27,169,656	24,781,339	2,388,317
35	負債合計	88,017,065	38,965,119	49,051,946
36				
37	III 正味財産の部			
38	1. 一般正味財産	432,050,787	381,207,466	50,843,321
39	(うち特定資産への充当額)	37,903,493	35,903,493	2,000,000
40	正味財産合計	432,050,787	381,207,466	50,843,321
41	負債及び正味財産合計	520,067,852	420,172,585	99,895,267

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	① 特定資産運用益	(10,054)	(18,284)	(△ 8,230)
5	特定資産受取利息	10,054	18,284	△ 8,230
6	② 受取入金	(0)	(100,000)	(△ 100,000)
7	入金収益	0	100,000	△ 100,000
8	③ 受取会費	(57,819,046)	(58,169,536)	(△ 350,490)
9	会費収益	57,819,046	58,169,536	△ 350,490
10	④ 事業収益	(477,197,606)	(139,072,571)	(338,125,035)
11	参加事業収益	3,721,000	3,807,000	△ 86,000
12	広告事業収益	10,198,200	10,866,656	△ 668,456
13	その他事業収益	850,960	240,610	610,350
14	介護サービス第三者評価事業収益	0	859,046	△ 859,046
15	京都市介護認定調査事業収益	33,782,650	27,504,950	6,277,700
16	府民リハビリテーション啓発支援事業収益	5,000,000	5,000,000	0
17	離職看護師能力再開発事業収益	500,000	500,000	0
18	看護人材早期復職支援事業収益	4,000,000	4,000,000	0
19	病院認知症対応力向上事業収益	4,584,000	4,584,000	0
20	京都市病院認知症対応力向上事業収益	2,292,000	2,292,000	0
21	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000	9,700,000	0
22	医療従事者キャリア向上事業収益	40,500,000	41,500,000	△ 1,000,000
23	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益	5,000,000	3,500,000	1,500,000
24	勤務医勤務環境改善体制整備事業収益	17,080,000	0	17,080,000
25	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000	6,000,000	0
26	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	4,200,000	4,200,000	0
27	地域連携型在宅医療支援病院事業収益	3,000,000	3,000,000	0
28	在宅療養あんしん病院事業収益	500,000	500,000	0
29	病院清掃感染防止対策事業収益	0	2,000,000	△ 2,000,000
30	医療労務管理支援事業収益	10,616,428	9,018,309	1,598,119
31	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収益	215,843,127	0	215,843,127
32	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収益	99,829,241	0	99,829,241
33	⑤ 受取補助金等	(4,978,000)	(4,974,000)	(4,000)
34	受取交付金	4,978,000	4,974,000	4,000
35	⑥ 雑収益	(493,400)	(509,536)	(△ 16,136)
36	受取利息	492	465	27
37	雑収益	492,908	509,071	△ 16,163
38	経常収益計	540,498,106	202,843,927	337,654,179
39				
40	(2) 経常費用			
41	① 事業費	(483,730,753)	(160,173,838)	(323,556,915)
42	給与手当	1,985,632	4,056,932	△ 2,071,300
43	法定福利費	6,318,836	6,294,461	24,375
44	福利厚生費	89,298	87,670	1,628
45	賞与引当金繰入額	6,849,268	6,499,936	349,332
46	退職給付費用	2,388,317	2,271,681	116,636
47	会議費	649,751	1,428,646	△ 778,895
48	旅費交通費	218,270	117,205	101,065

(単位：円)

行No	科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
49	通 信 運 搬 費	381,259	355,536	25,723
50	消 耗 品 費	437,225	775,409	△ 338,184
51	印 刷 製 本 費	88,504	139,446	△ 50,942
52	減 価 償 却 費	23,483	26,412	△ 2,929
53	慶 弔 費	27,500	44,000	△ 16,500
54	図 書 資 料 費	624,983	645,183	△ 20,200
55	私 病 報 発 行 費	5,384,675	6,049,735	△ 665,060
56	委 員 会 事 業 費	499,978	69,500	430,478
57	部 会 ・ 教 育 事 業 費	61,896	19,900	41,996
58	ス ポ ー ツ ・ 記 念 式 典 事 業 費	2,884,104	1,908,275	975,829
59	メ デ ィ ワ ー ク セ ン タ ー 事 業 費	534,600	550,000	△ 15,400
60	介 護 サ ー ビ ス 第 三 者 評 価 事 業 費	0	859,046	△ 859,046
61	京 都 市 介 護 認 定 調 査 事 業 費	33,782,650	27,504,950	6,277,700
62	府 民 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 啓 発 支 援 事 業 費	5,000,000	5,000,000	0
63	離 職 看 護 師 能 力 再 開 発 事 業 費	1,016,747	512,899	503,848
64	看 護 人 材 早 期 復 職 支 援 事 業 費	4,000,000	4,000,000	0
65	病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費	4,584,000	4,584,000	0
66	京 都 市 病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費	2,292,000	2,292,000	0
67	京 都 府 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 費	9,700,000	9,700,000	0
68	医 療 従 事 者 キ ャ リ ア 向 上 事 業 費	40,500,000	41,500,000	△ 1,000,000
69	医 療 従 事 者 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費	5,000,000	3,500,000	1,500,000
70	勤 務 医 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費	17,080,000	0	17,080,000
71	医 療 従 事 者 確 保 強 化 事 業 費	6,000,000	6,000,000	0
72	病 院 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 強 化 事 業 費	4,200,000	4,200,000	0
73	地 域 連 携 型 在 宅 医 療 支 援 病 院 事 業 費	3,000,000	3,000,000	0
74	在 宅 療 養 あ ん し ん 病 院 事 業 費	500,000	500,000	0
75	病 院 清 掃 感 染 防 止 対 策 事 業 費	0	2,000,000	△ 2,000,000
76	医 療 労 務 管 理 支 援 事 業 費	10,646,474	9,131,183	1,515,291
77	京 都 市 新 型 コ ロ ナ ウ ー ク シ ョ ン 集 団 接 種 事 業 費	205,192,659	0	205,192,659
78	京 都 府 新 型 コ ロ ナ 宿 泊 療 養 施 設 事 業 費	99,829,241	0	99,829,241
79	租 税 公 課	1,587,570	4,191,800	△ 2,604,230
80	雑 費	371,833	358,033	13,800
81	② 管理費	(5,924,032)	(7,032,855)	(△ 1,108,823)
82	給 与 手 当	1,661,832	2,553,474	△ 891,642
83	法 定 福 利 費	256,122	391,221	△ 135,099
84	福 利 厚 生 費	171,324	288,578	△ 117,254
85	通 信 運 搬 費	490,024	468,684	21,340
86	減 価 償 却 費	5,870	6,603	△ 733
87	図 書 資 料 費	512,281	459,302	52,979
88	賃 借 料	768,432	651,548	116,884
89	支 払 手 数 料	1,540,440	1,686,960	△ 146,520
90	雑 費	517,707	526,485	△ 8,778
91	経 常 費 用 計	489,654,785	167,206,693	322,448,092
92	評 価 損 益 調 整 前 経 常 増 減 額	50,843,321	35,637,234	15,206,087
93	当 期 経 常 増 減 額	50,843,321	35,637,234	15,206,087
94	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	50,843,321	35,637,234	15,206,087
95	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	381,207,466	345,570,232	35,637,234
96	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	432,050,787	381,207,466	50,843,321
97				
98	II 正味財産期末残高	432,050,787	381,207,466	50,843,321

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

行№	勘定科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	合計
		継1	小計	他1	小計		
1	I 一般正味財産増減の部						
2	1. 経常増減の部						
3	(1) 経常収益						
4	① 特定資産運用益	0	0	0	0	10,054	10,054
5	特定資産受取利息		0		0	10,054	10,054
6	② 受取入金	0	0	0	0	0	0
7	入金収益		0		0		0
8	③ 受取会費	0	0	11,563,809	11,563,809	46,255,237	57,819,046
9	会費収益		0	11,563,809	11,563,809	46,255,237	57,819,046
10	④ 事業収益	63,217,441	63,217,441	406,535,479	406,535,479	7,444,686	477,197,606
11	参加事業収益	2,604,700	2,604,700	1,116,300	1,116,300		3,721,000
12	広告事業収益		0	2,753,514	2,753,514	7,444,686	10,198,200
13	その他事業収益	212,741	212,741	638,219	638,219		850,960
14	京都市介護認定調査事業収益		0	33,782,650	33,782,650		33,782,650
15	府民リハビリテーション啓発支援事業収益		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
16	離職看護師能力再開発事業収益		0	500,000	500,000		500,000
17	看護人材早期復職支援事業収益		0	4,000,000	4,000,000		4,000,000
18	病院認知症対応力向上事業収益		0	4,584,000	4,584,000		4,584,000
19	京都市病院認知症対応力向上事業収益		0	2,292,000	2,292,000		2,292,000
20	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000	9,700,000		0		9,700,000
21	医療従事者キャリア向上事業収益	40,500,000	40,500,000		0		40,500,000
22	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
23	勤務医療勤務環境改善体制整備事業収益		0	17,080,000	17,080,000		17,080,000
24	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000	6,000,000		0		6,000,000
25	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	4,200,000	4,200,000		0		4,200,000
26	地域連携型在宅医療支援病院事業収益		0	3,000,000	3,000,000		3,000,000
27	在宅療養あんしん病院事業収益		0	500,000	500,000		500,000
28	医療労務管理支援事業収益		0	10,616,428	10,616,428		10,616,428
29	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収益		0	215,843,127	215,843,127		215,843,127
30	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収益		0	99,829,241	99,829,241		99,829,241
31	⑤ 受取補助金等	4,978,000	4,978,000	0	0	0	4,978,000
32	受取交付金	4,978,000	4,978,000		0		4,978,000
33	⑥ 雑収益	0	0	493,400	493,400	0	493,400
34	受取利息		0	492	492		492
35	雑収益		0	492,908	492,908		492,908
36	経常収益計	68,195,441	68,195,441	418,592,688	418,592,688	53,709,977	540,498,106
37							
38	(2) 経常費用						
39	① 事業費	75,717,613	75,717,613	408,013,140	408,013,140		483,730,753
40	給与手当	794,252	794,252	1,191,380	1,191,380		1,985,632
41	法定福利費	2,527,534	2,527,534	3,791,302	3,791,302		6,318,836
42	福利厚生費	20,540	20,540	68,758	68,758		89,298
43	賞与引当金繰入額	2,739,707	2,739,707	4,109,561	4,109,561		6,849,268
44	退職給付費用	955,327	955,327	1,432,990	1,432,990		2,388,317
45	会議費	259,901	259,901	389,850	389,850		649,751
46	旅費交通費	87,308	87,308	130,962	130,962		218,270
47	通信運搬費	152,504	152,504	228,755	228,755		381,259

(単位：円)

行№	勘定科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	合計
		継 1	小計	他 1	小計		
48	消 耗 品 費	174,889	174,889	262,336	262,336		437,225
49	印 刷 製 本 費	35,402	35,402	53,102	53,102		88,504
50	減 価 償 却 費	9,393	9,393	14,090	14,090		23,483
51	慶 弔 費		0	27,500	27,500		27,500
52	図 書 資 料 費	374,990	374,990	249,993	249,993		624,983
53	私 病 報 発 行 費	5,384,675	5,384,675		0		5,384,675
54	委 員 会 事 業 費	224,990	224,990	274,988	274,988		499,978
55	部 会 ・ 教 育 事 業 費	61,896	61,896		0		61,896
56	ス ポ ー ツ ・ 記 念 式 典 事 業 費		0	2,884,104	2,884,104		2,884,104
57	メ デ ィ ワ ー ク セ ン タ ー 事 業 費	534,600	534,600		0		534,600
58	京 都 市 介 護 認 定 調 査 事 業 費		0	33,782,650	33,782,650		33,782,650
59	府 民 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 啓 発 支 援 事 業 費		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
60	離 職 看 護 師 能 力 再 開 発 事 業 費		0	1,016,747	1,016,747		1,016,747
61	看 護 人 材 早 期 復 職 支 援 事 業 費		0	4,000,000	4,000,000		4,000,000
62	病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費		0	4,584,000	4,584,000		4,584,000
63	京 都 市 病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費		0	2,292,000	2,292,000		2,292,000
64	京 都 府 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 費	9,700,000	9,700,000		0		9,700,000
65	医 療 従 事 者 キ ャ リ ア 向 上 事 業 費	40,500,000	40,500,000		0		40,500,000
66	医 療 従 事 者 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
67	勤 務 医 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費		0	17,080,000	17,080,000		17,080,000
68	医 療 従 事 者 確 保 強 化 事 業 費	6,000,000	6,000,000		0		6,000,000
69	病 院 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 強 化 事 業 費	4,200,000	4,200,000		0		4,200,000
70	地 域 連 携 型 在 宅 医 療 支 援 病 院 事 業 費		0	3,000,000	3,000,000		3,000,000
71	在 宅 療 養 あ ん し ん 病 院 事 業 費		0	500,000	500,000		500,000
72	医 療 労 務 管 理 支 援 事 業 費		0	10,646,474	10,646,474		10,646,474
73	京 都 市 新 型 コ ロ ナ ウ ェ ク シ ン 集 団 接 種 事 業 費		0	205,192,659	205,192,659		205,192,659
74	京 都 府 新 型 コ ロ ナ 宿 泊 療 養 施 設 事 業 費		0	99,829,241	99,829,241		99,829,241
75	租 税 公 課	793,785	793,785	793,785	793,785		1,587,570
76	雑 費	185,920	185,920	185,913	185,913		371,833
77	② 管 理 費					5,924,032	5,924,032
78	給 与 手 当					1,661,832	1,661,832
79	法 定 福 利 費					256,122	256,122
80	福 利 厚 生 費					171,324	171,324
81	通 信 運 搬 費					490,024	490,024
82	図 書 資 料 費					512,281	512,281
83	賃 借 料					768,432	768,432
84	支 払 手 数 料					1,540,440	1,540,440
85	減 価 償 却 費					5,870	5,870
86	雑 費					517,707	517,707
87	経 常 費 用 計	75,717,613	75,717,613	408,013,140	408,013,140	5,924,032	489,654,785
88	評 価 損 益 調 整 前 経 常 増 減 額	△ 7,522,172	△ 7,522,172	10,579,548	10,579,548	47,785,945	50,843,321
89	当 期 経 常 増 減 額	△ 7,522,172	△ 7,522,172	10,579,548	10,579,548	47,785,945	50,843,321
90	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 7,522,172	△ 7,522,172	10,579,548	10,579,548	47,785,945	50,843,321
91	※ 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	△ 165,778,717	△ 165,778,717	△ 8,609,931	△ 8,609,931	427,047,470	381,207,466
92	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 173,300,889	△ 173,300,889	1,969,617	1,969,617	474,833,415	432,050,787
93							
94	Ⅱ 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 173,300,889	△ 173,300,889	1,969,617	1,969,617	474,833,415	432,050,787

※一般正味財産期首残高については一般社団法人への移行に伴い、平成24年度に会計区分の内訳を行ったため、平成23年度までの額（128,548,644）を合計に加算

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備・・・定率法。但し、平成28年4月1日以降取得分については定額法

什器備品・・・・・・・・定率法

ソフトウェア・・・・定額法

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の規定によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	24,781,339	2,388,317	0	27,169,656
減価償却引当資産	5,001,889	0	0	5,001,889
基金積立資産	30,373,837	0	0	30,373,837
什器備品積立資産	527,767	0	0	527,767
創立記念事業積立資産	0	2,000,000	0	2,000,000
合 計	60,684,832	4,388,317	0	65,073,149

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	27,169,656	—	—	(27,169,656)
減価償却引当資産	5,001,889	—	(5,001,889)	—
基金積立資産	30,373,837	—	(30,373,837)	—
什器備品積立資産	527,767	—	(527,767)	—
創立記念事業積立資産	2,000,000	—	(2,000,000)	—
合 計	65,073,149	—	(37,903,493)	(27,169,656)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	749,392	540,991	208,401
什器備品	3,116,395	3,085,179	31,216
ソフトウェア	2,470,440	2,470,440	0
合 計	6,336,227	6,096,610	239,617

附 属 明 細 書

1 特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給付引当資産	24,781,339	2,388,317	0	27,169,656
	減価償却引当資産	5,001,889	0	0	5,001,889
	基金積立資産	30,373,837	0	0	30,373,837
	什器備品積立資産	527,767	0	0	527,767
	創立記念事業積立資産	0	2,000,000	0	2,000,000
	特定資産計	60,684,832	4,388,317	0	65,073,149

2 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,499,936	6,849,268	6,499,936	0	6,849,268
退職給付引当金	24,781,339	2,388,317	0	0	27,169,656

財 産 目 録

(一般会計)

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金	498,239
普通預金	
京都銀行	159,435,205
みずほ銀行	1,182,216
三菱UFJ銀行	4,360,916
りそな銀行	7,687,220
京都信用金庫	13,925,189
京都中央信用金庫	6,252,175
郵便振替	4,225,919
定期預金	
京都銀行	56,819,448
三菱UFJ銀行	17,711,377
京都中央信用金庫	10,000,000
	(282,097,904)
未収会費	3,413,097
未収入金	
広告事業収益	51,700
交付金収益	3,640,000
京都市介護認定調査事業収益	2,380,950
府民リハビリテーション啓発支援事業収益	5,000,000
看護人材早期復職支援事業収益	4,000,000
病院認知症対応力向上事業収益	4,584,000
京都市病院認知症対応力向上事業収益	2,292,000
京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000
医療従事者キャリア向上事業収益	40,500,000
医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益	5,000,000
勤務医勤務環境改善体制整備事業収益	17,080,000
医療従事者確保強化事業収益	6,000,000
病院地域包括ケアシステム強化事業収益	4,200,000
地域連携型在宅医療支援病院事業収益	3,000,000
医療労務管理支援事業収益	10,616,428
京都市新型コロナワクチン集団接種事業収益	10,944,131
京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収益	32,622,368
雑収益	200
	(161,611,777)
前払金	
図書資料費	76,208
普通預金	12,000
京都府新型コロナ宿泊療養施設事業費	92,820
	(181,028)
流 動 資 産 合 計	447,303,806

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金		
三菱 UFJ 銀行 京都支店	22,477,756	
りそな銀行 京都支店	4,691,900	
	(27,169,656)	
減価償却引当資産		
定期預金		
京都信用金庫 本店	5,001,889	
	(5,001,889)	
基金積立資産		
定期預金		
京都信用金庫 本店	30,373,837	
	(30,373,837)	
什器備品積立資産		
定期預金		
三菱 UFJ 銀行 京都支店	527,767	
	(527,767)	
創立記念事業積立資産		
普通預金		
京都信用金庫 本店	2,000,000	
	(2,000,000)	
特 定 資 産 合 計	65,073,149	
(2) その他固定資産		
建物附属設備	208,401	
什器備品	31,216	
保証金 事務局・会議室	7,355,280	
貸倉庫	96,000	
	(7,451,280)	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	7,690,897	
固 定 資 産 合 計		72,764,046
資 産 合 計		520,067,852

(単位：円)

科 目	金 額		
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	27,135,998		
未払消費税等	21,279,000		
前受金	800,330		
預り金	4,782,813		
賞与引当金	6,849,268		
流 動 負 債 合 計		60,847,409	
2. 固定負債			
退職給付引当金	27,169,656		
固 定 負 債 合 計		27,169,656	
負 債 合 計			88,017,065
正 味 財 産			432,050,787

収 支 計 算 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	差 異
1	I 事業活動収支の部			
2	1. 事業活動収入			
3	① 特定資産運用収入	(20,000)	(10,054)	(9,946)
4	特定資産利息収入	20,000	10,054	9,946
5	② 入金収入	(0)	(0)	(0)
6	入金収入	0	0	0
7	③ 会費収入	(57,800,000)	(57,819,046)	(△ 19,046)
8	会費収入	57,800,000	57,819,046	△ 19,046
9	④ 事業収入	(141,842,428)	(477,197,606)	(△ 335,355,178)
10	参加事業収入	7,000,000	3,721,000	3,279,000
11	広告事業収入	9,000,000	10,198,200	△ 1,198,200
12	その他事業収入	950,000	850,960	99,040
13	京都市介護認定調査事業収入	28,000,000	33,782,650	△ 5,782,650
14	府民リハビリテーション啓発支援事業収入	5,000,000	5,000,000	0
15	離職看護師能力再開発事業収入	500,000	500,000	0
16	看護人材早期復職支援事業収入	4,000,000	4,000,000	0
17	病院認知症対応力向上事業収入	4,584,000	4,584,000	0
18	京都市病院認知症対応力向上事業収入	2,292,000	2,292,000	0
19	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収入	9,700,000	9,700,000	0
20	医療従事者キャリア向上事業収入	41,500,000	40,500,000	1,000,000
21	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収入	5,000,000	5,000,000	0
22	勤務医療勤務環境改善体制整備事業収入	0	17,080,000	△ 17,080,000
23	医療従事者確保強化事業収入	6,000,000	6,000,000	0
24	病院地域包括ケアシステム強化事業収入	4,200,000	4,200,000	0
25	地域連携型在宅医療支援病院事業収入	3,000,000	3,000,000	0
26	在宅療養あんしん病院事業収入	500,000	500,000	0
27	医療労務管理支援事業収入	10,616,428	10,616,428	0
28	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収入	0	215,843,127	△ 215,843,127
29	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収入	0	99,829,241	△ 99,829,241
30	⑤ 補助金等収入	(4,800,000)	(4,978,000)	(△ 178,000)
31	交付金収入	4,800,000	4,978,000	△ 178,000
32	⑥ 雑収入	(500,500)	(493,400)	(7,100)
33	受取利息収入	500	492	8
34	雑収入	500,000	492,908	7,092
35	事業活動収入計	204,962,928	540,498,106	△ 335,535,178
36	2. 事業活動支出			
37	① 事業費支出	(190,292,428)	(480,969,621)	(△ 290,677,193)
38	給与手当支出	28,000,000	8,485,568	19,514,432
39	法定福利費支出	9,000,000	6,318,836	2,681,164
40	福利厚生費支出	100,000	89,298	10,702
41	会議費支出	5,000,000	649,751	4,350,249
42	旅費交通費支出	700,000	218,270	481,730
43	通信運搬費支出	1,200,000	381,259	818,741
44	消耗品費支出	1,500,000	437,225	1,062,775
45	印刷製本費支出	300,000	88,504	211,496

(単位：円)

行No	科 目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	差 異
46	慶 弔 費 支 出	300,000	27,500	272,500
47	図 書 資 料 費 支 出	800,000	624,983	175,017
48	私 病 報 発 行 費 支 出	6,500,000	5,384,675	1,115,325
49	委 員 会 事 業 費 支 出	1,100,000	499,978	600,022
50	部 会 ・ 教 育 事 業 費 支 出	1,500,000	61,896	1,438,104
51	ス ポ ー ツ ・ 記 念 式 典 事 業 費 支 出	3,500,000	2,884,104	615,896
52	メ デ ィ ワ ー ク セ ン タ ー 事 業 費 支 出	1,000,000	534,600	465,400
53	京 都 市 介 護 認 定 調 査 事 業 費 支 出	28,000,000	33,782,650	△ 5,782,650
54	府 民 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 啓 発 支 援 事 業 費 支 出	5,000,000	5,000,000	0
55	離 職 看 護 師 能 力 再 開 発 事 業 費 支 出	500,000	1,016,747	△ 516,747
56	看 護 人 材 早 期 復 職 支 援 事 業 費 支 出	4,000,000	4,000,000	0
57	病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費 支 出	4,584,000	4,584,000	0
58	京 都 市 病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費 支 出	2,292,000	2,292,000	0
59	京 都 府 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 費 支 出	9,700,000	9,700,000	0
60	医 療 従 事 者 キ ャ リ ア 向 上 事 業 費 支 出	41,500,000	40,500,000	1,000,000
61	医 療 従 事 者 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費 支 出	5,000,000	5,000,000	0
62	勤 務 医 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費 支 出	0	17,080,000	△ 17,080,000
63	医 療 従 事 者 確 保 強 化 事 業 費 支 出	6,000,000	6,000,000	0
64	病 院 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 強 化 事 業 費 支 出	4,200,000	4,200,000	0
65	地 域 連 携 型 在 宅 医 療 支 援 病 院 事 業 費 支 出	3,000,000	3,000,000	0
66	在 宅 療 養 あ ん し ん 病 院 事 業 費 支 出	500,000	500,000	0
67	医 療 労 務 管 理 支 援 事 業 費 支 出	10,616,428	10,646,474	△ 30,046
68	京 都 市 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 集 団 接 種 事 業 費 支 出	0	205,192,659	△ 205,192,659
69	京 都 府 新 型 コ ロ ナ 宿 泊 療 養 施 設 事 業 費 支 出	0	99,829,241	△ 99,829,241
70	租 税 公 課 支 出	4,300,000	1,587,570	2,712,430
71	雑 支 出	600,000	371,833	228,167
72	② 管理費支出	(9,420,000)	(5,918,162)	(3,501,838)
73	給 与 手 当 支 出	2,800,000	1,661,832	1,138,168
74	法 定 福 利 費 支 出	500,000	256,122	243,878
75	福 利 厚 生 費 支 出	600,000	171,324	428,676
76	会 議 費 支 出	50,000	0	50,000
77	旅 費 交 通 費 支 出	50,000	0	50,000
78	通 信 運 搬 費 支 出	500,000	490,024	9,976
79	消 耗 品 費 支 出	50,000	0	50,000
80	修 繕 費 支 出	20,000	0	20,000
81	印 刷 製 本 費 支 出	100,000	0	100,000
82	図 書 資 料 費 支 出	600,000	512,281	87,719
83	賃 借 料 支 出	800,000	768,432	31,568
84	支 払 手 数 料 支 出	2,000,000	1,540,440	459,560
85	理 事 会 等 費 用 支 出	700,000	0	700,000
86	慶 弔 費 支 出	50,000	0	50,000
87	雑 支 出	600,000	517,707	82,293
88	事 業 活 動 支 出 計	199,712,428	486,887,783	△ 287,175,355
89	事 業 活 動 収 支 差 額	5,250,500	53,610,323	△ 48,359,823
90	II 投資活動収支の部			
91	1. 投資活動収入			
92	① 特定資産取崩収入	(0)	(0)	(0)
93	投 資 活 動 収 入 計	0	0	0

(単位：円)

行No	科 目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	差 異
94	2. 投資活動支出			
95	① 特定資産取得支出	(2,400,000)	(4,388,317)	(△ 1,988,317)
96	退職給付引当資産取得支出	2,400,000	2,388,317	11,683
97	創立記念事業積立資産取得支出	0	2,000,000	△ 2,000,000
98	② 固定資産取得支出	(200,000)	(0)	(200,000)
99	什器備品購入支出	100,000	0	100,000
100	ソフトウェア購入支出	100,000	0	100,000
101	③ 敷金・保証金支出	(0)	(1,641,360)	(△ 1,641,360)
102	保証金支出	0	1,641,360	△ 1,641,360
103	投資活動支出計	2,600,000	6,029,677	△ 3,429,677
104	投資活動収支差額	△ 2,600,000	△ 6,029,677	3,429,677
105				
106	Ⅲ 予備費支出	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
107	予備費支出	1,000,000	0	1,000,000
108	当期収支差額	1,650,500	47,580,646	△ 45,930,146
109	前期繰越収支差額	345,725,019	345,725,019	0
110	次期繰越収支差額	347,375,519	393,305,665	△ 45,930,146

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収入金、前払金、仮払金、未払金、未払消費税等、前受金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	256,733,741	282,097,904
未収会費	2,109,155	3,413,097
未収入金	94,468,359	161,611,777
前払金	97,608	181,028
合 計	353,408,863	447,303,806
未払金	3,711,158	27,135,998
未払消費税等	2,152,900	21,279,000
前受金	1,243,000	800,330
預り金	576,786	4,782,813
合 計	7,683,844	53,998,141
次期繰越収支差額	345,725,019	393,305,665

謄 本

監 査 報 告 書

私たちは、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年事業年度における理事会の執行を監査するため、理事会に出席するほか、必要に応じて理事から事業の報告を聞き、重要な決裁書類を閲覧し、計算書類につき慎重に検討を加え、監査した結果次のとおり報告します。

記

- 1 貸借対照表及び正味財産増減計算書、並びに財産目録は、法令及び定款にしたがって、協会の財産及び収支の状況を正しく示していると認める。
- 2 事業報告書の内容は真実であると認める。
- 3 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実の有無については、指摘すべき事実はない。

以 上

令和4年4月21日

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水 鴻一郎 殿

一般社団法人 京都私立病院協会

監事 大槻 秧司

監事 清水 紘

監事 津田 政典

(注) 上記は監査報告書に記載された事項を掲載したものであり、その原本は別途保管しております。

令和3年度一般社団法人京都私立病院協会 公益目的支出計画実施報告について

令和3年度公益目的支出計画実施報告書

当協会は、平成25年4月1日に一般社団法人へ移行しましたが、行政庁に公益目的支出計画の実施の完了の確認を受けるまでの間、事業年度毎に移行法人として、公益目的支出計画の実施状況を明らかにする書類（以下「公益目的支出計画実施報告書」という。）を作成し、監事による監査を受け、理事会の承認を受けた後、総会において報告し、さらに6月末までに、総会で承認された貸借対照表、正味財産増減計算書（損益計算書）、事業報告及びこれらについての監事の監査報告並びに公益目的支出計画実施報告書についての監事の監査報告と併せて、行政庁に提出する必要があります。

令和3年度公益目的支出計画の実施状況について、以下のとおり報告いたします。

【令和3年度公益目的支出計画実施報告書の内容】

1. 公益目的財産額：算定日 平成25年3月31日

公益目的財産額：147,180,562円

2. 当該年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3)) 138,210,899円

(1) 前年事業年度末日の公益目的収支差額 130,688,727円

(2) 公益目的支出の額 75,717,613円（計画 94,479,373円）

(3) 実施事業収入の額 68,195,441円（計画 88,690,537円）

3. 当該事業年度末日の公益目的財産額

8,969,663円（計画 26,123,135円）

4. 2. で記載した額が計画した見込み額（記載）と異なる場合、その概要及び理由

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を縮小し開催したことから実施事業収入が減少したため

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の実施期間 14年間（計画 14年間）

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日

令和9年3月31日（計画 令和9年3月31日）

謄 本

監 査 報 告 書

私たちは、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年事業年度における公益目的支出計画実施報告書に関し、理事会に出席するほか、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、慎重に検討を加え、監査した結果次のとおり報告します。

記

- 1 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。

以 上

令和4年4月21日

一般社団法人京都私立病院協会
会 長 清水 鴻一郎 殿

一般社団法人 京都私立病院協会
監事 大槻 秧司
監事 清水 紘
監事 津田 政典

(注) 上記は監査報告書に記載された事項を掲載したものであり、その原本は別途保管しております。

令和4年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について

令和4年度事業計画の重点

京都私立病院協会の目的は、会員病院と会員施設（以下、会員という）の発展及び質的向上にある。私立病院の地域医療・介護に果たす役割は大きく、会員の社会資本としての安定と充実が不可欠であるが、現在存続の危機に瀕している。

京都私立病院協会は、あらゆる機会をとらえて、地域医療の中心的な役割を担う私立病院等の重要性を発信し、会員の向上・発展のために全力を挙げて活動する。会としての力を高めるため、会員間の交流と相互理解に努め、会員の結集を図る。以上を本年度の協会活動の基本とする。

- 1 高齢社会を迎えて持続可能な医療・介護提供体制の維持と地域医療・介護の充実のために他の医療・看護・介護関係団体と協力し、府民の健康増進に寄与する。
- 2 会員が、その公共性に鑑み変化する社会の要望に対応して、医療の質及び病院機能の向上、倫理の高揚に努めることができるように適切な情報及び研修機会等を提供する。
- 3 京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の実現に向け、行政ならびに他の医療団体と連携し、府内の医療提供体制と介護サービス提供体制の確立にむけ、積極的に提言をおこなう。
- 4 医師・医療従事者の働き方改革を推進する観点から、勤務環境改善に資する適切な情報を発信するとともに、研修会等を通じて会員各施設での実践に繋がるよう継続的な活動をおこなう。
- 5 医療の安全管理、危機管理や防災管理等についての対策を更に推進する。
- 6 医療保険制度及び介護保険制度について検討をおこなうとともに、会員の立場に立って提言する。
- 7 診療報酬に対する事業税の非課税化と消費税にまつわる不適切な税制度の改正を粘り強く求めていく。
- 8 人と地球にやさしい環境への取り組みを継続する。
- 9 新型コロナウイルス感染症について、行政並びに各種団体と連携を図りながら対応を協議するとともに、会員への迅速な情報提供をおこなう。

<総務部>

- 1 日常業務の充実と会員への積極的働きかけ
 - 1) 職種・職務別組織活動、地区別組織活動を活性化させ、会員相互の連携と組織の体質強化を図る。
 - (1) 職種・職務別組織
 - ①理事長・院長会 ②事務長会 ③看護部長会 ④薬剤師部会 ⑤放射線技師部会
 - ⑥栄養士部会 ⑦臨床検査部会 ⑧リハビリテーション部会 ⑨臨床工学技士部会

(2) 職種・職務別組織の連携

職種・職務別組織の連携を強化するため、部会連携会議を開催し、各部会の活動の活性化を図るとともに、働き方改革の実行に向け、各職種間の連携についても検討を行う。

(3) 地区別組織

①北部地区 ②京都市域 ③南部地区

(4) その他関係職種別部会の設置について、必要に応じて検討する。

2) 会員に必要な情報の迅速な収集・分析・提供に努め、加えて広報活動を充実させる。

(1) 協会ホームページの充実

(2) ICTを活用し、行政からの通知その他会員の経営・運営に資する情報等の迅速な情報提供に努める。

3) 医療・介護従事者の確保と養成に努める。

(1) 京都保健衛生専門学校と京都中央看護保健大学の充実を図り、保健師・看護師、臨床検査技師、臨床工学技士の養成に力を注ぐ。

(2) 無料職業紹介メデイワークセンターへの求人・求職登録を推進し、会員の医療従事者の確保・充実に寄与する。

4) 関係事業所との連携を密にし、それぞれの事業の発展に寄与する。

- ・京都保健衛生専門学校
- ・京都府病院協同組合
- ・京都府病院企業年金基金
- ・京都中央看護保健大学校

2 医療制度問題への取り組み

医療を取り巻く情勢を的確に把握・分析し、医療のあるべき姿を追求する。

3 対外活動の推進

1) 京都における医療・看護・介護関係団体との連携強化を図る。

2) 近畿病院団体連合会の充実・発展に寄与する。

3) 中央における病院団体等との連携を深める。また全日本病院協会ならびに日本医療法人協会の京都府支部の運営をおこない、さらなる連携強化を図る。

4) 協会活動について行政やメディアをはじめ、広く社会・地域へ発信し、医療の実情の理解を得るよう努め、私立病院の果たしている機能と役割の周知を図る。

<保険部>

1 医療保険

1) 社会保険の諸基準の取得や維持にむけて、会員への積極的な助言・指導、医療関係団体との調整をおこなう。

2) 令和4年度診療報酬改定の会員における影響について調査を実施し、検証をおこなう。

3) 診療報酬委員会を開催し、良質な医療および療養環境整備のため、診療報酬への適切な対応と改善を求める。

4) 京都における医療保険制度全般について、積極的に提言をおこなう。

2 介護保険

- 1) 介護保険の諸基準の取得や維持にむけて、会員への積極的な助言・指導、介護・福祉関係団体との調整をおこなう。
- 2) 令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定に向けての情報収集をおこない、対策を講じる。
- 3) 京都における高齢者の保健・福祉について、積極的に提言をおこなう。
- 4) 会員施設における介護サービス「第三者評価」の受診を推進するとともに介護サービス「第三者評価」の評価調査者の養成と派遣をおこない、調査の質の向上に取り組む。
- 5) 介護保険委員会を開催し、京都府および京都市と連携を図りながら、介護保険制度上の問題解決を図る。また、ケアマネジャーなど介護保険に関わる職種の質の向上を図る。

<地域医療部>

1 医師・看護師等をはじめとする医療従事者確保・定着の推進

- 1) 医師・看護師等医療従事者不足による地域医療の崩壊を防ぐための要望や提言をおこなう。
- 2) 医師臨床研修制度ならびに専門医制度の問題点に対して要望や提言をおこなう。
- 3) 京都市より受託した離職看護師の復職支援に関する事業の推進に取り組む。
- 4) 京都府から受託した看護人材早期復職支援事業に取り組み、京都府内の看護師の潜在化の防止ならびに潜在看護師の就業促進を図る。
- 5) 京都府地域医療支援センター運営会議に参画し、府内の医師確保に取り組む。
- 6) 京都府から受託した京都府医療勤務環境改善支援センターの運営業務として、会員施設の自主的な勤務環境改善の取り組みを支援することにより、医療現場における働き方改革を推進するとともに、医療従事者の健康増進を図る。
- 7) 勤務医の労働管理体制が十分に整っていない医療機関に対し、勤務医の勤務環境改善体制整備事業に取り組み、設備整備の支援を行うことにより適切な労働管理の促進を図る。
- 8) 医療従事者勤務環境改善体制整備事業に取り組み、医師事務作業補助者の養成をおこない、医師が診療業務に専念できる勤務環境を確保し、医療の質の向上を図る。
- 9) 医療従事者確保強化事業に取り組み、病院で不足している薬剤師の復職支援並びに看護補助者の就業支援を強化し、医療従事者の確保・定着を図る。
- 10) 京都労働局から受託した医療労務管理支援事業の運営をおこない、勤務環境改善に係る取り組みをおこなう医療機関に対し労務管理全般にわたり支援する。

2 救急医療並びに休日時間外診療体制の推進

- 1) 二次病院群輪番体制の確保事業の推進に協力する。
- 2) 小児救急医療施設の役割分担と連携を推進する。
- 3) 救急病院の質的向上を目指し、病院前救護体制と病院との連携を図る。
- 4) 精神科救急医療の確立にむけて要望ならびに提言をおこなう。
- 5) 認知症患者の救急搬送について検討するとともに、対応力を強化し、診療報酬等での適切な対応を求める。

- 6) 交通事故医療費の請求及び支払いの適正な運用を図る。
- 3 医療・介護サービスの提供体制の推進

京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）に関して検討し、府内の医療・介護提供体制の確立に向け対策を講じる。

またすべての医療従事者が、京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の理解を深め、将来の医療提供体制の充実に寄与する医療従事者キャリア向上事業を実施する。
- 4 感染症対策の推進
 - 1) 感染症対策委員会において、新型コロナウイルス感染症をはじめ感染防止対策ならびに褥瘡ケア・予防対策を検討し、会員に情報を提供する。
 - 2) 新型コロナワクチンの早期接種の実現にむけて、京都市が運営する集団接種会場における接種体制を確保し、医師ならびに看護師等の派遣を行う。
 - 3) 京都府が運営する新型コロナウイルス感染症の軽症者等が療養する宿泊療養施設に、必要な健康管理、療養生活面のサポートを行う看護師の体制を確保し、派遣を行う。
- 5 安全対策の推進

医療安全対策委員会において、医療事故防止と医療安全について積極的に啓発をおこなうとともに大規模災害対策について検討し、要望ならびに提言をおこなう。
- 6 京都式地域包括ケアシステムの推進
 - 1) 京都における地域包括ケア体制の確保に向け、在宅療養あんしん病院登録システムの推進に協力し、各種関係団体と連携をとりながら体制の充実を図る。
 - 2) 府民リハビリテーション啓発支援事業に取り組み、リハビリテーション不足地域の高齢者に対し身体機能維持のための運動機能訓練等の啓発をおこなう。
 - 3) 病院認知症対応力向上事業に取り組み、病院の全職員の認知症対応力向上を図るとともに、地域との連携を強化するための研修等をおこなう。
 - 4) 病院地域包括ケアシステム強化事業に取り組み、幅広い視点で地域包括ケアシステムを担うことのできる職員を育成し、多職種・他施設等との連携強化により、医療・介護連携体制の更なる構築を図る。
 - 5) 地域連携型在宅医療支援病院事業に取り組み、地域の各種団体と連携を図り、在宅医療人材の育成及び拠点整備等をおこなう病院を支援する。

<学術研修部>

- 1 京都病院学会の開催

第57回京都病院学会において、病院に勤務する全職員があらゆる病院機能との連携が可能となるよう必要な知識やスキルを共有し、あわせて会員病院全職種の研究成果を発表する場としてより一層の充実を図る。また第58回京都病院学会の開催に向けての準備も開始する。
- 2 教育研修の充実
 - 1) 新入職員を対象とした教育研修基礎コースを開催する。

- 2) 看護師の卒後研修の充実を図り、看護職員の質の向上に努める。
- 3) 看護補助者・介護職員の教育研修をおこなう。
- 4) 薬剤・放射線・栄養・臨床検査・リハビリ・臨床工学・医療事務等を対象とした教育研修をおこない、優秀な職員の育成に努める。
- 5) 保健医療管理者養成講座の更なる充実を図る。

<経営管理部>

1 病院経営に関する取り組み

- 1) 民間病院に対する国庫並びに京都府等の補助制度の周知と活用を推進し、医療政策推進に寄与する。
- 2) 「京都府救急告示等運転資金融資斡旋制度」の運用にあたり、条件の整備に取り組む。
- 3) 新型コロナウイルス感染症関連の医療機関向け補助制度、支援制度について会員向けの情報を収集・周知し、活用を促す。

2 病院管理に関する取り組み

- 1) 環境問題委員会において、地球環境問題を認識し、会員の社会的役割の向上に努め、環境の保全にむけて積極的に取り組む。また節電及び省エネ問題について行政ならびに関係諸団体と協力体制のもと、積極的に対応する。
- 2) 病院機能向上委員会において、会員病院の質的向上を目指し、日本医療機能評価機構等の第三者評価の受審や施設基準の取得を支援する。

3 税制問題への取り組み

- 1) 医療機関における消費税非課税制度の適正化にむけ、引き続き要望や提言をおこなう。
- 2) 医療機関における事業税の特例措置（都道府県税）の存続について要望や提言をおこなう。
- 3) 法人税、相続税等の税問題について研究し、改善を求める。

4 禁煙推進への取り組み

禁煙を推進している団体と連携し、健康増進に努める。

<厚生部>

1 機関誌「京都私立病院報」の発行

2 会員間の交流と親睦を深める事業の実施

- 1) 第58回病院対抗野球大会は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、可能であれば開催する。
- 2) 第43回病院対抗女子バレーボール大会は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、可能であれば開催する。
- 3) 第15回病院対抗フットサル大会は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、可能であれば開催する。
- 4) 第9回会員親睦ゴルフコンペは新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、可能であれば開催する。
- 5) 病院職員に対する福利厚生事業の検討をおこなう。

第4号報告

令和4年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算書並びに
正味財産増減予算書について

収 支 予 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	差 異
1	I. 事業活動収支の部			
2	1. 事業活動収入			
3	① 特定資産運用収入	(10,000)	(20,000)	(△ 10,000)
4	特定資産利息収入	10,000	20,000	△ 10,000
5	② 入金収入	(0)	(0)	(0)
6	入金収入	0	0	0
7	③ 会費収入	(57,000,000)	(57,800,000)	(△ 800,000)
8	会費収入	57,000,000	57,800,000	△ 800,000
9	④ 事業収入	(330,098,998)	(141,842,428)	(28,256,570)
10	参加事業収入	4,500,000	7,000,000	△ 2,500,000
11	広告事業収入	9,000,000	9,000,000	0
12	その他事業収入	850,000	950,000	△ 100,000
13	京都市介護認定調査事業収入	30,000,000	28,000,000	2,000,000
14	府民リハビリテーション啓発支援事業収入	5,000,000	5,000,000	0
15	離職看護師能力再開発事業収入	500,000	500,000	0
16	看護人材早期復職支援事業収入	4,000,000	4,000,000	0
17	病院認知症対応力向上事業収入	4,584,000	4,584,000	0
18	京都市病院認知症対応力向上事業収入	2,292,000	2,292,000	0
19	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収入	9,700,000	9,700,000	0
20	医療従事者キャリア向上事業収入	41,500,000	41,500,000	0
21	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収入	5,000,000	5,000,000	0
22	勤務医療勤務環境改善体制整備事業収入	26,000,000	0	26,000,000
23	医療従事者確保強化事業収入	6,000,000	6,000,000	0
24	病院地域包括ケアシステム強化事業収入	4,200,000	4,200,000	0
25	地域連携型在宅医療支援病院事業収入	3,000,000	3,000,000	0
26	在宅療養あんしん病院事業収入	500,000	500,000	0
27	医療労務管理支援事業収入	13,472,998	10,616,428	2,856,570
28	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収入	50,000,000	0	50,000,000
29	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収入	110,000,000	0	110,000,000
30	⑤ 補助金等収入	(4,800,000)	(4,800,000)	(0)
31	交付金収入	4,800,000	4,800,000	0
32	⑥ 雑収入	(500,500)	(500,500)	(0)
33	受取利息収入	500	500	0
34	雑収入	500,000	500,000	0
35	事業活動収入計	392,409,498	204,962,928	187,446,570
36				
37	2. 事業活動支出			
38	① 事業費支出	(378,848,998)	(190,292,428)	(188,556,570)
39	給与手当支出	20,000,000	28,000,000	△ 8,000,000
40	法定福利費支出	8,000,000	9,000,000	△ 1,000,000

(単位：円)

行No	科 目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	差 異
41	福利厚生費支出	100,000	100,000	0
42	会議費支出	3,000,000	5,000,000	△ 2,000,000
43	旅費交通費支出	700,000	700,000	0
44	通信運搬費支出	700,000	1,200,000	△ 500,000
45	消耗品費支出	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
46	印刷製本費支出	300,000	300,000	0
47	慶弔費支出	300,000	300,000	0
48	図書資料費支出	900,000	800,000	100,000
49	私病報発行費支出	6,500,000	6,500,000	0
50	委員会事業費支出	800,000	1,100,000	△ 300,000
51	部会・教育事業費支出	800,000	1,500,000	△ 700,000
52	スポーツ・記念式典事業費支出	3,500,000	3,500,000	0
53	メデイワークセンター事業費支出	1,000,000	1,000,000	0
54	京都市介護認定調査事業費支出	30,000,000	28,000,000	2,000,000
55	府民リハビリテーション啓発支援事業費支出	5,000,000	5,000,000	0
56	離職看護師能力再開発事業費支出	1,000,000	500,000	500,000
57	看護人材早期復職支援事業費支出	4,000,000	4,000,000	0
58	病院認知症対応力向上事業費支出	4,584,000	4,584,000	0
59	京都市病院認知症対応力向上事業費支出	2,292,000	2,292,000	0
60	京都府医療勤務環境改善支援センター事業費支出	9,700,000	9,700,000	0
61	医療従事者キャリア向上事業費支出	41,500,000	41,500,000	0
62	医療従事者勤務環境改善体制整備事業費支出	5,000,000	5,000,000	0
63	勤務医療勤務環境改善体制整備事業費支出	26,000,000	0	26,000,000
64	医療従事者確保強化事業費支出	6,000,000	6,000,000	0
65	病院地域包括ケアシステム強化事業費支出	4,200,000	4,200,000	0
66	地域連携型在宅医療支援病院事業費支出	3,000,000	3,000,000	0
67	在宅療養あんしん病院事業費支出	500,000	500,000	0
68	医療労務管理支援事業費支出	13,472,998	10,616,428	2,856,570
69	京都市新型コロナワクチン集団接種事業費支出	50,000,000	0	50,000,000
70	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業費支出	110,000,000	0	110,000,000
71	租 税 公 課 支 出	14,500,000	4,300,000	10,200,000
72	雑 支 出	500,000	600,000	△ 100,000
73	② 管理費支出	(9,400,000)	(9,420,000)	(△ 20,000)
74	給 与 手 当 支 出	2,800,000	2,800,000	0
75	法 定 福 利 費 支 出	500,000	500,000	0
76	福利厚生費支出	600,000	600,000	0
77	会議費支出	50,000	50,000	0
78	旅費交通費支出	50,000	50,000	0
79	通信運搬費支出	500,000	500,000	0
80	消耗品費支出	50,000	50,000	0
81	修繕費支出	20,000	20,000	0
82	印刷製本費支出	80,000	100,000	△ 20,000
83	慶弔費支出	50,000	50,000	0
84	図書資料費支出	600,000	600,000	0
85	賃借料支出	800,000	800,000	0
86	支払手数料支出	2,000,000	2,000,000	0
87	理事会等費用支出	700,000	700,000	0

(単位：円)

行No	科 目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	差 異
88	雑 支 出	600,000	600,000	0
89	事業活動支出計	388,248,998	199,712,428	188,536,570
90	事業活動収支差額	4,160,500	5,250,500	△ 1,090,000
91				
92	Ⅱ. 投資活動収支の部			
93	1. 投資活動収入			
94	① 敷金・保証金戻り収入	(1,641,360)	(0)	(1,641,360)
95	保証金戻り収入	1,641,360	0	1,641,360
96	投資活動収入計	1,641,360	0	1,641,360
97				
98	2. 投資活動支出			
99	① 特定資産取得支出	(4,500,000)	(2,400,000)	(2,100,000)
100	退職給付引当資産取得支出	2,500,000	2,400,000	100,000
101	創立記念事業積立資産取得支出	2,000,000	0	2,000,000
102	② 固定資産取得支出	(200,000)	(200,000)	(0)
103	什器備品購入支出	100,000	100,000	0
104	ソフトウェア購入支出	100,000	100,000	0
105	投資活動支出計	4,700,000	2,600,000	2,100,000
106	投資活動収支差額	△ 3,058,640	△ 2,600,000	△ 458,640
107				
108	Ⅲ. 予備費支出	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
109	予 備 費 支 出	1,000,000	1,000,000	0
110	当期収支差額	101,860	1,650,500	△ 1,548,640
111	前期繰越収支差額	393,305,665	345,725,019	47,580,646
112	次期繰越収支差額	393,407,525	347,375,519	46,032,006

正味財産増減予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

行No.	勘定科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
		継 1	他 1		
1	I 一般正味財産増減の部				
2	1. 経常増減の部				
3	(1) 経常収益				
4	① 特定資産運用益			(10,000)	(10,000)
5	特定資産受取利息			10,000	10,000
6	② 受取入会金		(0)		(0)
7	入会金収益		0		0
8	③ 受取会費		(11,400,000)	(45,600,000)	(57,000,000)
9	会費収益		11,400,000	45,600,000	57,000,000
10	④ 事業収益	(64,762,500)	(258,766,498)	(6,570,000)	(330,098,998)
11	参加事業収益	3,150,000	1,350,000		4,500,000
12	広告事業収益		2,430,000	6,570,000	9,000,000
13	その他事業収益	212,500	637,500		850,000
14	京都市介護認定調査事業収益		30,000,000		30,000,000
15	府民リハビリテーション啓発支援事業収益		5,000,000		5,000,000
16	離職看護師能力再開事業収益		500,000		500,000
17	看護人材早期復職支援事業収益		4,000,000		4,000,000
18	病院認知症対応力向上事業収益		4,584,000		4,584,000
19	京都市病院認知症対応力向上事業収益		2,292,000		2,292,000
20	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000			9,700,000
21	医療従事者キャリア向上事業収益	41,500,000			41,500,000
22	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益		5,000,000		5,000,000
23	勤務医勤務環境改善体制整備事業収益		26,000,000		26,000,000
24	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000			6,000,000
25	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	4,200,000			4,200,000
26	地域連携型在宅医療支援病院事業収益		3,000,000		3,000,000
27	在宅療養あんしん病院事業収益		500,000		500,000
28	医療労務管理支援事業収益		13,472,998		13,472,998
29	京都市新型コロナワクチン集団接種事業収益		50,000,000		50,000,000
30	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業収益		110,000,000		110,000,000
31	⑤受取補助金等	(4,800,000)			(4,800,000)
32	受取交付金	4,800,000			4,800,000
33	⑥雑収益		(500,500)		(500,500)
34	受取利息		500		500
35	雑収益		500,000		500,000
36	経常収益計	69,562,500	270,666,998	52,180,000	392,409,498
37					
38	(2) 経常費用				
39	① 事業費	(95,370,680)	(292,897,518)		(388,268,198)
40	給与手当	8,000,000	12,000,000		20,000,000
41	法定福利費	3,200,000	4,800,000		8,000,000
42	福利厚生費	23,000	77,000		100,000

(単位：円)

行No	勘定科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
		継 1	他 1		
43	賞与引当金繰入額	2,760,000	4,140,000		6,900,000
44	退職給付費	1,000,000	1,500,000		2,500,000
45	会議費	1,200,000	1,800,000		3,000,000
46	旅費交通費	280,000	420,000		700,000
47	通信運搬費	280,000	420,000		700,000
48	消耗品費	400,000	600,000		1,000,000
49	印刷製本費	120,000	180,000		300,000
50	減価償却費	7,680	11,520		19,200
51	慶弔費		300,000		300,000
52	図書資料費	540,000	360,000		900,000
53	私病報発行費	6,500,000			6,500,000
54	委員会事業費	360,000	440,000		800,000
55	部会・教育事業費	800,000			800,000
56	スポーツ・記念式典事業費		3,500,000		3,500,000
57	メディワークセンター事業費	1,000,000			1,000,000
58	京都市介護認定調査事業費		30,000,000		30,000,000
59	府民リハビリテーション啓発支援事業費		5,000,000		5,000,000
60	離職看護師能力再開発事業費		1,000,000		1,000,000
61	看護人材早期復職支援事業費		4,000,000		4,000,000
62	病院認知症対応力向上事業費		4,584,000		4,584,000
63	京都市病院認知症対応力向上事業費		2,292,000		2,292,000
64	京都府医療勤務環境改善支援センター事業費	9,700,000			9,700,000
65	医療従事者キャリア向上事業費	41,500,000			41,500,000
66	医療従事者勤務環境改善体制整備事業費		5,000,000		5,000,000
67	勤務医勤務環境改善体制整備事業費		26,000,000		26,000,000
68	医療従事者確保強化事業費	6,000,000			6,000,000
69	病院地域包括ケアシステム強化事業費	4,200,000			4,200,000
70	地域連携型在宅医療支援病院事業費		3,000,000		3,000,000
71	在宅療養あんしん病院事業費		500,000		500,000
72	医療労務管理支援事業費		13,472,998		13,472,998
73	京都市新型コロナワクチン集団接種事業費		50,000,000		50,000,000
74	京都府新型コロナ宿泊療養施設事業費		110,000,000		110,000,000
75	租 税 公 課	7,250,000	7,250,000		14,500,000
76	雑 費	250,000	250,000		500,000
77	② 管理費			(9,404,800)	(9,404,800)
78	給 与 手 当			2,800,000	2,800,000
79	法定福利費			500,000	500,000
80	福利厚生費			600,000	600,000
81	会議費			50,000	50,000
82	旅費交通費			50,000	50,000
83	通信運搬費			500,000	500,000
84	消耗品費			50,000	50,000
85	修繕費			20,000	20,000
86	印刷製本費			80,000	80,000
87	減価償却費			4,800	4,800
88	慶 弔 費			50,000	50,000

(単位：円)

行No	勘定科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
		継 1	他 1		
89	図 書 資 料 費			600,000	600,000
90	賃 借 費			800,000	800,000
91	支 払 手 数 料 費			2,000,000	2,000,000
92	理 事 会 等 費			700,000	700,000
93	雑 費			600,000	600,000
94	経 常 費 用 計	95,370,680	292,897,518	9,404,800	397,672,998
95	当 期 経 常 増 減 額	△ 25,808,180	△ 22,230,520	42,775,200	△ 5,263,500
96					
97	2. 経常外増減の部				
98	(1) 経常外費用				
99	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 25,808,180	△ 22,230,520	42,775,200	△ 5,263,500
100	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 25,808,180	△ 22,230,520	42,775,200	△ 5,263,500
101					
102	II 正味財産期末残高	△ 25,808,180	△ 22,230,520	42,775,200	△ 5,263,500

京都私立病院報

2022(令和4)年5月25日発行 No.726 -臨

発行所 一般社団法人 京都私立病院協会
京都市下京区烏丸通四条下ル
水銀屋町 620 番地 COCON 烏丸 8 階
TEL (075) 354-8838

発行人 清水鴻一郎

印刷所 ㈱ティ・プラス TEL (075) 462-7889
